

札幌市まちづくり戦略ビジョン  
アクションプラン 2015

パブリックコメント・  
キッズコメント意見集

平成 27 年（2015 年）12 月

札幌市

# 目次

|   |  |    |
|---|--|----|
| 1 | パブリックコメント手続きによる意見募集実施の概要 ……              | 1  |
| 2 | パブリックコメント（大人の意見）の内訳 ……                   | 2  |
| 3 | キッズコメント（子どもの意見）の内訳 ……                    | 3  |
| 4 | 意見に基づく当初案からの変更点 ……                       | 4  |
| 5 | パブリックコメント（大人の意見）の概要と<br>それに対する札幌市の考え方 …… | 8  |
| 6 | キッズコメント（子どもの意見）の概要と<br>それに対する札幌市の考え方 ……  | 38 |

## 1 パブリックコメント手続きによる意見募集実施の概要

「札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン 2015（案）」について、パブリックコメント手続きにより、市民の皆さんからのご意見を募集し、いただいたご意見を参考に、当初案を一部変更しました。

- (1) 意見募集期間  
平成 27 年 10 月 13 日（火）から平成 27 年 11 月 24 日（火）までの 43 日間
- (2) 意見提出方法  
郵送、F A X、Eメール、ホームページ上の意見募集フォーム、持参
- (3) 資料  
札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン 2015（案）の本書とその概要版のほか、小学生・中学生向けに分かりやすく特別に編集した子どもの意見募集用小冊子
- (4) 資料の配布・閲覧場所
  - ・札幌市役所本庁舎  
2階市政刊行物コーナー／10階市長政策室政策企画部政策調整課
  - ・各区役所（総務企画課広聴係）
  - ・各まちづくりセンター
  - ・札幌市内各小中学校【子どもの意見募集用小冊子】
  - ・札幌市公式ホームページ
- (5) 地域や経済界への説明など
  - ・子ども出前講座の開催（10月13日（火）～11月11日（水））
  - ・若者向けパブリックコメント・ワークショップの開催（10月27日（火）、32人参加）
  - ・札幌商工会議所政策委員会などでの説明（10月～11月）

## 2 パブリックコメント（大人の意見）の内訳

(1) 意見提出者数・意見件数

99人・239件

(2) 年代別内訳

| 年代 | 19歳以下 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70歳以上 | 不明 | 合計  |
|----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-------|----|-----|
| 人数 | 4     | 31  | 5   | 13  | 10  | 9   | 5     | 22 | 99  |
| 件数 | 4     | 47  | 5   | 34  | 23  | 26  | 16    | 84 | 239 |

(3) 提出方法別内訳

| 提出方法 | HP    | 持参    | 郵送    | FAX   | Eメール | その他  | 合計     |
|------|-------|-------|-------|-------|------|------|--------|
| 提出者数 | 38    | 32    | 11    | 10    | 7    | 1    | 99     |
| 構成比  | 38.4% | 32.3% | 11.1% | 10.1% | 7.1% | 1.0% | 100.0% |

(4) 意見内訳

| 分類                      | 件数  | 構成比    |
|-------------------------|-----|--------|
| 第1章 計画の基本的考え方           | 14  | 5.8%   |
| 第2章 まちづくりの取組            | 206 | 86.1%  |
| 計画体系・計画事業費              | 0   | 0%     |
| 暮らし・コミュニティ              | 120 | 50.2%  |
| 政策目標1 互いに支え合う地域福祉が息づく街  | 6   | 2.5%   |
| 政策目標2 誰もが生涯現役で活躍できる街    | 102 | 42.6%  |
| 政策目標3 地域の課題を地域の力で解決する街  | 12  | 5.0%   |
| 産業・活力                   | 57  | 23.8%  |
| 政策目標4 北海道経済の成長をけん引する街   | 27  | 11.2%  |
| 政策目標5 国内外の活力を取り込む街      | 13  | 5.4%   |
| 政策目標6 産業分野の人材を育む街       | 17  | 7.1%   |
| 低炭素社会・エネルギー転換           | 16  | 6.6%   |
| 政策目標7 自然と共生する環境負荷の少ない街  | 11  | 4.6%   |
| 政策目標8 エネルギー効率の高い持続可能な街  | 5   | 2.0%   |
| 戦略を支える都市空間              | 13  | 5.4%   |
| 政策目標9 世界都市として魅力と活力あふれる街 | 13  | 5.4%   |
| 第3章 行財政運営の取組            | 16  | 6.6%   |
| 行財政運営の基本的な考え方           | 2   | 0.8%   |
| 行政運営の取組                 | 7   | 2.9%   |
| 財政運営の取組                 | 7   | 2.9%   |
| その他                     | 3   | 1.2%   |
| 合計                      | 239 | 100.0% |

※表示単位未満で端数整理しているため、合計が合計値と一致しない場合があります

### 3 キッズコメント（子どもの意見）の内訳

(1) 意見提出者数・意見件数

1,189人・1,926件

(2) 学年別内訳

| 年代 | 小4以下 | 小5  | 小6    | 中1 | 中2 | 中3  | 不明 | 合計    |
|----|------|-----|-------|----|----|-----|----|-------|
| 人数 | 15   | 139 | 734   | 62 | 55 | 181 | 3  | 1,189 |
| 件数 | 30   | 251 | 1,127 | 99 | 90 | 326 | 3  | 1,926 |

(3) 提出方法別内訳

| 提出方法 | 郵送    | 持参   | Eメール | FAX  | HP | 合計     |
|------|-------|------|------|------|----|--------|
| 提出者数 | 1,079 | 74   | 31   | 5    | 0  | 1,189  |
| 構成比  | 90.8% | 6.2% | 2.6% | 0.4% | 0% | 100.0% |

(4) 意見内訳

| 分類                      | 件数    | 構成比    |
|-------------------------|-------|--------|
| 第1章 計画の基本的考え方           | 96    | 4.9%   |
| 第2章 まちづくりの取組            | 1,722 | 89.4%  |
| 計画体系・計画事業費              | 7     | 0.3%   |
| 暮らし・コミュニティ              | 799   | 41.4%  |
| 政策目標1 互いに支え合う地域福祉が息づく街  | 41    | 2.1%   |
| 政策目標2 誰もが生涯現役で活躍できる街    | 464   | 24.0%  |
| 政策目標3 地域の課題を地域の力で解決する街  | 294   | 15.2%  |
| 産業・活力                   | 613   | 31.8%  |
| 政策目標4 北海道経済の成長をけん引する街   | 298   | 15.4%  |
| 政策目標5 国内外の活力を取り込む街      | 161   | 8.3%   |
| 政策目標6 産業分野の人材を育む街       | 154   | 7.9%   |
| 低炭素社会・エネルギー転換           | 123   | 6.3%   |
| 政策目標7 自然と共生する環境負荷の少ない街  | 63    | 3.2%   |
| 政策目標8 エネルギー効率の高い持続可能な街  | 60    | 3.1%   |
| 戦略を支える都市空間              | 180   | 9.3%   |
| 政策目標9 世界都市として魅力と活力あふれる街 | 180   | 9.3%   |
| 第3章 行財政運営の取組            | 101   | 5.2%   |
| 行財政運営の基本的な考え方           | 11    | 0.5%   |
| 行政運営の取組                 | 31    | 1.6%   |
| 財政運営の取組                 | 59    | 3.0%   |
| その他                     | 7     | 0.3%   |
| 合計                      | 1,926 | 100.0% |

※表示単位未満で端数整理しているため、合計が合計値と一致しない場合があります

## 4 意見に基づく当初案からの変更点

市民の皆さんからいただいたご意見をもとに、当初案から 13 項目を修正いたしました。また、他のご意見についても、これからのまちづくりを進めていく上で、可能な限り取り入れていきます。

### 計画書全体

| 意見の概要   | 修正内容                                 | 市の考え方    |
|---|--------------------------------------|----------|
| 計画書全体について、分かりやすい日本語を使っていたきたいと感じた。                             | 専門用語など一般的ではない語句を用いる場合には事業内容や脚注で説明を追加 | 8<br>ページ |
| 計画書全体を通じて、<br>『以下、「●●」という。』と<br>『以下「●●」という。』の表現が混在しており、修正すべき。 | 『以下「●●」という。』という表現に統一                 | 8<br>ページ |
| 計画書全体を通じて、「障がいのある方」と「障がいのある人」の表現が混在しており、修正すべき。                | 「障がいのある方」という表現に統一                    | 8<br>ページ |

### 計画の位置付け

| 意見の概要  | 修正内容   | 市の考え方    |
|--|--|----------|
| P2の計画体系では、まちづくり戦略ビジョン、アクションプラン 2015、単年度予算の関係性は分かるが、札幌市が持っている様々な計画との関係性がよく分からないので、記載を追記すべき。 | <b>速報版 P2</b><br>計画体系図に各分野の個別計画を記載するとともに、アクションプランと個別計画の関係性について追記 | 8<br>ページ |

### 政策目標 2 施策 1 地域で共生する環境づくり

| 意見の概要                                  | 修正内容  | 市の考え方     |
|--|---|-----------|
| 高齢者の活動度の指標の現状値が 96.9% という高すぎる数字に疑問がある。 | <b>速報版 P26 成果指標（高齢者の活動度）</b><br>【現状値】96.9%⇒ <u>62.5%</u> （平成 26 年度）<br>【目標値】100%⇒ <u>67.2%</u> （平成 31 年度）<br>【目標値（ビジョン）】100%⇒ <u>70.0%</u> （平成 34 年度） | 13<br>ページ |

### 政策目標3 施策3 雪と共存した暮らしの推進

| 意見の概要   | 修正内容  | 市の考え方     |
|---|---|-----------|
| 「(仮称)さっぽろっ子ウィンタースポーツ料金助成事業」の活動指標について単位は「枚」ではなく「人」ではないか。 | <b>速報版 P42 さっぽろっ子ウィンタースポーツ料金助成事業</b><br>【活動指標】<br>助成クーポンの年間利用者数<br>目標 (H31) : 15,000 枚⇒15,000 人 | 19<br>ページ |

### 政策目標4 施策2 魅力あるまちづくりと観光振興の一体的推進

| 意見の概要   | 修正内容   | 市の考え方     |
|---|--|-----------|
| 「おもてなし・人材育成事業」について、「市民のおもてなし意識の醸成」とは、具体的にどのような施策であるか記すべき。 | <b>速報版 P47 おもてなし・人材育成事業</b><br>【事業内容】<br>市民のおもてなし意識の醸成や事業者のサービスアップ、観光ボランティアの活動支援を通じて、観光客の受入環境を強化し、来札者の満足度向上につなげます。<br>↓<br>ホームページや広報誌など様々な広報媒体を活用した市民のおもてなし意識の醸成やおもてなしを实践する機会の創出、事業者のサービスアップ、観光ボランティアの活動支援を通じて、観光客の受入環境を強化し、来札者の満足度向上につなげます。 | 21<br>ページ |

### 政策目標7 施策2 多様な活動を支える環境に優しい交通体系の確立

| 意見の概要  | 修正内容   | 市の考え方     |
|--|--|-----------|
| 「敬老優待乗車証、福祉乗車等の IC カード移行事業」は、エネルギー効率の良い集約型の低炭素都市への再構築を進めるための事業というより、公共交通機関の利便性向上による利用促進や廃棄物の減量を狙いとした事業だと思うので、P72の「施策2：多様な活動を支える環境に優しい交通体系の確立」、または、P80の「施策4：循環型社会の構築の事業」として記載するほうが適切だと思う。 | <b>速報版 P70 敬老優待乗車証、福祉乗車証等の IC カード移行事業</b><br>【掲載箇所】<br>政策目標7 施策1 持続可能な集約型の都市への再構築<br>↓<br>政策目標7 施策2 多様な活動を支える環境に優しい交通体系の確立 | 30<br>ページ |

## 政策目標 8 施策 1 次世代エネルギーシステムの普及促進

| 意見の概要  | 修正内容  | 市の考え方     |
|--|---|-----------|
| <p>「次世代エネルギーシステム導入補助事業」と「分散型エネルギー導入推進事業」の活動指標がCO<sub>2</sub>削減量とされているが、成果指標の達成に直接貢献し得る事業については、P76の「水道施設への再生可能エネルギーの導入」と同様に発電量を活動指標として設定した方が、成果指標と活動指標の関係性がより明確になると考える。また、活動指標を変えない場合でも、これらの事業によって削減されるのはCO<sub>2</sub>ではなく温室効果ガスのはずなので、「～による温室効果ガス削減量」とするのが正しいと思う。</p> | <p><b>速報版 P73</b><br/> <b>次世代エネルギーシステム導入補助事業</b><br/> <b>【活動指標】</b><br/>           次世代エネルギーシステム導入による CO<sub>2</sub>削減量<br/>           ↓<br/>           次世代エネルギーシステム導入による <u>温室効果ガス削減量</u></p> <p><b>分散型エネルギー導入推進事業</b><br/> <b>【活動指標】</b><br/>           市有施設における分散型電源による CO<sub>2</sub>削減量<br/>           ↓<br/>           市有施設における分散型電源による <u>温室効果ガス削減量</u></p> | 31<br>ページ |
| <p>P75の成果指標の単位は、「kwh」ではなく「kWh」が正しいと思う。(Wが大文字)</p>  | <p><b>速報版 P73 成果指標</b><br/>           太陽光による発電量<br/>           分散型電源システムによる発電量<br/> <b>【単位】 kwh⇒ kWh</b></p>  | 31<br>ページ |

## 政策目標 8 施策 3 市民・企業による環境負荷低減の取組の推進

| 意見の概要  | 修正内容  | 市の考え方     |
|--|---|-----------|
| <p>P78の成果指標の単位は、「kwh」ではなく「kWh」が正しいと思う。(Wが大文字)</p>  | <p><b>速報版 P76 成果指標</b><br/>           電力需要量<br/> <b>【単位】 kwh⇒ kWh</b></p>   | 31<br>ページ |
| <p>「LED街路灯推進事業」は、P70の施策の方向性を見る限り、エネルギー効率の良い集約型の低炭素都市への再構築を進めるための事業というより、エネルギー消費量の低減を図る事業と思うので、P78～79の「施策3：市民・企業による環境負荷低減の取組の推進」の事業として記載する方が適切だと思う。</p> | <p><b>速報版 P77 LED街路灯推進事業</b><br/> <b>【掲載箇所】</b><br/>           政策目標 7 施策 1 持続可能な集約型の都市への再構築<br/>           ↓<br/> <u>政策目標 8 施策 3 市民・企業による環境負荷低減の取組の推進</u></p> | 29<br>ページ |

## 各区の関連事業

| 意見の概要                                    | 修正内容   | 市の<br>考え方 |
|--|--|-----------|
| 計画全体に札幌らしさが見えてこない。<br>全区の状況が分かるようにしてほしい。 | <b>速報版 P96</b><br>区の特徴を生かした事業と各区で実施予定の主にハード整備に係る事業を地図付きでまとめた特集ページを追加 | 9<br>ページ  |

## 5 パブリックコメント(大人の意見)の概要とそれに対する札幌市の考え方

### 計画書全体

| 意見の概要  | 市の考え方  |
|--|--|
| <p>○計画書全体について、分かりやすい日本語を使っていたきたいと感じた。</p> <p>(類似意見 1件)</p>   | <p>計画書の全体にわたり、極力分かりやすい表現となるよう見直し、専門用語など一般的ではない語句を用いる場合には、事業内容や脚注で説明を加えました。</p> |
| <p>○計画書全体について、以下の記載について統一するべきである。</p> <p>①『以下「●●」という。』(読点なし)と『以下、「●●」という。』(読点あり)の表現が混在している。</p> <p>②「障がいのある方」と「障がいのある人」の表現が混在している。</p> | <p>いただいたご意見を踏まえ、①『以下「●●」という。』(読点なし)、②「障がいのある方」の記載に統一しました。</p>                  |

### 第1章 計画の基本的考え方

| 意見の概要                           | 市の考え方  |
|---------------------------------|--|
| <p>○計画名をもっと分かりやすい日本語表記にすべき。</p> | <p>「札幌市まちづくり戦略ビジョン」は、札幌市の最上位計画として平成25年に策定したものであり、「戦略」という表現については、人口減少などの課題に対して、選択と集中の考え方などにより、立ち向かい、進むべき方向性を定めることを簡潔に表したものです。</p> <p>本計画の名称は「札幌市まちづくり戦略ビジョン」のアクションプラン(実施計画)であり、計画開始年度が2015年度であることを分かりやすく表しています。</p> |

#### 1 計画策定の趣旨、計画の位置付け、計画期間

| 意見の概要   | 市の考え方  |
|---|--|
| <p>OP2の計画体系では、戦略ビジョン、アクションプラン、単年度予算の関係性は分かるが、札幌市が持っている様々な計画との関係性がよく分からないので、記載を追加すべき。</p>  | <p>いただいたご意見を踏まえ、計画体系図に各分野の個別計画を記載するとともに、アクションプランとの関係性について追記しました。</p>   |
| <p>○アクションプラン2015の前提条件となっている「人口減社会」は、平成24年の予測に基づいており、根拠として不適格。</p> <p>現時点でも札幌の人口は増加しており、減少に転じる正確な時期は不明。すでに人口が減少しているかのような表現はやめ、人口が増加し続ける可能性も提示した上で、議論すべき。最も重要なことは、過去2回の人口予測が外れたことを認め、原因を調査し、次の予測に生かすこと。</p> | <p>札幌市の人口は、平成21年以降、出生数を死亡数が上回る「自然減少」となっており、これは今後も拡大していくと考えられる一方、縮小傾向にはあるものの現在も社会増加(転入超過)が続き、社会増加が自然減少を上回っていることから、現時点では人口増加が続いています。</p> <p>しかし、ここ数年のうちには自然減少が社会増加を上回り、札幌市においても人口減少社会の到来が予想されていることから、アクションプランにおいても、人口減少対策・地方創生に関する取組の具体化を図っています。</p> <p>なお、人口減少対策・地方創生に積極的に取り組む姿勢を示すため、資料編の「4 人口の動向、社会資本の整備状況」に戦略ビジョン策定時に推計した人口とともに、さっぽろ未来創生プランで掲げる市民の希望出生率を達成して推移した場合の人口推計も併記しています。</p> |

## 2 計画の特徴

| 意見の概要   | 市の考え方   |
|---|---|
| <p>○計画全体に札幌らしさが見えてこない。全区の状況が分かるようにしてほしい。</p>  | <p>アクションプランでは、多雪寒冷な気候を生かした雪まつりの魅力向上やウィンタースポーツの振興、自然災害が少ないことを生かした本社機能移転を始めとする企業立地の促進、北海道の豊かな食を生かした食産業の高度化、これらの札幌らしさをPRする機会となる冬季オリンピック・パラリンピック招致など、札幌の特徴や強みを生かした事業を展開していきます。</p> <p>また、市民の皆さんにこの計画を身近に感じてもらうだけではなく、地域課題の解決に向けて主体的な活動を展開していただく「きっかけ」としてほしいと考え、区役所が各区の特色を生かして実施する事業や、本庁部局などが各区において実施する事業をまとめ、実施箇所を示した地図を添付した特集ページを作成しました。</p> |
| <p>○観光だけに頼るのではなく、主要交通機関の安定的な運営や感染症対策など、リスク管理も重要。</p>  | <p>ご意見のとおり、リスク管理も非常に重要な課題であると認識しており、アクションプランにおいても防災対策、感染症対策や交通ネットワークの強化、利便性の向上などの取組を盛り込んでいます。</p>   |
| <p>○「雇用を生み出す力強い街」さっぽろをつくるとあるが、道内他都市と連携することなく雇用を生み出すのは、単に道内の若者を札幌に集めるだけであり、札幌への一極集中を助長するものではないか。</p> | <p>アクションプランには、道内の1次産業者と札幌市内の2次・3次産業者が連携した新商品開発を支援する「6次産業活性化推進事業」や、道内中核市や石狩管内の近隣市町村などとの連携により、道内や圏域内の周遊を促進させる「広域連携による観光振興」など、道内他都市と連携を図りながら産業を振興し、雇用を創出していく取組を盛り込んでいます。</p>   |

## 4 重点課題

| 意見の概要  | 市の考え方   |
|--|---|
| <p>○未来を担う「さっぽろっ子」育成プロジェクト（算数にーごプロジェクト、ウィンタースポーツ塾）とおもてなし・観光強化プロジェクトの政策がかみ合っていないように思う。数字に強いことや冬季五輪を見据えた冬のスポーツ強化は長期的には必要かもしれないが、のんびりしすぎでは。算数やスキーができる大人が観光事業関連で強力な戦力となるのか。それよりも総合的な学力向上対策に重点を置き、全国学力テストの順位アップ、海外留学の比率アップなどに取り組むべき。</p> | <p>未来を担う「さっぽろっ子」育成プロジェクトは、学力・スポーツなどあらゆる面で子どもたちが自らの可能性に気づき、成長していくことで、将来的に観光産業も含め世界の舞台で活躍する「さっぽろっ子」となってほしいという期待を持って取り組むプロジェクトです。</p> <p>少人数で算数の学習を行うことは、自ら学び続けようとする学習意欲や社会に出てからも必要となる論理的思考力を高めることにつながるものであり、将来を見据えて充実を図ることが重要ととらえています。</p> <p>リーディングプロジェクトに位置付けた事業以外でも、「青少年科学館を活用した理科教育推進事業」、「課題探究的な学習モデル研究事業」といった学び力の育成につながる取組や、「国際理解教育推進事業」、「さっぽろ国際人材育成事業」などの国際理解や海外留学につながる取組などを盛り込んでいます。</p> |

| 意見の概要   | 市の考え方  |
|---|--|
| <p>○市長の想いは理解できたが、それを実現するための戦略・戦術が見えない。<br/>現状分析と課題に基づいたものになっておらず、想いのみの計画のため、実現は難しいのではないか。<br/>札幌市において、なぜ雇用創出には“おもてなし・観光…”なのかの事実分析をお願いしたい。雇用創出は他の分野の方が重要かもしれない。<br/>アクションプランとは、5年計画であれば、1年度の実施策と計画（4半期単位）・プロセス目標・推進責任者（部門）・達成時期などを明確にするべきだが、それが見えない。</p> | <p>まちづくりの戦略の方向性については、戦略ビジョンにおいて、札幌の強みや弱みを分析した「SWOT分析」などを踏まえて設定されており、これに基づく具体的な取組を中期実施計画であるアクションプランに盛り込んでいます。</p> <p>また、各分野の個別計画についても、この戦略ビジョンの基本的な方向に沿って推進していくものとしており、例えば、「札幌市産業振興ビジョン」では、各種調査や現状分析に基づき、観光分野を札幌市経済の成長をけん引する重点分野の一つとして位置付けています。観光分野は運輸業、宿泊業、飲食業、小売業、サービス業など多くの産業に関連するため、その振興によって多くの雇用が創出されると見込んでいます。</p> <p>アクションプランでは、各事業の担当部を明記するとともに、戦略ビジョンで掲げた成果指標とともに、各事業ごとに設定した活動指標を用いて、事業の進捗状況を毎年把握し検証することとしています。さらに、その検証結果を踏まえ、必要な見直しを行い、単年度予算に反映させることで、着実かつ柔軟な計画の推進を図っていきます。</p> |
| <p>○「高齢化」、「エネルギー」、「子育て」など、重点ポイントを拡散させすぎていて、結局、市として何が計画の特徴なのかが不明瞭である。</p>  | <p>アクションプランは今後5年間に実施する全ての政策的事業を網羅した計画ですが、計画期間内に特に重点的に取り組む事項を「重点課題」とし、それぞれにリーディングプロジェクトとして、合計16の計画事業を位置付けて明示しています。</p>  |
| <p>○「誰もが生涯現役」というスローガンは「死ぬまで働け」と言っているようで印象が良くない。</p>   | <p>豊富な経験や知識を生かして働きたい方はもちろん、ボランティア活動など福祉の担い手として活躍される方、町内会活動など地域のまちづくり活動に取り組む方など、それぞれの能力、健康状態や、こうありたい、という希望などによって活躍の仕方は様々です。誰もがその持てる力を発揮し、いつまでも生き生きと社会で活躍できることを「生涯現役」と表現し、これを支援する取組を進めていくこととしています。</p>   |
| <p>○安心して子どもを産むためには、ワーク・ライフ・バランスの推進が不可欠。</p>   | <p>アクションプランでは、子育て世代が安心して子どもを産み、育てていけるようにするためには、社会全体で子育てを支える仕組みづくりを進めていくことが必要だと考え、リーディングプロジェクトの一つに「子育て世代応援プロジェクト」を掲げています。このプロジェクトに位置付けられた「仕事と暮らしのライフプラン支援事業」を始め、「子育てママ再就職支援事業」や「女性社員の活躍応援事業」などに取り組み、出産・育児の際に雇用がきちんと守られる環境を整えていくことで、ワーク・ライフ・バランスを推進していきます。</p>   |
| <p>○上田市政で大事にしてきた「市民自治」「子どもの権利」という札幌らしい視点を言葉として盛り込むべき。アクションプランでどう位置付けられているか分からない。</p>  | <p>「市民自治」や「子どもの権利」の考え方は、アクションプランにおいても基本的な考え方として盛り込んでいます。「自分たちのまち自分たちがつくる」という「市民自治」の考え方は、特に、政策目標3「地域の課題を地域の力で解決する街」に係る取組の中に入れてあります。</p> <p>また、「子どもの権利」の考え方は、重点課題2「『女性が輝き子どもたちが健やかに育つ街』さっぽろをつくる」の中のリーディングプロジェクト「未来を担う『さっぽろっ子』プロジェクト」において、「子どもが生まれ育った環境で将来を左右されることなく、自ら未来を切り開いていけるよう支援していく」としたところなどに表れています。</p>   |

## 5 計画の推進に当たって

| 意見の概要  | 市の考え方   |
|--|---|
| <p>○アクションプランが計画どおり実現されることを望む。</p>  | <p>計画の推進に当たっては、戦略ビジョンで設定した成果指標や、各事業ごとに設定した活動指標を用い、毎年度進捗管理を行うとともに、必要に応じて事業内容を見直したり、新たな事業を実施するなど、各年度の単年度予算に反映することで、着実かつ柔軟な計画の推進を図っていきます。</p> <p>また、事業の推進に当たっては、人口減少・超高齢社会を始めとした厳しい局面を乗り越えていくため、市民、企業、行政の総力「市民力」を結集し、「オール札幌」で課題解決に取り組んでいくほか、北海道の発展なくして札幌の発展はないという考えの下、道内178市町村と相互に補完し合う関係を築くとともに、北海道との連携を一層強め、「オール北海道」で取組を進めていきます。</p> |
| <p>○「市民力の結集」について、札幌市が考える「市民力」を多くの人に理解、実践してもらうために、もう少しイメージしやすい具体的な例示をしてほしい。</p> | <p>アクションプランの中で、市民力を結集して取り組むべき象徴的事業として、「おもてなし・人材育成事業」が挙げられます。観光客に2度、3度と札幌を訪れていただくためには、市民との何気ない交流や、事業者から提供される心地よいサービスなど、街全体で観光客をもてなすことが不可欠であり、まさに「市民力の結集」なくして成しえないものが「おもてなし」だと考えています。</p>   |

## 第2章 まちづくりの取組

### 3 計画体系別事業

#### 政策分野「暮らし・コミュニティ」

#### 政策目標1 互いに支え合う地域福祉が息づく街

#### 施策2:地域に密着した保健福祉サービスを提供する環境づくり

| 意見の概要   | 市の考え方  |
|---|--|
| ○福祉に関わる人材を増やすため、若者が介護など福祉の仕事に興味を持てるようにPRしてほしい。          | 介護や福祉の仕事に必要な人材を将来にわたって確保していくためにも、若い世代の方に興味を持ってもらうことは大変重要であると認識しています。<br><br>そのため、介護サービス事業者を対象として、自らの事業所の魅力をPRする手法のセミナーを支援するなど、介護や福祉の仕事に関する魅力を発信する取組を行っていきます。 |
| ○エイズ啓発事業について、イベント受注団体が5年以上継続しているのは異常であり、また、事業効果に疑問を感じる。 | エイズ予防啓発事業の実施については、関連業務の実施経験や、人権及び社会的背景への配慮などが求められます。このような点を条件として、毎年、受託者の選定を行っています。今後とも、適正な受託者の選定を行うとともに、効果的な事業を実施したいと考えています。                                 |
| ○介護人材の不足は深刻であり、札幌市独自の介護職員などに対する処遇改善策を講じるべき。             | 介護職員などに対し働きやすい職場となるよう業務に役立つ知識の研修を行ったり、介護事業所などに対し賃金制度の改善を支援する専門家を派遣したりする取組などを実施しています。<br><br>今後も、介護人材の確保・定着を図るため、事業の効果を検証しながら、実施方法の改善などに努めていきます。              |

#### ■受動喫煙の防止など

| 意見の概要  | 市の考え方   |
|--|---|
| ○「魅力と活力にあふれた暮らしやすい街づくり」のため、「札幌市たばこ受動喫煙防止条例」を制定し、周囲の人の受動喫煙になる行動を市内全域で禁止してほしい。 | 毎月3日を「さっぽろMU煙デー」と定め、受動喫煙防止キャンペーンを実施しています。今後も、公共の場での受動喫煙防止の必要性及び喫煙マナーについての啓発活動をより強化し、市民全体の受動喫煙防止に対する意識を高めていきます。  |
| ○札幌では喫煙率が高いため、子どもたちにたばこの害について周知すべきである。                                       | これまでも、小学校等において、各区保健福祉部の医師や保健師によるたばこの害に関する健康教育などを実施してきましたが、今後も、学校教育と連携を取りながら、子どもたちにたばこの害の正しい知識を知ってもらう取組を行っていきます。 |

#### 施策3:災害に備えた地域防災体制づくり

| 意見の概要                                       | 市の考え方   |
|---|---|
| ○「被災者支援ネット」について、被災者支援事業として継続する意義があるのか疑問である。 | 北海道NPO被災者支援ネットに委託している事業では、被災避難者への相談支援のほか、避難者同士の交流を深めることを目的とした情報誌やホームページによる情報提供、避難者同士の交流会などを実施し、被災避難者のネットワークづくりを行ってきました。<br><br>この事業の成果として、被災避難者のネットワークが形成されたことから、今後は、市民活動団体が、このネットワークを活用し、自主的に活動を行っていくことが可能であると考えられることから、事業の委託は実施しない方向で検討しています。 |

## 政策目標2 誰もが生涯現役で活躍できる街

### 施策1:地域で共生する環境づくり

| 意見の概要   | 市の考え方   |
|---|---|
| ○高齢者の活動度の指標の現状値が96.9%という高すぎる数字に疑問を感じる。  | 当初指標の「社会参加」には幅広い活動内容を含めており、現状値・目標値が高くなっていたため、ご指摘を受け、特に社会に貢献する活動に着目した指標となるよう指標の数値の取り方を修正しました。  |
| ○誰もが活躍するためには、子どもや高齢者も大事だが、生活保護を受けている方々も活躍できる環境づくりが必要である。  | 生活保護を受けている方の中には、一般的な求職活動ができる方がいる一方で、社会との関わりに不安を抱えていたり、何らかの事情で就労意欲が低下したりしている方もいるため、個々の対象者の状況を十分考慮した上で、きめ細かい就労支援を行っています。  |
| ○今の年金制度は、他の収入が一定以上あると減額される。それなら働かずして生活保護をもらった方が良いとなる。これを防ぐために、生活保護費を削減し年金の減額分に補填するべきである。                            | 年金制度及び生活保護制度は厚生労働省が所管しているものです。制度に基づき適切に運用していきます。  |
| ○「市民の孤立を防ぐ支え合いの環境づくり」とあるが、ホームレスの方たちのためのシェルターについても考えるべきだと思う。暖かい住まいと食事、お風呂、寝る場所などを提供し、社会の一員としての希望を持ってほしい。             | 「札幌市ホームレス相談支援センター」を開設し、住居や居所を失った方に対して衣食住を提供し、自立に向けた支援を行っています。今後も市民に広く知られる施設となるよう広報活動などに力を注いでいきます。   |
| ○政策マーケティング・リサーチを実施する前に、従来の市民調査において無目的な調査項目や無駄の多い調査手法などが見受けられるため、まずは市職員のアンケート調査の基本的な能力の欠如を改善すべきである。<br><br>(類似意見 1件) | アンケート調査を始めとする様々な意識調査において、市民ニーズとかい離のない意思決定を行うための情報収集の指針として民間会社で行われるマーケティングも参考にした政策マーケティング・リサーチガイドラインを平成28年度に策定する予定です。<br><br>このガイドラインの策定に当たっては、より適切な調査手法の選択や設問設計を目指すことを想定しており、これを運用することで、多様化する市民ニーズを的確に捉える調査技能を全庁で共有していきたいと考えています。 |
| ○2億800万円の事業費が計上されている「アイヌ住宅建築費等貸付事業」は、妥当なものなのか。  | アイヌ住民の生活環境などの整備が遅れているため、居住環境の整備改善を図る本事業は必要であると考えています。   |
| ○「エコロコ！やまべ誰でも体操」普及事業は、財政規律を堅持しつつも未来への投資を積極的に行う「メリハリの効いた財政運営」を行うに当たり、妥当なものなのか。                                       | 「エコロコ！やまべ誰でも体操」は高齢者の介護予防を目的とした体操です。地域住民に親しまれるよう制作段階から住民の皆さんの意見を取り入れました。地域住民自らが普及員となり、町内会のイベントや老人クラブ・サークルなどで積極的に活用されています。<br><br>今後、さらに高齢化が進展する中で、費用をあまり掛けずに取り組むことができる効果的な事業だと考えています。  |

| 意見の概要  | 市の考え方   |
|--|---|
| <p>○知能が高いのに学習面で問題のある発達障がいの子どもたちを対象とした市立学校をつくってほしい。</p>     | <p>発達障がいのあるお子さんの支援につきましては、通級指導教室や特別支援学級の活用はもとより、通常の学級においても、個々の教育的ニーズに対応した特別支援教育を実践しています。</p> <p>今後は、学校生活上必要な支援を行う「学びのサポーター」の効果的な活用など、一人一人のお子さんの教育的ニーズに応じた支援体制をより一層充実するため、アクションプランにおいて、学びのサポーターの活用時間を増やすこととしています。</p> <p>また、現在、国においては、高等学校における通級指導の在り方の研究が進められており、知的障がいがなく高等支援学校の入学対象とならないお子さんに対しても、その支援の充実に向けた検討が行われているところです。札幌市としても、国の動きを注視しながら、引き続き、必要な支援を検討していきます。</p> |
| <p>○オリンピック誘致に当たり、多様性の観点から、同姓パートナーシップ条例制度のような取組が必要だと思う。</p> | <p>平成25年度に策定した第3次男女共同参画さっぽろプランに、新たな視点として「性的少数者への支援」を明記しています。同性パートナーシップ条例のような取組については、国や他自治体の動向に加えて様々な社会情勢などを勘案しながら、今後の性的少数者への支援策について検討していきます。</p>  |
| <p>○教育委員会での障がい者雇用をどのように進めるのか。</p>                          | <p>教員の採用については、平成17年度実施の教員採用試験から障害者特別選考を実施しており、必要に応じて適性検査や実技の一部または全てを免除しています。</p> <p>また、大学に対して、障がいのある方の受験機会の確保や学びやすい環境づくりについて働き掛けています。</p>   |
| <p>○高齢者の生きがいを大切にすると期待できる。</p>                              | <p>高齢者の皆さんが豊富な経験や知識を生かしながら働き続けたり、福祉のまちづくりの担い手となったりすることで、生涯現役として社会に貢献できるような環境の整備に取り組んでいきます。</p>  |

## 施策2：子ども・若者を社会全体で育成・支援する環境づくり

| 意見の概要  | 市の考え方  |
|--|--|
| <p>○家に引きこもっている若者などに対して就職の機会を与える計画も必要ではないか。</p>   | <p>引きこもっている若者への支援では、相談支援を実施するとともに、長期間のブランクがあって就職に自信がない若者の自立支援事業として、企業などの協力のもとで、一定期間の職業体験の機会を提供するなど、若者が社会的に自立できるよう取り組んでいきます。</p>  |
| <p>○子育て支援について、児童養護施設出身の子どもたちに向けた事業が素晴らしいと感じた。</p>  | <p>児童養護施設で育った子どもたちが、経済的な問題で学ぶ機会が失われることがないよう、支援をしていきます。</p>   |
| <p>○子育てに対してのお金の給付よりも、人的支援をしてほしい。<br/>核家族にとって、子どもが3歳になるまでの3年間はとても大変なので、1日2時間程度・週2回でも家事や子どもの見守りといった人的支援があると良い。</p> | <p>子育てを支援したい人（提供会員）と、援助したい人（依頼会員）による会員組織をつくり、会員間での子どもの預かり支援をコーディネートする「子育て援助活動支援事業」を実施しています。今後も、提供会員を増やす取組など事業の充実に努めていきます。</p> <p>また、札幌市社会福祉協議会では、産前産後8週以内の妊産婦を対象に、有償のボランティアが食事の支度や部屋の掃除、ごみ出しなどを行うサービスを実施しています。</p> |

| 意見の概要  | 市の考え方   |
|--|---|
| <p>○高齢者の施設と幼稚園や保育所を同じ敷地に建て、保育士や幼稚園教諭では手が足りない部分を高齢者に担っていただければ、子育て支援の充実と同時に施設入所者の引きこもり解消などにもつながるのではないかと。</p> | <p>現在、特別養護老人ホームなど高齢者の施設では、地域住民・小中学生・幼稚園児・保育園児などと様々な交流が行われています。</p> <p>また、特別養護老人ホーム・介護老人保健施設の新規整備時には、非常災害時は緊急避難場所の機能を果たし、平常時は、地域住民との交流の場となるスペースを整備するよう、事業者に働き掛けています。</p>   |
| <p>○札幌市高等学校等生徒通学交通費助成事業について、わざわざ自分の意志で市外の高等学校などに通う者に対し、血税を投入しないでいただきたい。</p>                                | <p>社会全体で子ども・若者を育成する観点から、市内に居住する高校等進学希望者が自由に進路選択できるようにすることは非常に重要なことと考えています。</p> <p>本制度は、通学交通費の負担を理由に進路選択の幅を狭めることを防ぐことを目的としており、本市の公立高校の通学区域が石狩管内の一学区であること、市内から石狩管内の市外の公立・私立高校に通っている生徒も多いことを考慮し、石狩管内を助成対象とすることが妥当と考えています。</p>  |
| <p>○子ども医療費助成について、小学1年生までの助成ではなく、助成の対象を増やすか一部負担金をなくすなどの改善を望む。</p>   | <p>財源に限りがある中で、札幌市としてはまず助成対象の拡大を検討し、平成30年度に小学1年生の通院まで拡大することとしました。</p> <p>それ以降の拡大については、今後の財政状況などを踏まえて判断していきたいと考えています。</p>   |
| <p>○子どもを預けて仕事をしたいと思っても、すぐには認可保育所に入れない。無認可保育所に通う場合でも、第2子以降の保育料無料化が適用されるようにしてほしい。</p>                        | <p>保育を希望する全ての市民が認可保育所などを利用できるようにすることで、第2子以降の保育料無料化を含め、子育ての経済的な負担が軽減されることを目指しており、平成27年度から平成29年度までの期間で集中的に保育所や認定こども園、小規模保育事業の整備を行い、合計で2,174人分の定員を増やす予定です。</p>   |
| <p>○少人数教育と学校の統廃合は矛盾している。地域の特色や要望を生かして学校配置を考えるべき。</p>   | <p>子どもたちにより良い教育環境を提供するためには一定の学校規模を確保することが重要と考え、保護者や地域の方々様々の意見を聴きながら、統合などによる「学校規模適正化」の取組を行っています。</p> <p>また、「算数にーごプロジェクト」で行う少人数指導は、学習内容が難しくなる高学年を対象に、子ども自ら課題を見つけることや、子ども同士の意見交換を充実することなどにより、算数学習への意欲や論理的思考力を高めることを目的として、1学級当たり25人程度の集団に再編成して実施するものであり、学校規模適正化の取組に関連するものではありません。</p> |

#### ■動物愛護

| 意見の概要  | 市の考え方   |
|--|---|
| <p>○高齢者が動物介在療法や動物介在教育など、適正のあるモデル犬猫を介した心のリハビリやコミュニケーションを図る場が必要である。</p> <p>(類似意見 13件)</p>  | <p>動物介在療法による不登校児支援や動物園と協働した動物介在教育を行っている他自治体の先進事例などを参考としながら、今後、これらの実施について検討していきます。</p>                                       |
| <p>○災害時には、ペットの救護、周囲への迷惑防止に配慮するため、ペットと共に避難できる仮設住宅などが必要になることが想定される。そのため、十分に広さのある敷地が必要であり、立地条件などを含む場所の選定及び設備を併せ持った施設や体制づくりが必須である。</p> <p>(類似意見 13件)</p> | <p>ペットの避難については、災害時の動物対策マニュアルを整備し、また、北海道や獣医師会などと協定を締結して、災害に備えています。今後、これらを必要に応じて見直し、ペットの同行避難などについて、より実効的なものになるよう検討していきます。</p> |

| 意見の概要   | 市の考え方  |
|---|--|
| <p>○野良猫の問題は地域の環境問題と捉え、市が中心となって、不妊手術代を補てんする補助金制度の導入や、飼い主への適正飼養の啓発を行っていくべきである。</p> <p>(類似意見 13件)</p>                  | <p>飼い主のいない猫の問題については、解決すべき重要な課題であると考えます。</p> <p>飼い主のいない猫が増えないよう猫の適正飼育について市民に引き続き普及啓発を行っていくとともに、飼い主のいない猫に対する避妊・去勢手術等のあり方を含め、動物管理センターの機能について検討を進めていきます。</p> |
| <p>○収容された動物たちの現状を知ることは、子どもたちの道徳観や人格的な成長を促すことから、動物管理センターに、遠足や課外学習などでも利用できる学習室も併せ持った教育の場が必要である。</p> <p>(類似意見 13件)</p> | <p>札幌市動物愛護管理基本構想において、動物管理センターは、「市民の愛護意識を高めるとともに、動物とのふれあいなどを通じ、幼少期からの命の大切さを学び、体感できるような動物愛護教育の機能」を担うものとしており、今後その機能の充実について検討していきます。</p>                     |
| <p>○札幌市には、動物や植物などの生物を通して市民が交流でき、気軽に立ち寄ることのできる参加型の施設が必要と考える。</p> <p>(類似意見 13件)</p>                                   | <p>札幌市動物愛護管理基本構想において、動物管理センターは、「子どもから大人まで、多くの市民が集い、愛護動物について理解を深めることができる機会の提供やペットにかかわる問題解決に向けた市民との交流を推進する機能」を担うものとしており、今後その機能の充実について検討していきます。</p>         |

### 施策3:歩いて暮らせるまちづくり

| 意見の概要   | 市の考え方   |
|---|---|
| <p>○観光客を増加させるためには、例えば地下通路を整備するなど、まず市民が生活しやすい街にすることが大事。</p>                                | <p>今後の超高齢社会を見据え、安全・安心で快適な歩行環境を確保し、移動の際の負荷を軽減するため、地下通路や乗継施設の整備、バリアフリー化などの社会基盤整備に取り組んでまいりました。</p> <p>ご意見のとおり、より市民が生活しやすく、また、来訪者が快適に移動できる街を創出するため、引き続き、地域のまちづくりと一体となった交通環境の充実や施設整備の検討を進めていきます。</p>   |
| <p>○地下鉄南北線の札幌駅について、黄色の階段にエスカレーターもしくはエレベーターを設置してほしい。</p>                                   | <p>南北線さっぽろ駅北側階段へのエレベーター設置については、駅舎の構造上、設置箇所の確保が困難な状況です。また、エスカレーターを設置した場合、階段幅が狭くなることで、ラッシュ時間帯においては更なるホームや改札階の混雑や滞留が懸念されることから、現時点ではエレベーター、エスカレーターの設置は困難と考えています。</p> <p>いただいたご意見は、今後の大規模改修時の参考とさせていただくとともに、当面は、より適切な乗客誘導を行うなどして、混雑緩和に努めていきたいと思っております。</p> |
| <p>○大通駅の南北線と東豊線への乗り継ぎエレベーターが両端にあるが、利用者への配慮が足りないと思う。</p>                                   | <p>大通駅は3線の地下鉄（南北線・東西線・東豊線）が交差していることとエレベーターが地下鉄開業後に設置したこともあり、駅の構造やお客様の通行を考慮して現在の位置に設置しております。</p>   |
| <p>○障害者差別解消法が28年4月から施行されることになった。これからより多くの観光客や外国人が訪れることもある環境で、安心・安全の札幌市をつくるための取組を希望する。</p> | <p>障害者差別解消法では、行政機関及び事業者に対し、不特定多数の障がいのある方が利用する施設などにおいて環境の整備に努めることを求めています。障がいのある方のみならず、観光客や外国人などが安心・安全に来札することができるよう、ユニバーサルデザインを意識した取組の検討を進めていきます。</p>   |

| 意見の概要   | 市の考え方  |
|---|--|
| OSNSによる情報発信について、指針策定のみにとどまることなく、最低限、週に1度は情報発信を行ってほしい。   | SNSを活用した情報発信を推進していくためには、最低週1回程度の更新は必要と考えていることから、「SNSによる情報発信を進めるための指針」において、「更新頻度を高め、少なくとも週に1回以上は更新するよう努める」旨の規定を設けることとしています。   |
| ○「コンビニ交付システム構築等事業」は、市民にとってサービス向上になるのか。費用対効果を含め、市民の意見も聞いた上で、再検討すべき。  | 「コンビニ交付システム構築等事業」は、市内に多数店舗があるコンビニエンスストアで休日も含めて幅広い時間帯で各種証明書が取得可能となるため、市民サービスの向上に資する事業であると考えています。また、「休日や夜間にも各種証明書が取れるようにしてほしい」と多くの市民から寄せられていた要望にこたえるべく検討してきた事業でもあります。                      |
| ○インターロッキングブロック工事について、もともと地盤が悪い場所に施行しているため凸凹があり、高齢者・車いす利用者・白杖を持った視覚障害者が一つ一つのブロックにつまづく結果になっている。また、点字ブロックについても、途中で切れており次につながる虫食い状態になっており、視覚障害者にとって危ない状態になっている。結果、ただでさえ数が少ないヘルパーとの同行が必須になり、外出がしづらくなる状況となっている。 | インターロッキングブロック舗装の凸凹や点字ブロックの破損については、パトロールや市民要望などにより、順次補修しています。また、高齢者や障がい者を含め誰もが安心して歩ける歩行空間の確保を目指しています。現在は、駅などの旅客施設や地域の拠点を中心に、公共施設や医療施設などを結ぶ道路を生活関連経路として設定し、点字ブロックを敷設するなどのバリアフリー化を順次進めています。 |

■障がいのある方が外出しやすい環境づくり

| 意見の概要   | 市の考え方   |
|---|---|
| ○地下鉄付近の交差点について、音響信号が設置されていない所が数多くあり、地下鉄移動のために駅に行こうとしても視覚障がい者にとって危ない状況にある。                       | 音響信号機につきましては、他の信号機と同様に北海道公安委員会が設置の可否を決定しています。札幌市では、設置要望があれば、必要性などを検討し、市の意見を沿えて音響信号機の設置要望を警察署に提出する対応をしています。  |
| ○地下鉄駅エレベーターについて、音声案内があるものの押しボタンのレイアウトが統一されていない。同メーカーが採用されているながら仕様がそろえられていないのは問題である。             | 地下鉄駅設置のエレベーターは、各駅に順次、最新標準機を設置してきたことから、仕様が統一されていませんでしたが、現在進めているエレベーター機器更新に併せて統一を図っていきます。   |
| ○地下鉄駅構内階段手すりについて、全体の9割の階段において、片方にしか手すりが付いていない、途中で切れている、端まで付いていないなどの不備があり、視覚障がい者が移動できない理由となっている。 | 駅構内の階段には、札幌市交通局が管理しているものと、駅に接続している民間ビルが管理しているものがあります。札幌市交通局が管理している階段には、設置が困難な場合を除き、原則として手すりを設置していますが、民間ビルが管理する階段については、引き続き手すりの設置依頼を行ってまいります。  |
| ○地下鉄各駅に7,000万円を掛けて設置された視覚障がい者用案内板であるが、一般利用者用の案内板が改札口のすぐそばにあることに比べ、非常に分かりづらい場所にある。               | 視覚障がいのある方への駅構内の案内のため、壁掛け式や自立式の触知案内板の改札口付近への設置を検討しましたが、構造上の問題などから各駅同様の位置に配置できないことや、利用者の通行に支障が出るなどの問題がありました。このため、平成16年に視覚に障がいをお持ちの方や有識者で構成したバリアフリー検討委員会の検討結果を踏まえ、駅出入口付近のコンコース上に設置しています。 |

| 意見の概要   | 市の考え方  |
|---|--|
| <p>○地下鉄駅の障がい者用トイレについて、構造がバラバラであり、ボタン配置も規則性がなく使いづらく感じるとともに、便座に暖房がなく寒い。</p> | <p>車いす対応用の身障者トイレ内の各設備の配置については、駅舎の構造やスペースの問題などにより、全ての駅で同じ位置に配置するのが難しいため、やむを得ず現状の配置となっています。このため、全ての身障者トイレの入口に触地図を取り付け、各設備の配置を明示しています。<br/>また、便座については、平成29年度から順次、暖房機能付き温水洗浄便座に更新する予定です。</p> |

### 政策目標3 地域の課題を地域の力で解決する街

#### 施策1: 地域活動を活性化する環境づくり

| 意見の概要   | 市の考え方   |
|---|---|
| <p>○成果指標「地域活動への市民の意識を示す指標」について、平成31年度75.0%、平成34年度75.0%と、目標数値が同じだが、単身世帯、高齢者世帯が増える中で31年度の数字は非現実的ではないか。また、31年度75.0%にするのであれば、34年度はさらに高い数値を目標にするべきである。</p> | <p>今後、少子・高齢化が一層進んでいく中、町内会活動は健康や除排雪、防犯・防災、子どもたちが明るく健やかに育つ環境づくりなどに密着した様々な課題の解決のためにますます重要となってくるものと考えています。<br/>そのため、現状において加入率が減少傾向であっても、町内会活動の重要性を認識する札幌市の姿勢として、現状値と比較してやや高め75.0%を平成31年度の目標値として掲げたものです。さらに、その水準を平成34年度まで維持できるよう、町内会活動に対して様々な支援を行っていきます。</p> |
| <p>○誰もが地域の中で役割を持って生きていけるようにするため、徒歩10分圏内に、人が集う居場所をつくってほしい。</p>   | <p>今後、改築する小学校には、子どもからお年寄りまでが利用できる地域交流施設を整備し、多世代交流を図っていくことを考えています。</p>   |
| <p>○地域住民がまちづくりをボランティアではなく、仕事としてやれるよう予算をつけてほしい。</p>  | <p>「地域の、地域による、地域のためのより住み良いまちづくり」のさらなる発展を支援するため、地域のことを最も良く知る地域の方々へまちづくりセンターの運営を委託する「地域自主運営化」事業を、平成20年10月に開始しています。これにより、現在、札幌市では9カ所のまちづくりセンターが自主運営となっています。</p>  |
| <p>○まちづくりセンターの存在意義が分からない。どこにあるか分からず使いづらいので、まちづくりセンター改革を進めるべき。</p>   | <p>市内に87カ所ある「まちづくりセンター」は、まちづくりのコーディネーターとして、地域の皆さんと連携しながら、様々なまちづくり活動を推進しており、地域の課題解決やコミュニティの活性化、ネットワークづくりに向けた取組をお手伝いしています。<br/>場所やその業務内容につきましては、札幌市公式ホームページやリーフレット、広報誌などで紹介しているところですが、今後も引き続き市民の皆さんに知っていただけるよう広報に努めていきます。</p>                             |
| <p>○少年野球の屋内練習場など、冬期間に夏型スポーツの練習が可能な施設の設置を検討すべきである。</p>   | <p>スポーツを楽しむ環境を充実させることは、スポーツ振興の観点からも、とても有意義なことであると考えていますが、財源には限りがあります。今後、スポーツ施設の在り方や、方向性をまとめていく中で、いただいたご意見を参考にさせていただきます。</p>   |
| <p>○新川通の歩道を走るランナーが多いが、車の出入りなどで危険なため、河川敷にランナー専用コース及び距離を表示した案内板を設置すれば良いと思う。</p>   | <p>新川につきましては、二級河川のため北海道が所管している河川です。いただいたご意見については、北海道にお伝えします。</p>  |

## 施策2:地域マネジメントの推進

| 意見の概要   | 市の考え方  |
|---|--|
| <p>○地域への愛着を生み出すためには、地域内での人と人とのつながりが必要であるため、多世代シェアハウス・コミュニティカフェなど、多世代間交流ができる場づくりや仕掛けを積極的に行うべきである。</p>  | <p>地域活動を活性化する環境づくりの取組として、平成24年より「地域活動の場整備支援事業」を実施しています。この事業は、新たなまちづくり活動やコミュニティを創出するアイデアを持つ市民グループからの提案により、市民集会施設（町内会館）の一部の改修や、空き家・空き地などを改修し、新たな交流の場づくりの整備費用を補助する制度です。</p> <p>この制度を活用し、これまでに市民自らが運営する交流拠点が15カ所創設されています。今後も新たなまちづくり活動や親しみやすい交流拠点の整備支援を行っていきます。</p>  |
| <p>○社会全体で問題を共有し合えるよう、年齢や置かれた状況にかかわらずあらゆる人々が交流できる場所が必要だと思う。</p>  | <p>今後、改築する小学校には、現在、行政と地域をつないだり、まちづくり活動の拠点となっている「まちづくりセンター」や子どもからお年寄りまでが利用できる地域交流施設を整備し、多世代交流を図っていくことを考えています。</p>   |
| <p>○「未来へつなぐ笑顔のまちづくり活動推進事業」について、そもそも市の目指す「魅力あるまち」とは何であるのか、地域の課題解決だけがそれにつながるのか伺いたい。また、地域活動の支援について、市の施策に合うようなもののみを支援するのではなく、新しい取組や新たに参画しようと思う人への支援もしていくべきだと思う。すでにやっていたとしても、現状それがあまり見えてこないのも問題だと思う。</p> | <p>まちづくり戦略ビジョンで「互いに手を携え、心豊かにつながる共生のまち」「北海道の未来を創造し、世界が憧れるまち」の2つを目指すべき都市像として掲げています。この「魅力あるまち」の実現のためには、地域におけるつながりと支え合いのまちづくりや地域課題の解決だけでなく、観光、MICE、シティプロモートなどといった札幌・北海道の様々な資源のさらなる活用が必要と考えます。</p> <p>「未来へつなぐ笑顔のまちづくり活動推進事業」では、上記のうち、主に地域におけるまちづくり支援を主眼としています。今後は、地域のネットワーク構築の促進や将来の展望とその実現に向けた活動指針である「地域まちづくりビジョン」の実現に向けた取組などの支援を促進していきます。実施施策の情報共有として、メールマガジンの配信やHPでの公表などに取り組みしており、今後も様々な媒体を活用し、さらなる情報共有を進めたいと考えています。</p> |

## 施策3:雪と共存した暮らしの推進

| 意見の概要   | 市の考え方  |
|---|--|
| <p>○「(仮称)さっぽろっ子ウインタースポーツ料金助成事業」の活動指標について単位は「枚」ではなく「人」ではないか。また、目標数値は累計ではないか。</p> | <p>活動指標が助成クーポン利用者数としてしていますので、ご指摘のとおり単位は「人」に変更します。目標数値につきましては、H31年度には、市内の小学3年生全員（約15,000人）に利用していただくことを目標としています。</p> <p>小学3年生の人数は、H27.5.1現在14,509人となっており、今後児童数が増える傾向にあるため、H31年度は15,000人に設定しています。</p> |

| 意見の概要   | 市の考え方  |
|---|--|
| ○小中学校と連携して「地域除雪おたすけ隊」を組織し、総合学習や長期休みの課題として、除雪活動を取り入れることはできないか。     | 全ての学校で「北国札幌らしさを学ぶ【雪】」に関する学習活動に取り組んでおり、除雪ボランティアや砂まきボランティアに取り組んでいる学校があります。<br><br>また、希望する児童生徒を対象に、雪に親しむこと、冬季における運動習慣の定着、公共的な活動に主体的に取り組むことを意識付けることを目的として、自宅周辺や公共性の高い場所などを除雪する「雪かき汗かきチャレンジ」という取組を行っており、今後も、地域と連携した除雪や砂まきなどのボランティア活動に取り組んでいきます。 |
| ○高齢者や障がいのある方々のお宅の除雪活動を拡充したり、滑り止めを散布したりすることにおいて、若い力を地域に使う取組はできないか。 | 高齢や障がいなどにより雪かきにお手伝いが必要となる方たちが安心して暮らせるよう、社会福祉協議会が中心となって、若い力の活用を含めた地域での支え合いによる様々な支援を行っています。  |

## 政策分野「産業・活力」

### 政策目標4 北海道経済の成長をけん引する街

#### 施策1:食の魅力を生かした産業の高度化

| 意見の概要   | 市の考え方   |
|---|---|
| ○第6次産業活性化について、ホタテと鹿肉の活用、ホタテカレー、鹿肉を活用したメニューなどの導入を促進してほしい。                            | 北海道内の1次産品を活用し、市内の製造業やレストランなどが、食の魅力を生かしながら道産品の新たな価値を生み出す「6次産業化」を推進しています。いただいたご意見は、今後の取組を進める際の参考にいたします。   |
| ○健康関連産業研究開発支援事業について、市内に事業活動の拠点(本社・研究所・工場)がない会社が含まれることのないように、その対象事業者の範囲を限定して実施してほしい。 | 本事業の対象事業者については、市内に事業活動の拠点があり、研究開発などに関与できる体制・人員を有していることなどを要件としています。<br>ご意見の中にあるとおり、販売拠点しか持たない大企業でも対象となりますが、こうした場合でも、研究が進展する中で、地場の中小企業の新たな参画や、研究所・工場の誘致につながることを十分に考えられます。<br>このため、現時点では事業内容の変更を考慮していませんが、今後も引き続き、行政評価などを通じて効果を検証しながら、事業を実施していきます。 |

#### 施策2:魅力あるまちづくりと観光振興の一体的推進

| 意見の概要  | 市の考え方   |
|--|---|
| ○「新千歳空港国際便誘致事業」の活動指標について、就航会社数を目標値にするのは現実的ではない。チャーター便数や利用者数の増加を目標にしてはどうか。          | 外国人観光客を一層増加させるためには、道外空港の経由ではなく、道内空港、特に新千歳空港への国際定期便の本数を増やすことが効果的であると考えており、そのための誘致活動は、航空会社が対象となることから、就航会社数を活動指標としています。                  |
| ○札幌の国際的な知名度を上げるため、まずは「アジアの重要都市・札幌」となるため、地域資源を生かし、中国・インド・インドネシア・シンガポールへのPRを行う必要がある。 | 主に東アジア・東南アジアをターゲットとして、旅行博出展、旅行会社招へい、メディア招へいなどにより、誘客プロモーションを行っています。特に中国、インドネシアについては、平成27年度の重点ターゲットとして集中的にプロモーションを行っており、こうした取組を続けていきます。 |

| 意見の概要   | 市の考え方  |
|---|--|
| <p>○ビジネスの拠点、観光の拠点であることを、街の住民が自認する街が世界都市だと考えます。外国人への適応力を高めるため、外国人との交流に踏み出しやすくなるような市民向けPRを行うことが必要だと思う。</p> <p>○市民は観光客に何か聞かれたら親切に対応をするといった行動の面での改善も必要だと思う。</p> | <p>これまでも、観光ボランティアの登録を行い、観光案内所などで市民の方々が観光客に対するおもてなしを実践する場を提供していますが、今後は札幌における観光産業の重要性を市民の皆さんに強く認識していただき、市民一人一人の観光客を歓迎する意識を醸成する取組を検討していきたいと考えています。</p>                                    |
| <p>○市民側の観光意識(おもてなし意識)を醸成するため、外国人と地域住民が交流できるイベントの開催やスペースづくりを行うと良いと思う。</p>  | <p>市民や事業者の皆さんと一緒に札幌市全体のおもてなし意識を高めていくことは大変重要だと考えております。いただいたご意見については、参考にさせていただきます。</p>   |
| <p>○「おもてなし・人材育成事業」で「市民のおもてなし意識の醸成」と記されているが、これはどのような施策であるか、具体的なものがあれば記すべきだと思う。</p>   | <p>ご指摘を踏まえ、事業内容を「ホームページや広報誌など様々な広報媒体を活用した市民のおもてなし意識の醸成やおもてなしを实践する機会の創出」という表現に変更しました。</p>   |
| <p>○観光客にリピーターとなってもらうには、観光客へのマナーやごみの問題など、日本の常識を知ってもらうことが重要だと思う。</p> <p>○アジアを中心とする外国人観光客が年々増えてきているが、マナー面などを改善していくべきである。</p>                                   | <p>これまでも、外国人観光客向けに札幌の文化・習慣、生活マナーを紹介する動画や小冊子を制作し、宿泊施設、観光案内所、レンタカー会社などを通じて配布しているところですが、今後も情報提供などを通じて、外国人観光客への理解促進を図っていきます。</p>   |
| <p>○札幌市や地方での民泊制度を検討してほしい。</p>   | <p>民泊制度については、急増する外国人観光客の影響による宿泊施設の不足に対応する手段として効果的である一方、衛生面や騒音問題など様々な課題も指摘されており、国レベルで検討が進められているところです。札幌市も観光客の受入環境を充実させる取組の一つとして注目しており、国などの動向を注視しながらルール作りなどについて検討を進めていきたいと考えています。</p>    |
| <p>○観光について、施設の充実より観光客の不満足要因の一つである人材面の育成を進めるべき。</p>  | <p>観光従事者のサービスやスキルのレベルアップが求められていることから、今後は、おもてなしスキル冊子の制作などにより、事業者向けの人材育成の支援を進めていきたいと考えています。特に、外国語の応対力向上については、大きな課題となっていることから、外国人とのコミュニケーションを円滑に行えるよう観光従事者向けの外国語コミュニケーション講座を実施する予定です。</p> |
| <p>○観光客が増加すると、札幌の美しい街並みが損なわれる懸念があるため、観光客・市民お互いが良いと思えるまちづくりが課題である。</p>   | <p>ご指摘のとおり、単に観光客を増加させるのではなく、市民にとっても観光客にとっても魅力的な街として発展することが重要だと考えます。そのため、札幌で生活する市民と観光客の双方にとって有益な観光振興を目指して取り組んでいくこととしています。</p>   |
| <p>○宿泊施設民間投資誘発事業について、特定の大型ホテルに投資した場合の公に対する還元が不明であるため、補助という手法ではなく、低利融資という手法で実施すべきである。</p>  | <p>観光産業はすそ野の広い産業分野であり、宿泊者数を増加させ観光消費を高めることは、札幌経済にとって非常に重要であると考えます。ご指摘の宿泊施設民間投資誘発事業については、各種調査を実施し、支援の手法も含めた事業内容の検討を行う予定です。いただいたご意見については、参考にさせていただきます。</p>                                |

| 意見の概要   | 市の考え方  |
|---|--|
| <p>○定山溪は空き家が目立ち、過疎化が進行していると感じた。今後、計画的にまちづくりを行い定山溪を活性化させてほしい。</p>                        | <p>平成27年3月に、札幌市と一般社団法人定山溪観光協会、ホテル・旅館、その他事業者、住民が一体となって魅力的な観光地づくりを進めるための指針として、「定山溪観光魅力アップ構想」を策定しました。</p> <p>今後は、魅力アップ構想に基づき、温泉に加え、自然や体験スポットといった魅力ある観光資源を活用しながら、定山溪の活性化に努めていきます。</p>  |
| <p>○PMFに13億円も使う事になっているが、札幌市民以外に多額の税金を使うことは好ましくない。少なくとも実費は参加者に負担させ、札幌市の負担を少しでも抑えるべき。</p> | <p>PMFは、世界の一流の教授陣が、世界各国から募集したアカデミー生に音楽教育を施すだけでなく、Kitaraや市内の街角で様々な演奏会を開催し、市内小学生を対象とした参加型のコンサートを行うなど、市民が質の高い音楽に触れる機会も創出しており、夏の札幌市の魅力の一つとして、シティプロモートにも寄与しています。</p> <p>また、協賛獲得に向けて積極的に企業などに働き掛けを行うなど、できる限り札幌市の負担を少なくするよう努力しているところです。</p> <p>なお、参加者に費用負担を求めることは、応募者の減少など、事業の質の低下を招く恐れがあることから慎重な判断が必要と考えますが、いただいたご意見も参考とさせていただきながら、引き続き効率的な運営について検討を進めていきます。</p> |
| <p>○札幌は他の地域と比べて演劇のポテンシャルが高いため、札幌演劇に市民が一丸となって力を注ぎ、札幌演劇を産業化し、まちづくりに生かしていくべきである。</p>       | <p>地方都市でありながら演劇活動が盛んな特性を生かし、演劇を、音楽や美術などと並ぶ新たな魅力資源として活用していきたいと考えています。</p> <p>札幌で生まれた優れた演劇作品を再演する「札幌演劇シーズン」はその代表的な取組であり、札幌市も開催経費の一部を補助するほか、実行委員会の一員として関係者ととも演劇振興に力を注いでいます。</p> <p>今後は、より多くの市民の方に演劇の素晴らしさを感じてもらうために、これまで以上に広報活動に力を入れ、市民文化としてさらに定着していくように、また、魅力あるまちづくりの資源として活用できるように努めていきます。</p>   |
| <p>○オータムフェストについて、実行委員会が任意団体であり、構成員とその諸々の細かい契約などが市民には分かりづらい。</p>                         | <p>さっぽろオータムフェストは、「北海道・札幌の食」をメインテーマとし、道内市町村や民間事業者と連携して、道内各地から旬の食材、ご当地グルメを一堂に取りそろえることによって、道内各地域の「食」のアンテナショップとしての役割を果たし、北海道全体の活性化に貢献することを目的としています。</p> <p>このため、札幌市だけではなく、民間事業者の力を生かしていくことが重要であり、様々な分野の事業者からなる実行委員会を組織して運営を行っているものです。札幌市としては、実行委員会の一員であることから、実行委員会へまつりの運営を適切に行うよう働き掛けていきたいと考えております。</p>  |

| 意見の概要   | 市の考え方  |
|---|--|
| <p>○オータムフェストの食品提供などの営業許可において、保健所が施設ごとではなくエリア単位で許可を行うなど、条例に基づいた適正な業務手続きを行っていないことは重大な問題である。</p> | <p>北海道食品衛生法施行条例で規定する施設基準に基づき、営業許可の適否を判断しており、申請者が管理する同一エリア内の複数の厨房施設について、厨房毎に申請がなされる場合や、申請者が1つの施設として責任を持って営業するものとして申請がなされる場合もあり、その申請の方法は申請者に帰属するものです。また、それぞれの施設が基準に適合していれば、食品衛生法に基づき許可することとなります。</p> <p>なお、エリアの大きさに関係なく1つの申請に対し1つの許可となるため、許可証は1枚となり、通常は実施本部や実行委員会の事務局に掲示していますが、市民などが安心して利用できる工夫をするよう指導していきたいと考えています。</p> |
| <p>○雪まつりの大雪像支援ボランティアの待遇改善を考慮してほしい。</p>  | <p>大雪像制作は、毎年テーマや制作環境に変化が伴うものであるため、ご希望とのおりの内容で従事していただけない場合がありますが、ボランティアの皆さんには、ご参加いただいている方の体力に合わせ、できる範囲のことをご協力いただきたいと思います。</p>   |

### ■円山動物園

| 意見の概要   | 市の考え方   |
|---|---|
| <p>○札幌市は設備投資に関わる事業収支や財源見直しなどを市民に明らかにしたうえで、円山動物園の第1駐車場増設事業、類人猿館改築事業、ゾウ導入事業、アフリカゾーン開業準備事業、ホッキョクグマ・アザラシ館建設事業を進めるべきである。</p> | <p>平成25年には事業収支や財源見直しなどを盛り込んだ札幌市円山動物園基本計画の改訂を行い、施設の整備や改修、基礎収支改善などの取組を進めているところです。</p>   |
| <p>○ゾウ導入事業について、ゾウを飼うという事は、それだけのランニングコストも掛かるため、未来の世代にも負担を掛けるため反対する。</p>  | <p>円山動物園では種の保存及び環境教育を目的としてゾウの再導入を予定しています。ゾウの生活環境を整えつつ飼育するには、水道代、光熱費、餌代など一定のランニングコストが掛かりますが、暖房の方法や水の利用方法について効果的なものとなるよう十分検討し、少しでも費用軽減を図りたいと考えています。</p>   |
| <p>○アフリカゾーン開業準備事業について、新聞では不備だらけだったと読んだが、設計をプロに任せず、大学の素人にさせたからではないか。</p>   | <p>市立大学には、設計会議などで参考意見をいただきましたが、設計はプロの方に委託して実施しています。平成28年度に実施する動物の移動に関しては、様々な方のお知恵をお借りして実施していきたいと考えています。</p>   |
| <p>○ホッキョクグマ・アザラシ館建設事業について設計上の不備がある。アザラシにストレスをかけおびえさせて、それが面白いとは市の考え方を疑う。</p>   | <p>ホッキョクグマ・アザラシ館では、ホッキョクグマとアザラシの生態や生息域の環境問題について来園者に興味を持ってもらうことを目的としています。そのための展示手法の一つとして、プールの中にアクリルでできた透明の通路を設置し、プールの仕切りの一部を透明化する予定です。これにより、ホッキョクグマとアザラシの水中を泳ぐ姿を通路の中から間近で同時に観察でき、両者の能力や生態の違いに対する理解と関心を深めていただけたらと考えております。</p> <p>この水中空間の仕切りの一部を透明化する展示手法は、既に海外で取り入れられているものであり、当園職員も実際にこの展示手法を取り入れている施設を視察し、現地職員から聞き取り調査を行った結果、動物の行動や健康状態に異常は認められないことを確認しています。</p> |
| <p>○サル山改修事業について、サル山の改修は終わったはずなのに、なぜまた事業費を計上しているのか、明確に発表すべきではないか。</p>  | <p>サル山改修事業は今年度すでに完了していますが、アクションプランは平成27～31年度を計画期間としていることから、本事業についても計画事業として掲載しています。</p>  |

| 意見の概要  | 市の考え方  |
|--|--|
| <p>○動物園教育普及事業について、動物園に無駄にハコモノを造るのではなく、優れた人材を世界中から集めたり、プロを多数育成したりするなどして、札幌発の優れた情報を世界に発信するべきだ。</p> | <p>老朽化が進んでいる建物があり、獣舎・檻の破損による動物の逃亡防止のための対策が急務であることと、より動物たちの飼育する環境を豊かで充実したものにするため特に必要なものについて施設整備を進めているところです。</p> <p>また、専門的な知識を有し、活動を行っている機関、大学、NPOなどとも連携しながら、常に最新の環境情報を取得し、絶命の危機にひんした動物たちの飼育・展示、ソフト事業を実施し、それらを通じて動物たちの生息域が抱える環境問題、生物の多様性の確保やその意義の普及、啓発などの様々な情報を発信しており、今後も各機関との協力・連携を図っていきます。</p> |

### 施策3:エネルギー転換に対応した環境産業の創造

| 意見の概要  | 市の考え方  |
|--|--|
| <p>○第2章政策分野「産業・活力」、施策3エネルギー転換に対応した環境産業の創造について、&lt;施策の方向性&gt;へ以下の趣旨を追加してほしい。</p> <p>平成28年4月から始められる電力小売り自由化、平成32年に実施になる「発送電分離」を、電気料金抑制の機会とするよう、また再生エネルギー関連の基幹産業化の機会にするよう、札幌のエネルギー資源の地産地消による資金の地域循環を図ります。</p> | <p>北海道経済全体の活性化を見据え、新たな価値の創造による産業の高度化を図るとともに、道内循環を高め、道外需要を取り込むことで、足腰の強い産業基盤を確立することが重要です。こうした課題認識のもと、エネルギー関連技術の産業化を推進することを、「エネルギー転換に対応した環境産業の創造」の施策として戦略ビジョンで掲げています。</p> <p>この取組に限らず、エネルギー資源の地産地消による域際収支改善も含め、様々な産業振興施策によって得られる資金については、市内はもとより、道内での循環を意識し、北海道経済全体の活性化へとつなげていきたいと考えています。</p> <p>なお、具体的に取り組んでいくに当たっては、ご指摘にあったような電力小売り自由化などを含め、様々な情勢変化をしっかりと踏まえていきます。</p> |

### 政策目標5 国内外の活力を取り込む街

#### 施策1:世界の活力を取り込む国際戦略の積極展開

| 意見の概要   | 市の考え方  |
|---|--|
| <p>○世界都市札幌を目指すに当たっては、市民が海外文化と触れ合える機会を設けるなど、市民と外国人との壁がなくなるよう意識改革を図っていくことが必要である。</p>  | <p>市民や市民活動団体との協働により、異文化理解を深める機会や外国籍市民と日本人市民とが交流する機会を充実させ、多文化共生のまちづくりを推進していきたいと考えています。</p>              |
| <p>○「世界冬の都市市長会関連事業」の活動指標について、会員となるかは各都市が判断することであり、札幌市の努力によって今後会員都市数が増加するということはありません。そのため、目標設定にふさわしくない。まずは、平成28年度に札幌市で事故なく開催されることが大切であることから、「目標 H28開催」に変更してはどうか。</p> | <p>市長会の活動を国内外の都市に広く周知するとともに、札幌で開催する市長会議に多数の都市の参加を促すことで、国内外の都市の市長会への関心を高め、会員都市数の増加を目指していきたいと考えています。</p> |

| 意見の概要   | 市の考え方  |
|---|--|
| <p>○欧州、特に北欧諸国との交流を活発化し、いずれは姉妹都市になれば、北欧の進んだ福祉政策や環境事業、気候への適応などをより強力で学ぶことができるのではないかと考える。</p> | <p>欧州諸国は、これから札幌が直面する人口減少・超高齢社会やそれに伴う労働力不足などの課題を40年程前に経験し、その対策を展開していることから、札幌の持続可能な発展のため、参考にすべきことは数多くあります。</p> <p>北欧諸国につきましては、フィンランドのロヴァニエミ市とは、「世界冬の都市市長会」にて交流を深めています。今年7月に札幌にて開催された「市長会実務者会議」では、ロヴァニエミ市にも参加いただき、北極圏の寒冷地において、独自に育まれたデザインを活用したまちづくりについて紹介をいただきました。</p> <p>今後とも、欧州諸国との交流を深め、先進的なまちづくりを札幌の施策形成に活用していくことにより、まちの課題解決につなげていきたいと考えています。</p> |
| <p>○「MICE施設整備事業」は、新たに施設を造るのか。財政状況も厳しいので、公共施設の老朽化への対応を優先すべきではないか。</p>                      | <p>札幌コンベンションセンターは国内の企業ミーティングや、中小規模のコンベンションの開催が多く、高い稼働率を維持していますが、大規模な学会や国際会議については、さっぽろ芸文館・ニトリ文化ホールを含む西11丁目のエリアで開催され、施設のすみ分けがなされています。</p> <p>さっぽろ芸文館・ニトリ文化ホールが平成30年で閉館する予定であることから、札幌で引き続き大規模な学会が開催できるよう、現在、本市に必要な会議場の在り方について検討を行っています。</p> <p>なお、本市の公共施設については利用される方の安全性を確保するため、随時点検を行い、必要な修理などを行っています。</p>   |

### 施策2: 創造性を生かしたイノベーションの誘発

| 意見の概要  | 市の考え方   |
|--|---|
| <p>ODTM (Desktop Music) の作曲コンテストを開催してほしい。札幌にはたくさんDTMをやっている学生がいるが、人前で曲を発表する場がほとんどない。企業の協力も得ながら、札幌市がこの分野で権威ある賞をつくり、新たな文化交流の場の一つとして育てていけると思う。</p> | <p>アクションプランでは、「メディアミックスイベント創出支援事業」を盛り込んでおり、文化・芸術を通じた産業・観光振興を図るため、映画や音楽・ICTなどが複合したイベントを支援することとしています。いただいたご意見についても参考とさせていただきますながら、文化交流の場の創出に取り組んでいきたいと考えています。</p> |

### 施策3: 広域連携ネットワークの強化と投資環境の充実

| 意見の概要   | 市の考え方   |
|---|---|
| <p>○近隣市町村との交流をより活発にすべき。</p>   | <p>近隣市町村とは、地域振興や広域観光を始め、交流人口の増加や交通安全など、様々な分野で連携した取組を行っています。今後も、近隣市町村と情報共有や意見交換を重ね、より一層の連携を進めていきます。</p>  |
| <p>○札幌駅に新幹線を導入すれば、札幌駅の改築が必要となるとともに、札幌駅近接の一部の建物を取り壊す必要があると懸念される。</p> | <p>北海道新幹線の札幌駅ホームは、平成24年6月の工事実施計画認可の際に、現1、2番線の位置とされており、建設主体である鉄道建設・運輸施設整備支援機構とJR北海道が協議・検討を行っています。</p> <p>その際には、在来線ホームが新幹線ホームに変更になりますが、札幌駅の改築や周辺建物への影響については、まだ明確になっていません。札幌市としては、現認可を基本として、利用者の視点に立った検討をしていただくよう、関係者と協議していきたくと考えています。</p> |

| 意見の概要   | 市の考え方   |
|---|---|
| ○観光をより活性化させるために、公共交通機関をより活用し、より良くするべき。丘珠空港における新たな定期便の就航や、海外からやってくる観光客にも分かりやすい交通網の乗り換えの利便化などを進めてほしい。     | 観光客にも使いやすいよう公共交通ネットワークを効果的に運用することにより、拠点へのアクセス機能の向上、各交通機関の相互連携と質的充実を図ります。<br>また、丘珠空港を始めとした空港・港湾及びそれらへのアクセス、鉄道、高速道路などの機能の確保・充実などを通して広域交通ネットワークの強化を図ります。                                 |
| ○創成川通機能強化検討調査事業について、道路整備ありきではなく、何が問題で、本当にアクセス道路は必要かという根本のところから、市民参加で話し合い、考えることが重要だと思う。<br><br>(類似意見 1件) | 札幌が国内外からヒト、モノなどを引き付け、世界都市としての魅力を創造し続けていくためには、周辺の空港などから都心へのアクセスを強化し、新幹線札幌延伸とも連携した広域的な交通ネットワークを形成することが重要であり、都心部と高速道路を結ぶ創成川通の機能強化が果たす役割は大きいと認識しています。今後、市民との情報共有を図りながら、検討を進めていきたいと考えています。 |
| ○丘珠空港周辺は、住宅密集地域で事故の危険性が伴うので、丘珠空港における増便やジェット化をさせないこと、また、滑走路延長はしないことを盛り込んでほしい。                            | 丘珠空港につきましては、道内拠点空港としての機能向上を促進するため、周辺の生活環境に配慮し、地域との共存を図りつつ、航空ネットワークの充実や利便性向上を目指していきます。   |

#### 施策4:シティプロモート戦略の積極展開

| 意見の概要                                    | 市の考え方  |
|--|--|
| ○海外シティプロモート推進事業については、費用対効果を考えて実施するべきである。 | 海外シティプロモート推進事業は、インターネットメディアや対象とする国・地域のマスメディアなどを活用することで、多くの人々に札幌をPRし、現地における札幌の認知度及び好感度を向上させることを目的とした事業です。<br><br>ご指摘のとおり、事業実施に当たっては、対象国における認知度を調査し、事業の費用対効果を検証していきます。 |

#### 施策5:さっぽろ未来創造プロジェクト

| 意見の概要                            | 市の考え方  |
|----------------------------------|--|
| ○現在、招致を進めているオリンピックの意義は何かを示してほしい。 | オリンピックの意義としては、スポーツを通じて、若者などが健康な体をつくるとともに、フェアプレーの精神を学ぶことや相互理解を深めること、また平和な社会を奨励することを目指すことにあります。<br>札幌市でも、冬季オリンピック・パラリンピックを開催することで、子どもたちに夢と希望を与えるとともに、冬季スポーツを振興し、世界平和に貢献します。<br><br>また、都市基盤及び冬季スポーツ施設の更新や、バリアフリー化の促進といった都市のリニューアルを推し進めるほか、札幌・北海道のみならず、日本全体の活性化につなげていきたいと考えています。 |

## 政策目標6 産業分野の人材を育む街

### 施策1: 将来を担う創造性豊かな人材の育成・活用

#### ■算数にーごープロジェクト事業

| 意見の概要  | 市の考え方   |
|--|---|
| ○小学生の早いうちから算数の苦手意識を払しょくさせるため、低学年～中学年から始めても良いと思う。 | <p>小学校の算数では、高学年になると、小数で割り算を行った、台形の面積を求めたりするなど、中学年までに学習した内容を発展させた抽象的で複雑な学習内容が多くなり、苦手意識を持つ子どもが増える傾向にあります。このような教科の特性、子どもの傾向を踏まえて、高学年を対象に少人数指導を充実する予定です。</p> <p>ご意見にあるように、中学年以下でも、子どもが苦手意識を持ちやすい学習内容がありますので、本事業の中で、中学年以下の指導にも生かせる指導方法などを併せて研究していきたいと考えています。</p> |
| ○25人という人数は多く、クラス分けの基準についてもう少し具体的にすべきと思う。         | <p>教員が、子ども一人一人に応じてきめ細かい指導を行うことができる最大限の人数という観点から、25人と設定しました。また、クラス分けについては、習熟度別などの方法がありますが、これまで行ってきた少人数指導の成果や課題、モデル校における研究を踏まえて、検討していきます。</p>   |

#### ■小中連携・一貫教育推進事業

| 意見の概要   | 市の考え方   |
|---|---|
| ○中学校に進学したときに変化になじむことができず、いじめが増加したり不登校になったりする「中1ギャップ」の課題が、小中学校を一貫にすることで改善するのかについては疑問に思う。 | <p>いわゆる「中1ギャップ」については、様々な要因が考えられますが、中学校に進学した際の環境変化が要因の一つになっている可能性があると考えられます。子どもが感じている課題を改善していくことが最も重要ですので、小中一貫教育によって、どのように改善につながるのかを検証するため、モデル校における研究を進めながら、小中一貫教育の意義や在り方を検討していきたいと考えています。</p> |
| ○公教育としての小中一貫教育に疑問がある。   | <p>小中一貫教育については、「小中連携・一貫教育推進事業」において、先進都市の視察やモデル校での調査・研究を通して、教育的効果や課題を整理するなど、その在り方などについて多角的に検討していきます。</p>   |

#### ■進路探究学習

| 意見の概要   | 市の考え方   |
|---|---|
| <p>○教育を通して、子どもたちが本当に自分がやりたいことを見つけられるような環境をつくってほしい。</p> <p>○小、中、高、大において、自分の本当にやりたいことを主張し、かつ、それを社会に組み込むことも可能であるという自信を付けさせる機会を創出してほしい。</p> | <p>小学校段階から、職業体験など多くの社会体験をし、働くことや職業を自分との関わりの中で考えたり、自分の将来を展望したりするなど、自分らしい生き方を考える「進路探究学習」を推進しており、全ての市立中学校・高等学校では、地域の商店や企業などでの職場体験学習を実施しています。</p> <p>今後は、小学校を中心に、取組の充実を図っていきます。</p> |

| 意見の概要   | 市の考え方   |
|---|---|
| <p>○置かれた環境によって生き方を左右されている高校生に対する支援制度が見当たらない。高校生向けに、大学生などの若者が対話型のワークショップを実施しながら、人生のきっかけを作り出すプログラムを制度として実施してほしい。</p> <p>○「未来を担うさっぽろっ子育成」については、施策が小中学生に偏っているため、高校・大学生に対しても広い視野や成長の機会を与えるような施策が増えると良いと思う。</p> | <p>高校生が、大学生などとの対話を通して自己を見つめ、より良い生き方を考える活動は大変貴重な取組であると捉えています。市立高等学校では、職場体験学習やボランティア活動、海外研修、商品開発・販売実習など、それぞれ特色ある取組を進め、子どもたちが社会を見つめ、自分がどのように社会に関わるかなどについて学習しています。</p> <p>すでに、対話型のワークショップを実施している学校もあることから、その取組を他の学校へ紹介するとともに、今後は、子どもたちが視野を広げ成長していけるような取組を一層推進していきたいと考えています。</p> <p>また、通学交通費の負担を理由に進路選択の幅を狭めることを防ぐために、平成30年度から、高校生などの通学交通費のうち基準額を超える額の半額を助成する「札幌市高等学校等生徒通学交通費助成事業」を開始する予定です。</p> |

#### ■ふるさと学

| 意見の概要  | 市の考え方   |
|--|---|
| <p>○小中学生・高校生を対象として、アスリートや芸能人、起業家など、様々な分野で活躍する道内出身者から話を聞き、社会の可能性について学べる機会をつくる。これにより、札幌を愛し、誇りに思う真のさっぽろっ子が育成されると思う。</p> | <p>職業体験など多くの社会体験をし、働くことや職業を自分との関わりの中で考えたり、自分の将来を展望したりするなど、自分らしい生き方を考える「進路探究学習」を推進しており、この中で、企業の方などを学校に招き、職業に関する講演を行っていただくなどの取組を行っています。</p> <p>また、地域の多様な経験や技能を持つ人材・企業などの豊かな社会資源を活用したプログラムを土曜日などに実施する「サポロサタデースクール事業」も進めています。</p> <p>札幌には、様々な分野で活躍する方がたくさんいますので、このような方を学校に招いて行う学習活動を一層充実し、子どもたちが札幌に誇りを持てるよう取り組んでいきます。</p> |

#### 施策2:誰もが活躍できる社会の実現

| 意見の概要   | 市の考え方  |
|---|--|
| <p>○高齢者の就労支援をすることがこれからの高齢化社会で重要であると考えます。</p> <p>(類似意見 1件)</p> | <p>高齢者に臨時・短期などの就業機会を提供しているシルバー人材センターへの支援を継続するほか、高齢者向けのセミナーの開催や求人開拓を計画しています。こうした事業を通じて働くことを希望する高齢者の就業機会を増やしていきます。</p>   |
| <p>○「誰もが活躍できる社会の実現」の指標数値について、もっと実態把握を行うべき。</p>                | <p>当該施策について、成果指標である「仕事と生活の調和が取れていると思う人の割合」が戦略ビジョンの目標値70%に対して現状値は47.3%であることなどを踏まえ、「仕事と暮らしのライフプラン支援事業」や「就業サポートセンター等事業」などを計画期間内に重点的に取り組むリーディングプロジェクトに位置付け、目標の実現に向けて取り組んでいきます。</p> |

#### ■ワーク・ライフ・バランスの推進

| 意見の概要   | 市の考え方   |
|---|---|
| <p>○女性が輝くのは重要であるが、そのためには男性の協力が必要であり、男性にも意識改革のため研修会・セミナーなど実施するべきである。</p> | <p>「男性は仕事、女性は家事・育児」といった固定的な性別役割分担意識の解消に向けて、男女共同参画センターを中心としてセミナーなどの啓発活動を行っています。今後も、男女がともに、その個性と能力を発揮して生き生きと暮らすことができる社会を目指し、環境整備を進めていきます。</p> |

| 意見の概要  | 市の考え方  |
|--|--|
| <p>○女性社員が辞めずに済むかどうかはセミナーで解消されるものではなく、育児休業後に元の仕事に戻れるという保障、そして保育所の充実であるので、足元の官製ワーキングプア問題を解決する努力から始めてほしい。</p> | <p>誰もが育児休業を取得でき、育児休業終了後も再び元の職場で働けるよう、初めて育児休業を取った社員のいる会社や育児休業を取得した男性社員のいる会社に助成金を出したり、育児休業を取る人の代わりに働く人を雇う費用を補助したりするなど、企業への助成制度を設け、育児休業などを取りやすい環境整備を進める会社を支援しています。</p> <p>今後は、このような仕事と生活の両立「ワーク・ライフ・バランス」の取組をもっと広めていけるよう努力していきます。</p> |
| <p>○子どもの貧困を改善するためには、子育て世代が育児しやすい環境をつくることが重要であるため、育休に関する取組がこれからどういう方向に発展するのか興味がある。</p>                      | <p>これまで、初めて育児休業を取得した社員のいる企業や、男性社員が育児休業を取得した企業に対して助成金を交付してきたほか、平成28年度からは、育休代替職員を雇用した企業に対して助成を行うこととしています。今後も、社会全体への啓発に力を入れ、育児休業の取得しやすい環境整備を進める企業を支援するなど、ワーク・ライフ・バランスの一層の推進を図っていきます。</p>  |
| <p>○育休や代替職員に対して市が補助金を出す取組は素晴らしいと思う。WLBの認証マークを求人票で確認できるようにするとさらに良いと思う。</p>                                  | <p>平成24年度から、ハローワークの求人票備考欄に札幌市のワーク・ライフ・バランス認証企業である旨を記載できることとしております。今後も、育児休業の取得しやすい環境整備を進める企業を支援するなど、ワーク・ライフ・バランスの一層の推進を図っていきます。</p>   |
| <p>○育休代替職員の制度は、多くの企業に取り入れてほしい。</p>   | <p>育休代替職員雇用への助成金につきましては、必要としている企業が活用できるよう、制度の創設を積極的に周知していきます。今後も、育児休業の取得しやすい環境整備を進める企業を支援するなど、ワーク・ライフ・バランスの一層の推進を図っていきます。</p>  |

## 政策分野「低炭素社会・エネルギー転換」

### 政策目標7 自然と共生する環境負荷の少ない街

#### 施策1:持続可能な集約型の都市への再構築

| 意見の概要   | 市の考え方   |
|---|---|
| <p>OP70～の「政策分野『低炭素社会・エネルギー転換』」では、都市の低炭素化（二温室効果ガス排出量の削減）を目指していると思うが、成果指標に温室効果ガスの削減量が設定されていないのはどうしてなのか。</p>   | <p>アクションプランは、まちづくり戦略ビジョンを実現するための中期実施計画という位置付けであることから、戦略ビジョンにおいて設定された成果指標を用いて進行管理を行うこととしています。</p> <p>なお、温室効果ガスの削減量については、「札幌市温暖化対策推進計画」の中で、2030年に1990年比で25%削減など具体的な目標値を掲げており、この達成に向けて取り組んでいくこととしています。</p> |
| <p>OP71の「LED街路灯推進事業」は、P70の施策の方向性を見る限り、エネルギー効率の良い集約型の低炭素都市への再構築を進めるための事業というより、エネルギー消費量の低減を図る事業だと思うので、P78～79の「施策3：市民・企業による環境負荷低減の取組の推進」の事業として記載するほうが適切だと思う。</p> | <p>ご指摘のとおり、本事業については、エネルギー消費量の低減に寄与する部分が多いと判断されることから、「政策目標8：エネルギー効率の高い持続可能な街 政策3：市民・企業による環境負荷低減の取組の推進」の事業に変更しました。</p>  |

| 意見の概要  | 市の考え方  |
|--|--|
| <p>OP71の「敬老優待乗車証、福祉乗車等のICカード移行事業」は、エネルギー効率の良い集約型の低炭素都市への再構築を進めるための事業というより、公共交通機関の利便性向上による利用促進や廃棄物の減量を狙いとした事業だと思うので、P72の「施策2：多様な活動を支える環境に優しい交通体系の確立」、または、P80の「施策4：循環型社会の構築」の事業として記載するほうが適切だと思う。</p> | <p>ご指摘のとおり、本事業については、公共交通機関の利便性向上による利用促進に寄与する部分が大きいと判断されることから、「施策2：多様な活動を支える環境に優しい交通体系の確立」の事業に変更しました。</p>           |
| <p>○JR駅、地下鉄駅から徒歩10分以内のエリアの人口集積を進める施策を進めていくと良いと思う。</p>  | <p>快適で効率的な都市活動が展開できるよう、都心周辺や地下鉄沿線などの利便性の高い地域において、集合型の居住機能と、居住者の生活を支える多様な機能の立地を促進することで、利便性が高く魅力ある複合型の市街地を目指します。</p> |
| <p>○老朽化した公共施設については地下鉄駅周辺への移転をどんどん進めると良いと思う。</p>  | <p>主要な地下鉄駅周辺などの地域交流拠点は、地域住民にとってアクセスが容易であることから、区役所や区民センターなどの公共施設の建て替えに当たっては、地域交流拠点に集約して配置することを目指します。</p>            |

## 施策2：多様な活動を支える環境に優しい交通体系の確立

| 意見の概要   | 市の考え方   |
|---|---|
| <p>○自転車押し歩き地区について、植木の配置などを工夫し、自転車から降りなければ通れない道を作るなど物理的手段を用いてはどうか。</p> | <p>自転車の押し歩き地区は札幌駅前通の大通～南4条区間の両側歩道上となっています。<br/>押し歩き地区の運用に物理的手段を用いることは、今後の事業実施の参考とさせていただきますが、当該地区は自転車だけではなく、歩行者の通行量も多いため、歩道上の主要部分に植木や工作物などを配置・設置することで、通行の支障になることや、混雑によるそれらへの接触事故なども懸念されることです。<br/>また、押し歩き地区運用の目的として、歩道上における歩行者の安全確保のほかに、自転車マナーの向上を図ることもあるため、今後も呼び掛けを継続していくとともに、路面表示シールなどによるマナーの啓発も実施していきたいと考えています。</p> |
| <p>○歩行者と同一道では危険なので、自転車専用道路を車道と歩道の間に設けてほしい。</p>                        | <p>自転車道や自転車専用通行帯（自転車レーン）のような、いわゆる自転車専用道路を新たに設置する場合は、道路拡幅や大幅な道路構造の変更を伴うことが考えられるため、実現までに時間や費用が掛かります。<br/>そこで、法律で決められた自転車の通るべき場所（車道の左側）で、自転車が安全に通行できるよう路面表示の設置を検討するなど、まずは、既存の道路構造を大きく変えずに実施できる取組から進めていきたいと考えています。</p>  |
| <p>○地下鉄内で一人で二人分のスペースを利用する利用客が多くいるため、一人分の席を明確にした座席に変更した方が良いと思う。</p>    | <p>地下鉄車両では、一人分のスペースを明確にするため、座席にくぼみを付け、背もたれに模様を配しています。<br/>また、東豊線新型車両では、従来のものよりくぼみを深くし、一人分のスペースをより明確にしています。<br/>いただいたご意見については、今後の車両更新の際の参考とさせていただきます。</p>  |

### 施策3:自然との共生とみどり豊かな都市づくりの推進

| 意見の概要   | 市の考え方   |
|---|---|
| <p>○三角山の採石場跡地を緑化する計画については中止してほしい。採石で急な岩壁となった部分はヒトの歴史を知ることができると同時に自然の回復の様子を観察することができる、生きた自然環境学習素材である。</p> <p>(類似意見 2件)</p> | <p>三角山の採石場跡地の緑化については札幌市としてご意見のような計画を持っているものではなく、市民団体から緑化の要望・意見が提出されているとともに、これに反対するご意見もいただいたご意見と同様の内容で札幌市へ提出されています。</p> <p>このように採石跡地のこれからの在り方については相対するご意見をいただいている状況で、三角山が多くの皆さんに親しまれ活動の場となっていることを鑑みますと、この他にも様々なご意見をお持ちの方がいらっしゃると思えます。このため、採石場跡地のこれからの在り方については、まずは様々な方からご意見を聞き、その上で緑化を含めその在り方について考えていきます。</p> |

### 政策目標8 エネルギー効率の高い持続可能な街

#### 施策1:次世代エネルギーシステムの普及促進

| 意見の概要   | 市の考え方  |
|---|--|
| <p>OP75とP78の成果指標の単位は、「kwh」ではなく「kWh」が正しいと思う。(Wが大文字)</p>  | <p>いただいたご意見を踏まえ、「kwh」を「kWh」に修正いたしました。</p>  |
| <p>OP75の「次世代エネルギーシステム導入補助事業」と「分散型エネルギー導入推進事業」の活動指標がCO<sub>2</sub>削減量とされているが、成果指標の達成に直接貢献し得る事業については、P76の「水道施設への再生可能エネルギーの導入」と同様に発電量を活動指標として設定した方が、成果指標と活動指標の関係性がより明確になると考える。また、活動指標を変えない場合でも、これらの事業によって削減されるのはCO<sub>2</sub>ではなく温室効果ガスのはずなので、「～による温室効果ガス削減量」とするのが正しいと思う。</p> | <p>「次世代エネルギーシステム導入補助事業」及び「分散型エネルギー導入推進事業」につきましても、太陽光発電のほかにも、木質バイオ燃料やコジェネレーション設備などの普及促進も目指していることから、活動指標はそれぞれの事業活動を共通して表すことのできるCO<sub>2</sub>削減量を用いています。</p> <p>なお、表記については、平成26年度に策定した「札幌市温暖化対策推進計画」において温室効果ガス削減量を中期目標値として定めていますので、ご指摘のとおり「CO<sub>2</sub>削減量」ではなく、「温室効果ガス削減量」に修正します。</p> |
| <p>○札幌をアピールするには住む者にとって良くなるのが先決であるため、一般民間住宅やアパートの断熱性能向上にも力を注いでほしい。</p>   | <p>住宅で使われる暖房エネルギー量を減らすため、少しの熱で家全体が暖まる「札幌版次世代住宅」の普及を進めています。これからは一戸建住宅のほかにマンションなどにも同じような工夫ができないか、検討します。</p>  |

### 施策4:循環型社会の構築

| 意見の概要                                       | 市の考え方   |
|---|---|
| <p>○ごみ減量・リサイクル行動(成果指標)は、もっと具体的な数字を出すべき。</p> | <p>アクションプランは、まちづくり戦略ビジョンを実現するための中期実施計画という位置付けであることから、戦略ビジョンにおいて設定された成果指標を用いて進行管理を行うこととしています。</p> <p>なお、ごみの削減量については、「スリムシティさっぽろ計画」の中で、平成29年度を目標年度とし平成24年度比で廃棄ごみ量全体では3万トン減、家庭から出る生ごみ量は1万トン減など具体的な目標値を掲げて、取組を進めています。</p> |

| 意見の概要                 | 市の考え方  |
|-----------------------|--|
| ○リサイクルについてもっと広報を行うべき。 | ごみの減量・リサイクルについては、動画作成やパンフレットの配布、イベントの実施など、様々な広報を実施しています。例えば、生ごみは捨てる前に水切りすることで焼却効率が上がり、一般家庭1,500軒分の電力が生まれることや、食品ロスを減らせば、年間で食品約50kg、約30,000円の節約になることをパンフレットなどに記載し、ごみの減量を呼び掛けています。今後も、市民の皆さんに分かりやすい広報を実施していきます。 |

## 政策分野「戦略を支える都市空間」

### 政策目標9 世界都市としての魅力と活力あふれる街

#### 施策5:多様な交流を支える交流拠点 ①地域交流拠点

| 意見の概要   | 市の考え方  |
|---|--|
| ○真駒内駅周辺地域については、国や道とも連携して再開発をもっと進め、若い世代が住みやすいまちにしてほしい。<br><br>○真駒内駅前を再開発し、雇用や生活のしやすさを創出するとともに、バスと一般車の動線もリニューアルしてほしい。 | 真駒内駅周辺のまちづくりにつきましては、地域の皆さんとの意見交換を踏まえて、平成25年5月に「真駒内駅前地区まちづくり指針」を策定し、将来的な市有施設などの建て替えの際、駅前地区の土地利用を計画的に再編し、拠点機能のさらなる向上と環境に優しいまちづくりの実現を目指すこととしています。<br><br>将来的な取組としては、以下のような「駅前地区の土地利用の再編」の検討をすることとしています。<br>・多くの人が利用しやすいよう、行政・公共サービス機能を地下鉄駅に近づけて配置<br>・生活利便機能や滞留・交流空間などの充実のため、民間活力の導入の可能性を検討<br>・新たな機能配置に対応し、交通結節点機能の向上を検討 |

#### 施策7:持続可能な都市を支えるネットワーク ①交通ネットワーク

| 意見の概要  | 市の考え方  |
|--|--|
| ○日本三大夜景に選ばれたことを生かし、藻岩山へ観光客を誘導する取組が必要。そのため、藻岩山への主要なアクセス手段である市電をJR札幌駅まで延長すべきである。   | 市電の延伸については、「都心地域」、「桑園地域」、「創成川以東地域」を対象として、ループ化の効果を十分に検証し、延伸による交通面、まちづくり面、経営などに与える影響も踏まえながら、必要な調査をしていきます。  |
| ○勤務先付近の豊平区旭町2丁目の交差点（南9条菊水旭山公園通と国道453号線平岸通りのY字交差点）が、朝と夕方の交通量が非常に多く、渡っている際に、ものすごいスピードで侵入してくる車が非常に多く危険に感じるので、信号を歩車分離式にしてほしい。  | 信号機の歩車分離については、北海道公安委員会が所管となりますので、いただいたご意見を伝えていきたいと思っております。   |
| ○地下鉄東豊線について、札幌ドームまでの延伸、または、清田・北広島方面への延伸をすべきである。<br><br>○南北線真駒内駅から定山溪温泉までの地下鉄延伸、東豊線栄町駅から丘珠空港までの地下鉄延伸、同じく地下鉄東豊線栄町駅と南北線麻生駅を結ぶ。これらが無理なら、東豊線福住駅から札幌ドームまでの延伸は先行して実施してほしい。<br><br>(類似意見 1件) | 地下鉄の延伸については、将来の人口減少や高齢化の進行、建設事業費が多大であることなどから慎重に判断しなければならない状況です。清田区方面への地下鉄の延伸については、冬季オリンピック・パラリンピックの招致動向を踏まえ、沿線地域の土地利用が変わっていくことが見込まれる場合などには、今後、必要な検討を行っていきます。 |

| 意見の概要   | 市の考え方   |
|---|---|
| ○JRや地下鉄路線があるのに並行したバス路線があるのはデメリットが多く感じられるため、地下鉄駅を拠点としたバス路線のハブ化を進めることが必要と感じる。 | 本市の公共交通体系は、大量公共交通機関（地下鉄及びJR）を基軸としてバスネットワークを各駅に接続することを基本としています。交通結節点の乗継向上やバスなどの利便性向上といった各交通機関が相互に連携した公共交通ネットワークの構築に向け、取組を進めていきたいと考えています。 |

### 施策8: 持続可能な都市を支えるネットワーク ②みどり豊かな空間のネットワーク

| 意見の概要  | 市の考え方   |
|--|---|
| ○「みどり豊かな空間のネットワーク」について、緑を豊かにすることは賛成であるが、木の植える間隔などをしっかりと考慮して、植えた方がよい。     | 将来の樹木の生長を考慮した植栽計画は大切であると考えており、今後も植栽地の状況に合わせ、樹種や植栽間隔を考慮して計画していきます。                               |
| ○札幌ドームにスポーツ観戦やイベントに訪れた人たちに満足して帰ってもらうため、札幌ドーム・福住駅の間に花プランターの設置などを行うと良いと思う。 | 市民や観光客に憩いの場所を提供するため、札幌駅や大通公園周辺を中心に、北国の花や緑を使った花壇などを整備しています。いただいたご意見は、関係機関へお伝えするとともに、今後の参考にいたします。 |
| ○きたえーる通りの街路樹が老木で危険であるため、大径木の保全を早目に行ってほしい。                                | 街路樹については各区の土木センターにおいて計画的な剪定など適切な管理を行っていますが、ご意見の箇所については、現地を確認し措置を検討いたします。                        |

### 施策10: 都市基盤の維持・保全と防災力の強化

| 意見の概要   | 市の考え方  |
|---|--|
| ○「豊平区土木センター改築事業」について、新たに建て替える必要はないと思う。下水道庁舎1階の食堂を廃止するなら、そこに移動すべき。 | 豊平区土木センターには、日常の道路・河川・公園などの管理に必要な車両、機材や、災害時に備えた資材を保管しているほか、パトロールなどにおいて回収した投棄物などを一時的に保管するスペースも必要です。<br>また、災害が起こった際には、災害防止協会などの建設関係団体とも連携して対応することとなりますが、その際には作業車両が頻繁に出入りし、敷地内において土のう作成などの作業を実施することとなります。<br><br>このように災害時も見据えた円滑な対応を考慮し、現在の敷地内での建て替えをすることとしています。 |
| ○公共ます設置事業がアクションプランに掲載されていないので、掲載すべき。                              | 公共ますの設置に関しては、安全で快適な市民生活を支えるため、下水道機能の維持に寄与するものとして、「下水道施設再構築事業」に含まれています。   |

## 第3章 行財政運営の取組

### 1 行財政運営の基本的な考え方

#### 行財政運営の基本方針

| 意見の概要   | 市の考え方  |
|---|--|
| <p>○「市民感覚」とは何なのか説明してほしい。<br/>複数の解釈があり得る言葉については、具体的に説明してほしい。</p>                     | <p>「市民感覚を大切にする」とは、札幌市職員は札幌市役所という組織の人間である前に一市民であり、一人一人が自らの中に持っている市民としての感覚を研ぎ澄ませ、役所に都合の良い行政運営を進めることなく、市民の立場に立った行政運営を進めていくことを指しています。</p>  |
| <p>OP107という財政の抜本的見直しとは、どのようなことを行うのか。また、「財政規律」について、分かりやすい言葉で説明し、具体的な数値目標を掲げてほしい。</p> | <p>アクションプランの計画事業の実行性を担保するため、平成31年度までの中期財政フレームを設定し、計画事業費の財源を確保するとともに、各事業部局のマネジメント機能を強化することとしました。<br/>今後、この中期財政フレームに基づき各年度の予算を編成することにより、計画期間中の財源不足を発生させず、また、各局の主眼的な判断により弾力的な事業運営が可能となり、財源不足の解消を目指した従来の財政運営から、大きく財政運営の手法を変更することになります。</p> <p>財政規律については、①中期財政フレームに基づいた財政運営により、毎年度の収支不足を発生させないこと、②将来に過度な負担を残さないよう、市債発行額の抑制などに努め市債の適切な管理に努めること、③基金の戦略的な活用を行うこと、により堅持することが可能と考えます。具体的な数値については、「中期財政フレーム2015」に記載のとおりであり、基金の活用額や参考としての市債残高の見込額についても記載しています。</p> |

### 2 行政運営の取組

#### 行政運営の取組1 市民力の結集に向けた取組

| 意見の概要                                      | 市の考え方  |
|--|--|
| <p>○市民からの声に対し、具体的な検討または実現可能性の評価をしてほしい。</p> | <p>広聴部門に寄せられた声及びその声の趣旨を踏まえた検討結果について、市の回答または見解を年間100件以上公開しているところですが、「市民の声の見える化の更なる推進」は、一定のルールに基づきこの公開数を大幅に増やしていくものです。</p> <p>なお、寄せられる声には、例えば短期的な解決を求められるものから長期的な課題として受け止めるものまで多種多様であるため、市の回答または見解の作成に当たっては、具体的な検討結果や実現不可能な場合はその理由を明記するなど分かりやすい説明を心掛けていくところです。</p> |
| <p>○オープンデータについて、一般市民はどのように活用できるのか。</p>     | <p>「オープンデータ」の意義・目的は、「①透明性・信頼性の向上」、「②市民参加・官民協働の推進」、「③経済の活性化・行政の効率化」であり、この取組を進めることで、市民は自由に各種オープンデータを活用することが可能となります。</p>  |

## 行政運営の取組2 しごとの改革(市民サービスの向上、業務の効率化等)

| 意見の概要                                     | 市の考え方   |
|---|---|
| ○マイナンバーの独自利用は、様々な問題発生可能性があるため、望ましいとは思わない。 | 市民サービスの向上につながる独自利用の検討に当たっては、個人情報の適切な管理などの課題に十分に配慮しながら進めていきます。 |

## 行政運営の取組3 より良い市民サービスを提供するための組織力、職員力の向上

| 意見の概要  | 市の考え方  |
|--|--|
| ○役所の機構改革について、課や職名を増やすだけでは、当事者の視点を取り入れた内容のものではない。           | 機構改革については、限られた人的資源の中、市民の皆さんにとっても分かりやすい形で、多様化するニーズに応えられるよう、引き続きより良い組織体制づくりに努めていきます。   |
| ○実態を理解できない者が職員研修をしても効果は上がらないため、初級・幹部研修のカリキュラムの改善検討を強く要請する。 | 職員研修は、人材育成基本方針に基づき、職員の育成・能力開発に向けて取り組んでいるところです。今後についても、市民感覚を大切にしながら、より良いサービスを提供するための職員力の向上に向けて、各職位に求められる知識や能力について、時代の変化に応じた見直しを行い、今まで以上に効果的な研修を実施していきます。  |
| ○人材育成基本方針(P119)を見直すところがあるが、これまでの取組をどのように検証しているか。           | 平成20年3月に策定した札幌市職員人材育成基本方針に基づき、人事評価制度の充実、優れた人材を確保するための取組、再任用職員の一層の活用などを推進することにより、人事制度の充実を図ってきました。その検証については、職員に対して実施した満足度アンケートの結果とともに、各取組についての進捗状況を精査し、「実施済み」、「継続して実施」、「修正して実施」などに分類の上、アクションプラン2015の策定内容も踏まえ、既存の施策の継続又は充実を含めた新たな方向性についての検討を進めているところです。 |
| ○「ワーク・ライフ・バランス」を推進するには、通勤時間短縮が重要。希望者には職住近接をかなえるべき。         | 育児や介護などにより、一時的に職務に従事する時間が制限されている職員について、個別の事情に応じ、通勤時間に配慮した職場への配置を行っています。今後についても、引き続き個別の事情に応じた配置を行っています。   |

## 3 財政運営の取組

### 財政運営の方針

| 意見の概要  | 市の考え方   |
|--|---|
| ○財政規律を堅持しつつも未来への投資を積極的に行う「メリハリの効いた財政運営」を行うところがあるが、財政規律の堅持と積極的な投資は相反するものであり、財政規律は「堅持」ではなく「確保」又は「維持」程度の表現が妥当ではないか。 | <p>今回の計画では、未来への積極的な投資を含めた計画事業の実行性を担保するため、平成31年度までの中期財政フレームを設定し、計画事業費の財源を確保することとしました。これにより、毎年度の収支均衡に向けた目処をつけるとともに、計画事業を着実に実施することが可能になるものと考えています。併せて、将来に過度な負担を残さないよう、市債管理の考え方と、基金の活用方向性を定めるとともに、中期財政フレームに基金の活用額や、参考として市債残高の見込額を掲載しました。</p> <p>今後、この中期財政フレームに基づき各年度の予算編成を行うことにより、未来への投資を積極的に行いながら、これまでの取組により維持してきた財政規律を将来にわたって堅持することが可能になるものと考えています。</p> |

## 財政運営の取組2 歳入・歳出の改革

| 意見の概要  | 市の考え方  |
|--|--|
| <p>○札幌市行財政改革推進プランでは、人件費の見直し効果35億円を見込んでいた。アクションプランにおいても、職員力向上の取組の推進による目標貢献額を組み込むべき。</p> | <p>「職員力向上の取組」は、限られた経営資源の中で、複雑多様化した市民ニーズに的確に対応していくため、職員一人一人の意欲や能力を高め、より一層引き出し、市民サービスの向上につなげることを目的としています。</p> <p>なお、人件費の見直しの取組については今後も必要であると考えており、財政運営の取組中、「事務の執行方法の見直し」の中で、民間活力の導入がふさわしい分野での効率的な職員配置などの取組を掲げています。</p> |
| <p>○公共ます設置事業を受益者負担適正化の取組に位置付けてほしい。</p>   | <p>いただいたご意見を参考に、今後も、健全で安定した下水道事業を継続していくため、適正な受益者負担の在り方について調査・研究を進めていきたいと考えています。</p>  |

## 財政運営の取組3 財政基盤の強化

| 意見の概要   | 市の考え方  |
|---|--|
| <p>○賃貸施設を保有している公共施設（例：国際交流館やどうぎんカーリングスタジアムなど）が効率的・効果的に運営されているかどうか、市民がきちんと判断できるように、施設運営全体の収支などが分かる資料（病院や大学に準じた決算書や長期事業計画書など）を公表するべき。</p> | <p>施設がその目的に応じて効率的・効果的に運営されているかどうか各種資料で確認し、公表しておりますが、今後も公表が適当と考えられる資料については、必要に応じて公表を検討していきます。</p> |

## 財政運営の取組4 財政規律の堅持

| 意見の概要  | 市の考え方   |
|--|---|
| <p>○冬季オリンピックに向けた基金は、どの程度の規模・内容になるのか。</p>           | <p>冬季オリンピック・パラリンピックについては、現在、その概要計画を検討しているところです。基金の規模・内容については、その計画の内容や札幌市の財政状況などを踏まえながら、検討を進めます。</p>   |
| <p>○オリンピックやテロ対策など、莫大な費用が掛かってくるが、どのように予算を見積もるか。</p> | <p>テロなどの有事の際に迅速・的確に対応するため、北海道警察が中心となって、札幌市、交通事業者などによる連絡会議を組織し、連携強化を図っています。</p> <p>このような平時からの取組に加え、今後オリンピックなど大規模なイベントを開催する際には、過去の事例も踏まえ、警戒・警備などを行う国や警察と連携を強化するとともに、有事発生時の救護・避難などの安全対策を検討し、必要となる予算を計上していきます。</p> <p>また、冬季オリンピック・パラリンピックについては、現在、開催概要計画を検討しているところですが、開催に必要な運営経費や施設整備費用に関しては、当該計画の中において、過去の大会を参考に、経済や社会情勢の動向などを踏まえて積算していきたいと考えています。</p> |

| 意見の概要  | 市の考え方   |
|--|---|
| <p>○市債残高について、平成22年度をベンチマークとして考えるのではなく、26年度をベンチマークとし、さらなる縮減に取り組むべき。</p> | <p>アクションプランでは公共施設の更新需要のほか、民間投資の誘発や地域経済の活性化など、未来に向けた投資として大規模な建設事業を計上しており、これらの事業の実施においては、世代間の負担の平準化や公平性の役割を持つ市債の有効活用が不可欠な状況です。また、国や地方の財政状況から、地方交付税の振り替わりである臨時財政対策債の発行についても、今後も継続することが予想されるため、その残高は増加することが想定されます。</p> <p>前回の札幌市行財政改革推進プランの中では、今後の市債残高の増加を見据え、将来世代の負担が大きくなるよう事業の必要性を見極め、平成22年度末残高を下回るようにしてきました。今回のアクションプランでは、全会計の平成31年度末残高が前回のプランでの目標である平成22年度末残高を下回っていることから、一定の財政の健全性は保たれていると考えています。</p> <p>しかしながら、今後市債残高は増加していくことが想定されていることから、引き続き予算編成過程における事業費の精査や効率的な事業執行などにより、可能な限り市債の発行額の抑制などに努め、将来世代に過度な負担を残さないよう財政規律を堅持することを市債管理の考え方としたところです。</p> |

## 6 キッズコメント(子どもの意見)の概要とそれに対する札幌市の考え方

### 第1章 計画の基本的考え方

#### 1 計画策定の趣旨、計画の位置付け、計画期間

| 意見の概要   | 市の考え方   |
|---|---|
| <p>○5年後、20年後の札幌の将来をどうすれば良くしていけるかを考えていかなければと思う。札幌の良いところを子どもたちが自分で調べ、体験して、札幌のまちをどうしていくのが良いか考えることが重要だと思う。</p> <p>(類似意見 1件)</p> | <p>アクションプランは、単にこの5年間の計画というだけではなく、この誇れる街・札幌を子どもたちに引き継ぐための、この先10年、20年の基礎となる重要な計画ですので、札幌の将来を担う子どもたちが自ら疑問や課題を持ち、主体的に考え、解決していく姿勢を持つことは非常に重要であると考えます。</p> |
| <p>○札幌はどんどん進化していっているけど、お金の問題が出てきているようだ。</p> <p>○北海道新幹線の延伸工事に備えて、不必要な事業をしないようにしてほしい。</p>                                     | <p>アクションプランでは、将来世代に大きな負担を残さないよう配慮しながら、子育て世代を支援したり、経済を元気にして札幌市の収入を増やしたりするといった未来に向けた取組には積極的に予算を配分するなど、メリハリのある財政運営を行っていきます。</p>                        |

#### 2 計画の特徴

| 意見の概要  | 市の考え方  |
|--|--|
| <p>○50年後に50万人の人口が減少するという課題をどう解決していくのかが気になった。</p> | <p>札幌市では将来の人口の減少をゆるやかにするために、新たに「さっぽろ未来創生プラン」を作ろうとしています。このプランでは、安定した雇用を生み出すことと、結婚・出産・子育てへの支援を行うことで、安心して子どもを生み育てることができるまちを目指しています。アクションプランには、この「さっぽろ未来創生プラン」の取組に関する事業も盛り込んでいます。</p>  |
| <p>○将来まで待ってみると、人口減少・超高齢化が元に戻るかもしれない。</p>         | <p>人口減少・超高齢化の進行により、生産年齢人口の減少により経済規模が縮小したり、社会保障制度の維持が難しくなったりするなど、様々な問題が起こることが想定されます。</p> <p>また、子どもや生産年齢人口の絶対数が減少すると、将来、出生率が向上したとしても、人口が元に戻るの是非常に難しいことから、アクションプランでは今のうちから人口減少に歯止めを掛ける取組を進めていきます。</p>                                       |
| <p>○人口減少・超高齢化の対策については、他県や国外の例を参考にすると良いと思う。</p>   | <p>人口減少・超高齢化の問題は我が国全体の問題となっており、国や他の自治体においても知恵を絞って対策を考えているところです。</p> <p>札幌市でも人口動態や長期人口推計、市民の希望や札幌を取り巻く社会経済情勢などを分析した上で今後取り組むべき施策を示した「さっぽろ未来創生プラン」を策定することとしており、アクションプランではその関連事業も多く盛り込んでいますが、常に国や他の自治体、諸外国の動向や取組も参考にしながら、計画を柔軟に推進していきます。</p> |

## 4 重点課題

| 意見の概要  | 市の考え方  |
|--|--|
| <p>○「誰もが安心して暮らし生涯現役として輝き続ける街」は良い考えだと思う。「世界都市としての魅力と活力を創造し続ける街」は札幌をアピールできるポイントになる。</p> <p>○札幌の魅力は市民がつくるものだと思うので、市民に大切に思われるような街をつくってほしい。</p> <p>○人口減少問題に対し、人を引き付ける何か企画などがあれば、東京などに行かず札幌に残ってくれると思う。</p> <p>(類似意見 26件)</p> | <p>アクションプランでは、「誰もが安心して暮らし生涯現役として輝き続ける街」と「世界都市としての魅力と活力を創造し続ける街」という、2つの未来の札幌の姿を目指すこととしています。</p> <p>誰もが生涯現役として輝き続けることが、都市の魅力と活力を創造する源泉となり、また、都市の魅力と活力を創造することが、働く場の確保や税収増となって、人々の暮らしの充実につながります。</p> <p>このことによって、人々を魅了し、誰もがいつまでも住み続けたいと思う街を築き上げ、人口減少に歯止めをかけていきたいと思っておりますので、ぜひ皆さんも一緒にまちづくりに取り組んでいしましょう。</p> |
| <p>○上を目指して取り組むのは、目の前の問題をしっかりと解決してからの方が良いと思う。</p> <p>(類似意見 1件)</p>  | <p>アクションプランでは、「誰もが安心して暮らし生涯現役として輝き続ける街」と「世界都市としての魅力と活力を創造し続ける街」という2つの未来の札幌の姿を目指していく中で、まず重点的に取り組むべき4つの重点課題を設定した上で、これをけん引する5つのリーディングプロジェクトを設定して取組を進めていきます。</p>   |
| <p>○子どもから大人まで、あらゆる世代のことを考えてまちづくりをすることは大切。</p>  | <p>ご意見のとおり、アクションプランでは若者、女性、子ども、お年寄り、障がいのある方など、誰もが魅力的だと感じられる街となるように、計画期間内に重点的に取り組む4つの重点課題を設定して取組を進めていきます。</p>   |
| <p>○人口減少を防ぐには子どもを産む必要がある。</p>  | <p>札幌の未来を担う若い世代が地元で就職し、結婚し、安心して子どもを産み、育てていけるように、アクションプランでは、安心して働ける雇用の場の確保や、社会全体で子育てを支える仕組みをつくっていきます。</p>   |
| <p>○市民と市職員が協力することで、良い街へと発展していけば、観光地としてもにぎわいが生まれると思う。</p> <p>○重点課題1については、札幌市に来てくれた観光客により良く快適に泊まってもらうことを考えている点が良いと思う。</p>  | <p>観光客にもっと札幌を訪れてもらうためには、市民との何気ない交流や、お店などで提供される心地良いサービスなど、街全体で観光客をおもてなしすることが不可欠です。アクションプランにも、「おもてなし・人材育成事業」を盛り込んでおり、市民・企業・行政が一丸となって、「観光のまち札幌」をもっと魅力的な街にしていきます。</p>  |
| <p>○外国人に札幌は良い街だと言われるように街づくりをしていきたい。</p>  | <p>アクションプランでは、札幌の魅力を高めて外国人を含めたたくさんの方が集まる街にしていくために、街全体で観光客を受け入れる取組や、外国人を受け入れるためのホテルの客室グレードアップへの支援などに取り組んでいきます。</p>  |
| <p>○これから50万人もの人口が減少することに驚いた。若い人が増える取組を進めると良いと思う。</p> <p>(類似意見 1件)</p>  | <p>札幌の未来を担う若い世代が地元で就職し、安心して子どもを産み、育てていけるようにするためにはまず、安心して働ける雇用の場を確保することが必要との考えから、アクションプランでは、様々な業種にその効果が波及する裾野の広い「観光」に力を注ぐこととし、「おもてなし・観光強化プロジェクト」を掲げて取組を進めていくこととしています。</p>   |

| 意見の概要  | 市の考え方   |
|--|---|
| <p>○「女性が輝き子どもたちが健やかに育つ街」に関する案を実施することで、移住への興味がわく人がいると思う。</p>              | <p>アクションプランでは、「女性が輝き子どもたちが健やかに育つ街」を含む4つの重点課題に取り組むことで、「誰もが安心して暮らし生涯現役として輝き続ける街」と「世界都市としての魅力と活力を創造し続ける街」という2つの未来の札幌の姿を目指していきます。このことによって、人々を魅了し、誰もがいつまでも住み続けたいと思う街を築き上げます。</p>   |
| <p>○「女性が輝き、子どもたちが健やかに育つ街」に共感する。なるべく早く取り組んでほしいと思う。</p>                    | <p>女性が能力を存分に発揮できる環境を整えるとともに、子どもたちの「生きる力」を大きく伸ばすことで、世界の舞台で活躍する「さっぽろっ子」となってもらうため、「子育て世代応援プロジェクト」や「未来を担う『さっぽろっ子』育成プロジェクト」の取組に、スピード感を持って取り組んでいきます。</p>  |
| <p>○重点課題2について、子育ての女性が心配しなくて済むと思うので良いと思う。<br/><br/>(類似意見 1件)</p>          | <p>女性の割合が多い街・札幌が一層発展していくために、女性が能力を存分に発揮できる環境を整え、社会全体で子育てを支える仕組みをつくっていくことが重要です。アクションプランでは、「子育て世代応援プロジェクト」を掲げ、出産・育児の際に雇用が守られる環境づくりや、子育てに関する経済的負担を軽減する取組を進めていきます。</p>  |
| <p>○学校教育に投資してほしい。</p>  | <p>アクションプランでは、算数の授業での少人数指導の充実や、英語専門教師・外国語指導助手の配置・増員など、将来を担う創造性豊かな人材の育成にも取り組んでいきます。</p>  |
| <p>○「女性が輝き子どもたちが健やかに育つ街」の取組によって、未来の子どもたちの暮らしが発展する。</p>                   | <p>アクションプランでは、子どもたちが自ら未来を切り開いていける「さっぽろっ子」に育てていくことを期待し、「未来を担う『さっぽろっ子』育成プロジェクト」を掲げています。<br/><br/>このプロジェクトでは、子どもたちの論理的思考力を高める算数の授業での少人数指導の充実や、ウィンタースポーツを幅広く体験できる機会の提供に加え、児童養護施設などに入所している児童が大学へ進学する際の費用を支援するといった取組を進めていきます。</p> |
| <p>○まちづくりに当たって、目指すべき都市像や重点課題を掲げるだけでなく、札幌のまちを良くしていく人材を育てていくことが大事だと思う。</p> | <p>アクションプランでは、様々な分野で人材育成の取組を盛り込んでいます。特に札幌の未来を担う子どもたちについては、世界の舞台で活躍する「さっぽろっ子」へと育てていけるよう、「未来を担う『さっぽろっ子』育成プロジェクト」を掲げ、子どもたちが持つ「生きる力」を伸ばす様々な取組を進めていくこととしています。</p>  |
| <p>○女性が働きやすい環境づくりや、まだ働ける元気な高齢者の人たちへの支援も素晴らしいと思う。<br/><br/>(類似意見 1件)</p>  | <p>人口減少・超高齢社会の到来により、生産年齢人口が減少する中で、札幌がより発展していくためには、女性が持てる力を存分に発揮できるようにしていくとともに、高齢者が豊富な経験や知識を生かし、いつまでも元気で働ける環境を作っていくことが重要です。アクションプランでは、「女性が輝き子どもたちが健やかに育つ街」と「いつまでも安心して暮らせる街」の実現に重点的に取り組んでいきます。</p>                            |

| 意見の概要   | 市の考え方  |
|---|--|
| <p>○子どもが障がい者や高齢者との関わりを持って、みんなが笑顔になれる街になれば良いと思う。</p> <p>○障がいのある方をやさしく保護したり、高齢者が活動できる場所を増やすことで、豊かで活力のあふれた街になると思うので、「いつまでも安心して暮らせる街」が良いと思います。</p> <p>(類似意見 9件)</p> | <p>アクションプランでは、年齢、性別、障がいの有無などの違いがあっても、それぞれが自立し、お互いを尊重し合いながら社会に参加できる街を実現し、「いつまでも安心して暮らせる街」をつくっていきます。</p>                       |
| <p>○様々な視点からの取組がある中、特に札幌の魅力を引き上げる取組が未来への第一歩だと思う。</p> <p>○札幌には多くの魅力がある一方、課題もたくさんあることが分かった。今後札幌の様々なところへ行ってまちづくりを見てみたい。</p> <p>(類似意見 11件)</p>                       | <p>アクションプランでは、これからも多くの人々を引き付けるため、経済・文化・芸術・スポーツなど、幅広い分野で様々な交流や活動が活発に展開されている札幌の魅力を更に高めていくことで、「魅力と活力にあふれた暮らしやすい街」をつくっていきます。</p> |
| <p>○障がい者や高齢者を支援してほしい。</p> <p>○札幌を住みやすい街にするためにはお年寄りや障がいのある方を気遣うことが大事だと思う。</p> <p>○高齢者が住みやすく安全に暮らせるようにすると良いと思う。</p> <p>(類似意見 7件)</p>                              | <p>年齢、障がいの有無に関わらず、市民の皆さんがいくつになっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるまちづくりを目指していきます。</p>   |

## 5 計画の推進に当たって

| 意見の概要   | 市の考え方   |
|---|---|
| <p>○計画をしっかりと進めてほしい。</p> <p>○秋元市長の考えているまちづくりは良いと思うので、それに係る事業はしっかり全て達成してほしい。</p> <p>○この計画以外の新しいことにも取り組んでいくと良いと思う。</p> | <p>アクションプランでは、計画を着実に実現していくため、施策ごとに成果指標を、事業ごとに活動指標を設けており、毎年度、計画の進捗状況を把握していきます。これにより、計画どおり成果が上がっていない事業を見直したり、社会経済情勢の変化に対応したりするために新たな事業を実施するなど、柔軟に計画を推進していきます。</p> |
| <p>○この計画について、市民の声を聞いて考え直すと良いと思う。</p>  | <p>アクションプランは計画期間を5年としています。計画期間中にも、札幌を取り巻く社会経済情勢は刻々と変化していくため、日頃寄せられる市民の声なども踏まえて計画の見直しを行うなど、柔軟に計画を推進していきます。</p>   |

| 意見の概要  | 市の考え方   |
|--|---|
| <p>○札幌の街をもっと活性化させるために、市民が話し合う機会を設け、いくつもの大きな難題に、市民が一丸となって立ち向かうべきだと思う。</p> | <p>人口減少を始めとする様々な課題を解決しながら、この厳しい局面を乗り越えていくためには、市役所だけではなく、オール札幌で立ち向かっていかなければならないと考えており、市民、企業など様々な活動主体と協力しながら、アクションプランを推進していきます。</p>   |
| <p>○市民にとって大切なことは住民投票で決めてほしい。</p>   | <p>これまでも、行政計画を策定するときや、円山動物園へのゾウの導入、冬季オリンピック招致の是非など重要な判断を行うときには、アンケートや意見募集などにより、市民の意見を踏まえて検討してきました。</p> <p>アクションプランでは、人口減少など、札幌が直面している厳しい局面を乗り越えていくため、市民、企業、行政が力を合わせて課題解決に取り組んでいくこととしており、今後も市民の皆さんのご意見を聞きながら、計画を推進していきたいと考えています。</p> |
| <p>○プールや映画館、広い公園などの施設は、市内にバランス良く配置した方が良い。</p>                            | <p>今後、自家用車を利用しないお年寄りが増えると考えていることから、身近な場所には日用品を買うお店などがある一方で、交通の便が良い地下鉄駅やJR駅の周辺には、多くの人が利用する施設などを集める「歩いて暮らせるまちづくり」を進めていきたいと考えています。</p> <p>そこで、公共施設についても、身近な場所にあった方が良いものと駅の周辺にあった方が良いものを整理しながら、まち全体でバランスの取れた配置を考えていきます。</p>             |
| <p>○公共施設を建て替えるときには、高層化をすると良いと思う。</p>                                     | <p>今後、公共施設に使えるお金が減る中で、修理や建て替えの時期が一齐にやって来ることから、公共施設を建て替える時には、別々の施設を組み合わせる1つにする「複合化」を進め、効率的に管理でき、利用者にとっても便利な施設にしていきたいと考えています。</p> <p>例えば、白石区役所の建て替えでは、区役所、区民センター、図書館などが1つになった地上7階の複合施設を整備することとしています。</p>                              |

## 第2章 まちづくりの取組

### 1 計画体系

| 意見の概要                                    | 市の考え方  |
|--|--|
| ○環境に関することや街の整備に関する事業が少し少ないのではないか（事業数から）。 | 環境分野や都市基盤の整備に関する事業は大型事業が多く、事業数で見ると比較的少なくなる傾向がありますが、環境分野では再生可能エネルギーや分散型電源の一層の利用拡大を図るほか、次世代エネルギーとして期待される水素に着目した先駆的取組を行っていくこととしており、都市空間整備関連では都心の再開発などこれからの札幌の街を再構築する大型事業を展開するなど、札幌の魅力向上に向けて積極的に取り組んでいきます。 |

### 2 計画事業費

| 意見の概要   | 市の考え方  |
|---|--|
| ○工事をするとお金も人手も必要だから、まちづくりって難しい。<br>○札幌オリンピックの時期に造られた公共施設を建て替えていくときの工夫を知りたい。<br>(類似意見 4件) | 1970年代から1980年代に建てられた公共施設の建て替えや修理を計画的に行うため、また、建設事業者などが人手を確保したり、工事に必要な設備を整えやすくしたりするため、アクションプランでは今後5年間の建設事業費を示しました。 |

### 3 計画体系別事業

#### 政策分野「暮らし・コミュニティ」

#### 政策目標1 互いに支え合う地域福祉が息づく街

#### 施策1:市民の孤立を防ぐ支え合いの環境づくり

| 意見の概要   | 市の考え方  |
|---|--|
| ○高齢者が地域で元気に暮らしていくために、地域の人たちで高齢者を見守っていくと良いと思う。 | 市内89カ所にある福祉のまち推進センターでは、地域の人たちが高齢者の見守りをしており、その活動がより活発になるように今後も支援していきます。 |

#### 施策2:地域に密着した保健福祉サービスを提供する環境づくり

| 意見の概要  | 市の考え方  |
|--|--|
| ○高齢者が元気になれるサプリや薬を作ったり、介護・料理・話し相手などをしてくれるロボットを作ったりすると良いと思う。 | 技術はどんどん進歩していて、お年寄りだけでなくみんなが便利に過ごすことができる技術やサービスがたくさんあるので、それら健康・医療の研究や開発を支援していきます。 |
| ○社会福祉をさらに充実させてほしい。   | 地域での支え合い活動を積極的に支援するなど、皆さんが安心して暮らし続けられるまちづくりを目指していきます。                            |

| 意見の概要  | 市の考え方  |
|--|--|
| ○子どもを守り育てるために、病院を増やすと良いと思う。                        | 子どもからお年寄りまで皆さんが健康で安心して暮らしていくためには、いざというときに頼りになる病院は欠かせないものです。札幌市は他の大きな都市と比べて、人口当たりの病院数が多く、恵まれた都市と言えます。このため、札幌市では、今ある病院を上手に使う、計画的に医療提供体制づくりを進めています。   |
| ○毒を持った虫や動物を適正に処分してほしい。                             | 保健所や各区の保健センターでは、毒虫などに関する市民からの相談を受け、必要な場合には駆除方法のアドバイスを行っています。また、住宅地にマムシが出たという連絡があった場合は、業者に依頼して駆除をしています。   |
| ○認知症などの病気が重病になる前に定期的に家に訪問するなどの予防をすることが必要だと思う。      | 認知症になっても本人やその家族が地域で安心して暮らしていけるように、市民に認知症についての正しい知識を広め、認知症の方やその家族には、専門職などを通じて、情報提供や適切な支援が行えるよう努めていきます。  |
| ○店は禁煙にし、市の条例でたばこを吸うのを禁止にすると良いと思う。<br><br>(類似意見 2件) | 禁煙などに取り組むお店などを登録して、札幌市のホームページで公表しています。今後も、禁煙に取り組むお店を増やしていくよう努めていきます。また、たばこが健康に与える影響について、引き続き、市民に広く周知していきます。  |
| ○誰もが暮らしやすい社会にするため、ノーマライゼーションを目指してほしい。              | 平成24年に策定した「さっぽろ障がい者プラン」では、「障がいのある人もない人も、市民誰もが互いに人格と個性を尊重し支え合う共生社会の実現」を基本理念とし、障がいのある方が地域で安心して生活していくことができるよう、障がい者施策の充実を掲げ、取組を進めています。<br><br>ノーマライゼーション社会の実現は、ご意見のとおり、市民一人一人が身近なところで、障がいのある方や高齢の方などのために「できることをする」ことが大切です。今後も札幌市の福祉へのご協力をお願いします。 |

■介護サービスの充実や介護人材の育成

| 意見の概要  | 市の考え方  |
|--|--|
| ○高齢者や障がい者が利用しやすいものをつくったり、介護施設の設置やヘルパー派遣を行ったりすることが、札幌のまちづくりに役立つと思う。<br><br>○介護施設を増やしたり、ヘルパーを増やすためのPRをしたりすることなどにより、今よりも社会保障制度を充実させたら良いと思う。<br><br>(類似意見 12件) | 介護施設の整備や介護事業者などに対する介護人材確保の支援などに取り組み、地域において必要なサービスを提供し、市民の皆さんがいくつになっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるまちづくりを目指していきます。   |
| ○若者にヘルパーという仕事に興味を持ってもらうため、ヘルパーの給料を少しでも上げたり、ポスター掲示などによりPRしたりすると良いと思う。   | ヘルパーの魅力伝えるためのシンポジウムや研修の開催、ヘルパーの仕事を分かりやすく伝えるDVDの作成などを行い、専門学校や学生などに対してPRしています。ポスターの掲示は今後の検討課題の一つとして考えていきたいと思っています。なお、ヘルパーの給料を上げるためには、国が決めている報酬の単価を上げる必要があり、その点については国へ伝えていきたいと思っています。 |

| 意見の概要   | 市の考え方  |
|---|--|
| ○高齢社会の中で、介護に関わる事業所の質の向上や、介護に携わる人材を確保していくべきである。    | 介護保険サービスを行なう事業者への指導による働きやすい職場づくりの促進や、障がい福祉事業所の管理者・初任者に対する研修の実施などを通して、事業所の質の確保・向上を図るとともに、高齢者・障がい者の暮らしを支える人材の確保に努めていきます。 |
| ○高齢者に係る介護サービスを安くすると良いと思う。                         | 介護保険制度は、被保険者の方々に保険料を負担していただきながら運営をする社会保険制度であり、給付と負担のバランスに留意して運営していくとともに、介護サービスを必要とされる方が、サービスを利用しやすくなるよう検討していきます。       |
| ○高齢者や障がい者が働きやすくなるよう、頭で思っていることや声により動かせる車いすが必要だと思う。 | そんな車いすがあると本当に便利だと思います。札幌市では、健康・福祉関連の製品開発を補助し、そうした新商品の開発を支援するほか、企業・大学が行う研究を応援しています。                                     |

#### ■妊娠・出産に関する支援

| 意見の概要                                       | 市の考え方   |
|---|---|
| ○妊婦の方のお金の支援をすれば良いと思う。<br><br>(類似意見 2件)      | 妊娠中に病院へ行って、赤ちゃんがすくすく育っていることを確認してもらうために必要な検査のお金を少なくしています。なお、健康保険の被保険者及びその被扶養者が出産された場合は、出産育児一時金を受け取ることができます。  |
| ○若者が減っていることの対策として、病院での安心・安全な出産のための環境づくりが必要。 | 妊婦さんが安心・安全に赤ちゃんを産むためには、妊娠中に病院に行き、赤ちゃんがすくすく育っているかを確認してもらうことが大切です。妊婦さん全員が、きちんと病院に行ってもらえるように、これからも妊婦さんに呼び掛けていきたいと思っています。<br><br>また、赤ちゃんを産むことに不安のある妊婦さんに少しでも安心してもらえるよう、保健センターにいる保健師が相談を受けつけているほか、平成27年度からは、初めて妊娠した妊婦さんの全家庭へ保健師が訪問に行くなどの取組を行っています。 |

#### ■高齢者の医療

| 意見の概要  | 市の考え方   |
|--|---|
| ○高額な薬に対する費用を市が負担してほしい。<br><br>○高齢者に掛かる医療費を安くすると良いと思う。<br><br>○高齢者が安心して健康で暮らしていくため、病院を増やしたり、薬の値段を安くしたりすると良い。<br><br>(類似意見 1件) | 薬の価格を負担することはできませんが、75歳以上の高齢者の医療を支える仕組みとして、国において、現役並み所得者を除く方は医療費の自己負担が1割となる後期高齢者医療制度を設けています。   |
| ○一人暮らしの高齢者に医師を派遣し、自覚症状のない病気の早期発見をすると良い。  | 一人暮らしのお年寄りの方でも住み慣れたお家で療養できるようにするため、患者さんのお家に訪問するお医者さんを増やす取組を行っています。例えば、お医者さんの負担を軽くするため、お医者さん自身が病気のときなどに他のお医者さんと交代して診察できるような体制づくりを行っています。また、病気を早く見つけることについては、地域での健診などを活用してもらうよう、皆さんに呼び掛けています。 |

### 施策3:災害に備えた地域防災体制づくり

| 意見の概要   | 市の考え方  |
|---|--|
| ○耳が不自由な方が災害にあっても、すぐ異変に気付くような仕組みが必要。                         | 耳が不自由な方が災害時に安心して避難できるよう、耳の不自由な方が利用する社会福祉施設等には、点滅する誘導灯を設置するようお願いしています。<br>また、国では、耳が不自由な方も火災が起きたときにすぐ気付くことができるよう、光で火災を知らせる光警報装置の導入について検討しているところです。   |
| ○大雨などの災害時に備えて、避難場所をつくるだけでなく、避難勧告を素早く伝える体制(手段・方策)を整えると良いと思う。 | 大雨などの災害が発生して、避難する必要があるときは、携帯電話に緊急速報メールを送信してお伝えすると同時に、TV・ラジオなどを通じてお知らせする仕組みになっています。<br>また、今後は、スマートフォンやタブレットなどを利用して、避難場所に誘導することなどのできるアプリケーションの整備を進めていくとともに、市民の皆さんに素早く必要な情報をお伝えできるような方法を検討していきます。 |
| ○災害時においても点灯する信号を導入すれば良いと思う。                                 | 災害が発生したときでも、市民の皆さんが安全に道路を通行できるように、いただいたご意見も参考にしながら、警察などと協力して、効果的な方法を検討していきたいと思えます。   |
| ○防災活動を通して市民の防災意識を高めるような取組が必要。                               | 防災意識を高めるためには、自らの命を守る「自助」と自分の周りの方々と共に助け合う「共助」の取組を皆さんの住んでいる地域において進めてもらうことが大切だと考えており、出前講座やパンフレットなどで市民の皆さんにご紹介しています。<br>今後も、皆さんが参加しやすい取組などを検討していくと同時に、参考となる事例の紹介など、地域での取組が活発になるような方法を検討していきます。     |

### 政策目標2 誰もが生涯現役で活躍できる街

#### 施策1:地域で共生する環境づくり

| 意見の概要   | 市の考え方   |
|---|---|
| ○小さな子やお年寄りでも楽しく遊べる所を作ると良い。                        | 今後札幌市では、小学校やまちづくりセンターと複合化した新型児童会館の整備を進め、いろいろな年齢の人たちが一緒に楽しく過ごせるイベントを行うなど、多世代交流を促進していきます。   |
| ○障がいのある方がヘルパーを利用する費用を無料化してほしい。<br><br>(類似意見 1件)   | 障害福祉サービスについては、制度を安定的に運用するため、利用者にも一部の費用負担をお願いしているところですが、その負担が過大なものにならないよう、一月当たりの負担上限額を設定しているほか、平成22年4月からは、低所得者に係る負担を無料とするなど、所得に配慮した負担の仕組みとしております。  |
| ○みんなが障がいのある方への気遣いができるように、マタニティマークのようなものを作ると良いと思う。 | 周りの人が障がいのある方に対して気遣いをすることはとても大切なことです。障がいのある方に分かりやすいものを着けてもらうことも一つの方法だと思えますが、まずは障がいのある方がどのような気遣いを求めているのか、皆さんに考えていただくことが、障がいのある方にとって住みやすい街になるものと考えています。そのため、障がいに関する普及啓発用冊子等を活用した啓発・広報など、障がい者理解の促進を図っていきます。 |

| 意見の概要  | 市の考え方   |
|--|---|
| <p>○お年寄りの生活費を札幌市が1～3割負担すれば良いと思う。</p> <p>(類似意見 3件)</p>  | <p>高齢者世帯の主な収入である年金については、高齢者の生活を働いている世代で支えようという考えで国により運営されている制度となっています。札幌市が生活費の負担をすることはできませんが、高齢の方が安心して暮らせるような環境の整備を行っていきます。</p> |
| <p>○募金を原資にして年金を増やす。</p> <p>○年金の額を増やしてほしい。</p> <p>(類似意見 5件)</p>                                       | <p>年金の制度は国が所管しているため、札幌市単独で年金を増やすことはできませんが、高齢の方が安心して暮らせるような環境の整備を行っていきます。</p>  |
| <p>○憩いの家の補助金を増やしてほしい。</p> <p>(類似意見 6件)</p>   | <p>高齢者の教養向上、レクリエーションなどの場を提供するため、おとしより憩いの家の運営費の一部を補助しています。高齢者が生涯現役で活躍できるよう、より積極的な社会参加の支援に向け、検討を行っていきます。</p>                      |
| <p>○憩いの家をできるだけ多く身近な場所につくってほしい。</p> <p>○空き家などを憩いの家として活用できないか。</p> <p>(類似意見 7件)</p>                    | <p>おとしより憩いの家は、市内全区62カ所で運営されており、高齢者の身近な活動の場となっています。いただいた意見については、今後の事業検討の参考とさせていただきます。</p>  |
| <p>○障がいのある方などから困っていることについての話を聞き、その人たちがより良い生活を送れるよう、市が支援をすれば良いと思う。</p> <p>(類似意見 1件)</p>               | <p>障がいのある方のための取組を決めるときには、障がいのある方やその家族などからの意見を聞き、障がいのある方がより暮らしやすくなるようにしていきます。</p>  |
| <p>○高齢者が安心して暮らせるまちにしたいと思います。</p> <p>○障がいのある方へのサービスを拡大し、「いつまでも安心して暮らせる街」にした方が良い。</p> <p>(類似意見 4件)</p> | <p>障がいの有無に関わらず、市民の皆さんがいくつになっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるまちづくりを目指していきます。</p>   |

#### ■高齢者・障がい者の社会参加支援

| 意見の概要   | 市の考え方   |
|---|---|
| <p>○障がいのある方のために温泉を造ったり、交流会を開催すると良いと思う。</p> <p>(類似意見 4件)</p> | <p>毎年12月3日から9日までの障害者週間に合わせて、障がいのある方についての理解を深めるための行事を行うほか、文化・芸術・スポーツに関する様々な行事を通じて、障がいのある方とない方との交流を進めていきます。</p>   |
| <p>○障がい者でも、個々に応じた分野の職に就くことができれば良い。</p> <p>(類似意見 1件)</p>     | <p>働きたいという希望を持っている障がいのある方からの相談に応じる「就業・生活相談支援事業所」を市内4カ所に設置し、障がいのある方が働くことや安心して働き続けることができるよう必要な支援を行っております。今後も、障がいのある方が働くことを支援する取組の充実に努めていきたいと考えています。</p> |

| 意見の概要   | 市の考え方   |
|---|---|
| <p>○お年寄り専用のバリアフリーを取り入れたカフェを出せば、お年寄りが住みやすいまちになるのではないか。</p>   | <p>体の不自由なお年寄りの方でも気軽に集まって、お茶やコーヒーを飲みながらおしゃべりをしたり、いろいろな活動をしたることができる居場所をつくることは大切だと考えています。このような居場所が身近な地域にある、お年寄りにとって住みやすいまちになるよう取り組んでいきます。</p>  |
| <p>○高齢者が適度に運動できるよう、飼い主がおらず動物管理センターに収容された犬をレンタルすれば良い。</p> <p>(類似意見 2件)</p>   | <p>譲渡することが難しい犬は、その理由として攻撃性があつたり、病気を持っていたりするなど、管理が難しい犬となっているため、高齢者がお世話をするのは難しいと考えられます。しかし、いただいたご意見は、とても素晴らしいものであり、収容数の多い猫について実現が可能かどうか、議論していきたいと思えます。</p>  |
| <p>○まちづくりにお年寄りが参加すれば、札幌市は活気づくと思う。</p> <p>○高齢者が体を動かしたり、趣味を楽しめたりする場をつくれば良い。</p> <p>○高齢者が知っている知識や遊びを若い人に教えるなど、活躍の場があると良い。</p> <p>○お年寄り向けのカフェ、広場を作ったり、老人ホームに家族が泊まれる部屋を作ったりすると良いと思う。</p> <p>(類似意見 21件)</p> | <p>高齢者が地域で安心して生活を送ることができる環境づくりのため、高齢者の居場所づくりなどを自主的に行う高齢者団体に対し支援を行うとともに、特別養護老人ホームの整備事業者に対して、入居者同士・入居者と地域住民などが交流できるスペースを確保することを指導しています。</p> <p>また、今後は、小学校、児童会館、まちづくりセンターの複合化を進め、いろんな年齢の方たちが一緒に楽しく過ごせるイベントを行うなど、多世代による交流を促進していきます。</p> <p>高齢者が生涯現役で活躍できる社会の実現に向け、社会参加支援の具体策について検討していきます。</p> |
| <p>○お年寄りの生きがいがいづくりのため、市民農園を作ると良い。</p> <p>(類似意見 6件)</p>  | <p>野菜の苗を植えて毎日お世話をすることは、お年寄りの生きがいがいづくりにつながると思います。札幌市では、市民農園を作る農家の人たちを応援しており、今年も、新しい市民農園が1カ所作られています。これからも、市民農園を増やしていきたいと考えています。</p>   |

■障がい者の移動支援

| 意見の概要  | 市の考え方   |
|--|---|
| <p>○移動支援事業の対象者拡大は最優先で取り組んだ方が良い。</p> <p>○「障がいのある方に対する移動サービス」の取組を進めれば、障がいのある方の外出する機会が増えると思う。</p> <p>(類似意見 27件)</p> | <p>障がいのある方にとって、移動の自由が確保されることはとても大切であり、計画では、より多くの方が外出しやすくなるよう、移動支援サービスの対象者を拡大することとしています。今後とも、障がいのある方の自立した地域生活を支えるため、移動支援サービスの充実に取り組んでいきます。</p> |
| <p>○移動支援事業の対象者拡大については、障がい者のニーズ調査は行ったのか。</p>  | <p>移動支援サービスについては、アンケート調査や意見交換などの場で対象者拡大を望む声が多く寄せられていたことから、より多くの方が外出しやすくなるよう、対象者の拡大に取り組むこととしたものです。</p>   |

| 意見の概要   | 市の考え方   |
|---|---|
| <p>○移動支援事業の対象者拡大について、ヘルパーの人員を増やすために、介護などの学校に行っている人にボランティアをしてもらうなど、何らかの取組を行うべき。</p> <p>○移動支援サービスの拡充はとても良い取組だと思うが、そのためのヘルパーをどのように増やしていくのか。</p> <p>(類似意見 3件)</p> | <p>ヘルパーとして従事するためには、ヘルパー養成研修の受講が必要となるなど、障がいのある方が安心して支援を受けられるよう、一定の要件が定められており、ボランティアの活用が難しい状況にあります。</p> <p>なお、こうした福祉施設での従事者を増やすため、就職を希望する人に福祉施設を紹介する「合同企業説明会」を開催し、人材の確保に努めているところです。</p>   |
| <p>○お年寄りや障がいのある方が移動しやすいように、車いすの貸し出しなどをすると良いと思う。</p> <p>○障がいのある方が一人でも外出できるような性能の良い車いすや松葉杖などを持たせてあげれば良い。</p> <p>(類似意見 5件)</p>                                   | <p>身体の不自由な方への福祉サービスの一つとして、車いすなどの補装具を支給する制度があります。その方の状況に応じ必要性が認められれば、松葉杖や電動車いすも対象となる場合があります。</p> <p>障がいのある方が外出する際には、例えば車いすでは越えられない段差の解消や、冬季の除雪対策及び車いすの利用に対する周囲の理解など様々な課題があります。</p> <p>車いすや松葉杖の支給の問題も含め、今後も身体が不自由な方の外出の機会を増やせるように、これからも皆さんと共に考えていきます。</p> |
| <p>○手助けがなければ外出できない障がいのある方に対して、元気な高齢者などにサポートしてもらえば良いと思う。</p>   | <p>地域の中には、高齢者を始めとして、自分の時間を誰かのために役立てたいと考えている熱意のある方々が多数おり、こうした方々が障がいのある方の暮らしを気軽にサポートできるよう、有償ボランティアの仕組みづくりにも取り組んでいます。</p> <p>こうした取組を通じて、地域住民がお互いに支え合うことのできるまちづくりを進めていきたいと考えています。</p>   |

#### ■ボランティア活動

| 意見の概要   | 市の考え方   |
|---|---|
| <p>○もっとボランティア活動を促進すると良い。</p> <p>○子どもからお年寄りまで安心して暮らせる街にするため、お年寄りでもできるボランティアがあると良いと思う。</p> <p>○札幌市は雪がとても多いので、高齢者を支えるためのボランティアを増やすと良いと思う。</p> <p>(類似意見 7件)</p> | <p>ボランティア活動センターでは、市民の皆さんが安心して暮らせるように、身近な地域で活動できるボランティアの紹介や講座を行っています。福祉施設の入居者の話し相手や地域の子どもの昔遊びなど、高齢者が担い手となる活動も数多くあります。これからも市民の皆さんにボランティアをしてもらえるよう努めていきます。</p> |

#### ■アイヌ文化振興

| 意見の概要   | 市の考え方   |
|---|---|
| <p>○アイヌのデザインを取り入れたお店などが増えれば、たくさんの人にアイヌ文化を知ってもらえると思う。</p> <p>(類似意見 1件)</p> | <p>多くの方にアイヌ文化を身近に感じてもらうことにより、アイヌ文化への関心が高まっていくと考えます。今後も、アイヌ文化体験講座やアイヌ文化交流センターでのイベントの開催、さらには札幌駅交流拠点におけるアイヌ文化を感じられる空間の整備などを通して、市民のアイヌ文化に対する理解がさらに深まるよう努めていきます。</p> |

| 意見の概要                                     | 市の考え方  |
|---|--|
| <p>○アイヌの方々に対する差別をなくす活動や交流イベントを行ってほしい。</p> | <p>市民にアイヌ民族についてより理解を深めてもらうため、南区小金湯のアイヌ文化交流センター（札幌ピリカコタン）や札幌駅前通地下歩行空間などにおいて、古式舞踊の披露やアイヌ文化や歴史を紹介するパネル展などを行う交流イベントを開催しています。<br/>今後も多くの市民に参加してもらえるよう、イベント内容の充実や広報に努めていきます。</p> |

## 施策2：子ども・若者を社会全体で育成・支援する環境づくり

| 意見の概要  | 市の考え方  |
|--|--|
| <p>○保育所では給食をやめてお弁当にすれば良いと思う。</p>   | <p>保育所では、給食の提供は原則義務となっています。保育所で一日の生活時間の大半を過ごす子どもたちにとって、保育所での給食は発育や発達、さらに食育の観点からも非常に重要なものです。また、毎日お弁当を用意することは子育て世帯にとっても大きな負担となることから、子育て支援の一環としての役割もあります。</p>                       |
| <p>○使わなくなったベビー用品を市に寄付してもらい、必要とする人に貸し出すと良いと思う。<br/><br/>(類似意見 5件)</p>                   | <p>使わなくなった子ども服やおもちゃ、ベビーカーなどを必要な人に提供することについては、仕事としてリサイクルショップなどを経営している人がいるほか、バザーやフリーマーケットなど、不要になった人から必要な人へと渡る仕組みが整っています。</p>   |
| <p>○子育て世帯が外出しやすいように、ベビーカーの貸し出しを行うと良い。<br/><br/>(類似意見 2件)</p>                           | <p>ベビーカーの貸し出しについては、仕事としてレンタルショップなどを経営している人がいるほか、各商業施設では、お客さんへの貸し出しを独自のサービスとして実施しているところがあります。</p>   |
| <p>○コンビニに子育てに必要な商品を置くと良いと思う。<br/><br/>○子育て専門の店で、安くて便利な商品を売ると良い。<br/><br/>(類似意見 3件)</p> | <p>コンビニの各店舗や経営者は、売れ行きや販売スペースを考慮し、自己責任で品ぞろえを決めていることと思います。子どもが増え、誰もが子育てを応援する社会になれば、お店でも子育てグッズを置いてくれるようになると思います。<br/><br/>札幌市としては、そうした社会が実現するよう、様々な施策を通じて少子化対策や子育て支援に取り組んでいきます。</p> |
| <p>○プルタブなどを集めて車いすと交換すると良い。<br/><br/>(類似意見 2件)</p>                                      | <p>札幌市内の全ての児童会館とミニ児童会館で、車いす購入のためにプルタブの回収を実施しています。今後の取組について、いただいたご意見は参考にさせていただきます。</p>  |
| <p>○北海道だけの遊びなどをつくれれば、子どもに想像力をつけられると思う。</p>   | <p>現在、プレーパーク推進事業という取組を行っており、スノーソーを使って雪で家を作ったり、雪と絵の具を使って遊んだりするなど、雪国の特色を生かした遊びを行っています。さらに皆さんの遊びが発展していくよう、事業を継続していきます。</p>  |
| <p>○初めて子育てする家庭向けに離乳食の作り方などのパンフレットを作成すると良いと思う。</p>                                      | <p>保健センターで行っている健診や離乳食教室などで、子どもが離乳食を食べるように促す方法やレシピの資料などをお配りしています。</p>   |

| 意見の概要  | 市の考え方  |
|--|--|
| ○公園で子ども用自転車の貸し出しをすると良い。                          | 農試公園では、交通ルールを学びながら自転車の練習をするコーナーを設けており、子ども用自転車を無料で貸し出しています。<br>また、モエシ沼公園でも、子ども用自転車や乳幼児用バスケット付き自転車を有料で貸し出していますので、そちらをご利用ください。  |
| ○「ミニさっぽろ」のような職業体験イベントを増やすとともに、対象学年を広げると良いと思う。    | ミニさっぽろは、実行委員会で会場の広さや安全性、お仕事の体験数を考慮して参加者数を決定しており、今年度は1日2,000人で実施しています。<br>今年度はチケットが完売し、参加を希望する全ての小学校3・4年生が参加できる状況となっていないことから、ミニさっぽろに出展している団体・企業などに協力をお願いしながら、少しでも多くの小学校3・4年生が参加できるよう実行委員会の一員として努めていきます。<br><br>また、札幌市が主催する職業体験イベントを増やすことは難しいですが、近年札幌市内で民間事業者が実施する子どもの職業体験イベントが増えてきていることから、札幌市ではこれらの取組を支援していきます。 |
| ○空き家など、まだ使える施設を使って、保育園や児童会館などを造れば、税金を削減できて良いと思う。 | 認可保育所や児童会館の安全基準（耐火性や避難経路）などは、通常の建物よりも厳しいことから、どの建物でも保育所・児童会館にできるわけではありませんが、すでにある建物を借りてその中に認可保育所を作っているところもあります。  |
| ○札幌市に住む少年少女が非行をしないように「非行防止キャンペーン」などをより行うと良いと思う。  | 毎年7月を「心豊かな青少年をはぐくむ札幌市民運動強調月間」とし、青少年の健全育成を社会全体の責務として捉え、関係機関・団体、地域住民などが相互に協力しながら、地域における子どもの見守りを始め、様々な取組を進めています。  |

■子ども医療費の軽減や予防接種など

| 意見の概要  | 市の考え方  |
|--|--|
| ○子どもの医療費を無料にすれば良いと思う。<br><br>○2人目の子どもは、病院代を半額にすれば、より子どもが増えると思う。<br><br>○子育てしやすくするには、子どもの病院代を安くすれば良いと思う。<br><br>(類似意見 5件) | 子どもが元気で丈夫に育つことを願って、子どもに掛かる医療費を助成しています。限られた財源の中でも、高い効果が発揮されるよう、様々な観点から検討を加え、アクションプランにおいて、平成30年度には、助成の対象を小学生の中でも比較的医療費が高い傾向にある小学1年生の通院まで拡大することを盛り込んでいます。これからも子育て環境の充実に取り組んでいきます。   |
| ○子育てをしやすくするため、夜遅くまで対応できる病院を増やすと良いと思う。  | 病院の夜間対応を行うと、お医者さんや看護師さんが、夜遅くまで働き続けることとなり、疲れ果ててしまい、医療事故などが増えるかもしれません。<br>そこで、札幌市では、「救急安心センターさっぽろ」をつくり、24時間・365日、急な病気やけがをしたときの電話による相談を受け付けています。<br><br>こちらでは、すぐに病院に行った方が良い場合は受診できる病院を案内したり、病院に行かなくても良い場合は応急処置の方法などを教えたりしていますので、安心して子育てができる手助けとなると考えています。 |

| 意見の概要   | 市の考え方  |
|---|--|
| <p>○子育てをしやすくするため、子どもが予防接種を受けやすくすると良いと思う。</p> <p>(類似意見 1件)</p> | <p>子どもを感染症から守るために、BCGワクチンや水ぼうそうワクチンなどの予防接種を無料で受けられるようにしています。</p> |

#### ■アレルギー表示

| 意見の概要   | 市の考え方   |
|---|---|
| <p>○子どもに安心して食べさせられるように、レストランなどでアレルギー表示をすると良い。</p> <p>○レストラン、コンビニ、スーパーなどで離乳食を置き、アレルギー表示をすると良い。</p> <p>○子どもメニューのアレルギー表示を大きくし、また、安い離乳食が買えるようにしてほしい。</p> <p>(類似意見 3件)</p> | <p>アレルギーがある方も安心して食事ができるようメニューにアレルギー表示をしているお店の紹介を行っています。さらに、今後は、アレルギーになりやすい食材を分かりやすく表した絵文字を作り、メニューにアレルギー表示をするお店が増えるよう取り組んでいく予定です。</p> <p>また、お店ではいろいろな種類の離乳食が売られていますが、大人の食事から取り分けたり、作り置きをして工夫することで、離乳食に掛かるお金を少なくできます。保健センターでは、このような工夫をお伝えして、離乳食作りのサポートをしています。</p> |

#### ■子育て世帯の経済的負担軽減

| 意見の概要  | 市の考え方   |
|--|---|
| <p>○第2子以降保育料無料化事業を進めてほしい。</p> <p>○子育て世帯を支援するため、保育料の負担を軽減することが必要だと思う。</p> <p>(類似意見 34件)</p>   | <p>アクションプランでは、子育て世代が安心して子どもを育てていけるようにするため、子育てに関する経済的負担を軽減していくことが必要と考え、最も保育料が高い3歳未満の第2子を対象に保育料を無料化する事業を行うこととしています。なお、第3子についてはすでに保育料は無料となっています。</p> |
| <p>○子育て家庭の経済的な負担を軽減するため、半年～1年分のおむつを第一子が生まれた家庭に提供すると良いと思う。</p> <p>○札幌に引っ越してきた、子どもや赤ちゃんのいる世帯に子育て商品などを渡すと良いと思う。</p> <p>○子育てに掛かる負担を少しでも減らすことが大事だと思う。</p> <p>(類似意見 19件)</p> | <p>用途が限定されたり好みが分かれたりする「特定のもの」(おむつなど)ではなく、子育て世帯に対する児童手当や保育所保育料の軽減、幼稚園保育料の補助などの「お金」の給付や軽減、商品券の交付などさまざまな取組を通じ、子育て世帯の家計全体を支援しています。</p>                |
| <p>○保育料は第一子から無料化してほしい。</p> <p>○保育園の第2子無料化について、年齢制限を5歳まで緩和した方が良いと思う。</p> <p>○保育料を3歳になるまで無料とあるが、子育てへの負担を軽くするためには、これを就学までに広げればさらに効果的だと思う。</p> <p>(類似意見 5件)</p>            | <p>アクションプランの第2子以降の3歳未満児の保育料無料化事業については、札幌市の財源状況を見ながら、実施が可能な範囲で設定したものです。</p>  |

| 意見の概要  | 市の考え方   |
|--|---|
| ○幼稚園と保育園の費用負担の差をなくしてほしい。<br>(類似意見 1件)                            | 保育料については、子育て支援新制度に移行した幼稚園も保育園も、所得に応じて決定しており大きな差が出ないようにしています。なお、保育料だけでいえば、幼稚園は保育園より安くなっています。<br>それ以外の費用については、アクションプランにおいて、所得が低い世帯の子どもが適切な教育・保育を受けられるようにするため、保育園や新制度に移行した幼稚園などを利用する生活保護受給世帯を対象に、給食費や教材費などの一部を補助する事業を行うこととしています。 |
| ○第二子以降保育料無料化について、第一子について不正に無料化を受けようとする人がいるかもしれないので厳しく取り締まった方が良い。 | 保育料を算定するときは、保育所に通園する家庭の世帯状況を住民基本台帳や実態調査でしっかり確認し、不正受給が行われないようにしています。   |
| ○経済的に塾に通えない家庭のため、ボランティア型の勉強塾を行うと良いと思う。                           | 生活保護受給世帯及び生活困窮世帯の中学生を対象に、大学生ボランティアを活用した無料の学習支援事業を実施しています。今後も、いわゆる「貧困の連鎖」を防止するため、多くの経済的な困難を抱えた世帯の子どもたちが参加できるよう事業を実施していきたいと考えています。  |

#### ■子どもの居場所づくり

| 意見の概要  | 市の考え方   |
|--|---|
| ○ひとり親家庭などは子育てするにも家計が大変なので、安心して子どもが過ごせる場所を提供していくべきだと思う。                   | 小学校と複合化した児童会館を造るなど、すべての子どもが安心して楽しく過ごせる居場所づくりを進めていきます。   |
| ○児童会館や集会所などで子どもを預けられれば母親が仕事をしやすくなると思う。                                   | 児童会館には、ご飯を作る部屋やお昼寝ができる部屋がないので、保育園のように小学校入学前の小さな子どもを預かることはできませんが、小学1年生～6年生を放課後児童クラブで受け入れることで、お父さんお母さんが安心して働けるお手伝いをしています。   |
| ○児童会館があると、友達が増え、親が働いている家庭も困らないなどのメリットがあるので、増やしてほしい。<br>(類似意見 1件)         | これまで、104館の児童会館と、94館のミニ児童会館を造ってきました。今後はこれらを、小学校と複合化した児童会館に再整備するなど、全ての子どもたちが、もっと遊びに来やすい児童会館になるよう工夫していきます。   |
| ○あまり使われていない施設を活用して、子どもたちが遊べる施設を造ると良い。<br>(類似意見 1件)                       | 平成24年3月に閉校した南区の真駒内緑小学校の校舎の一部とグラウンドを利用して、平成27年4月に「子どもの体験活動の場（Coミドリ）」をオープンしました。Coミドリでは、外遊びや昔遊び、お絵かきなど、子どもたちがのびのびと自由にやりたいことに取り組むことができます。今後は、子どもが様々な体験ができる活動をさらに増やしていきたいと考えていますので、皆さんCoミドリに遊びに来てください。 |
| ○冬でも遊べる広い屋内施設があると、子育ての面からも有効なのではないか。<br>○子どもが遊べる場所を増やしてほしい。<br>(類似意見 6件) | 全ての子どもたちが自由に遊べる施設として、児童会館を運営しており、今後も、もっと魅力的な遊び場となるように工夫していきます。また、今後は小学校やまちづくりセンターと複合化した新型児童会館の整備も進め、皆さんが便利に楽しく施設を利用できるよう取り組んでいきます。  |

| 意見の概要                     | 市の考え方   |
|---------------------------|---|
| ○児童会館に物を自由に持ち込めるようにしてほしい。 | 児童会館には、いつでも自由に個人のおもちゃやゲームなどを持ってくることはできませんが、子ども運営委員会が中心となって、おもちゃなどを持ってきて良い日を決めたり、持ってくる際のルールを作ったりしている児童会館もありますので、ぜひ、みんなで相談してみてください。 |

■子育て支援・ボランティア

| 意見の概要   | 市の考え方   |
|---|---|
| ○ボランティアの人がひとり親の子どものために算数などを教えてくれると良い。   | ひとり親家庭の児童（小学校3年生～中学校3年生）を対象として、大学生などのボランティアによる学習支援を行う「ひとり親家庭学習支援ボランティア事業」を実施しています。今後も継続して事業に取り組んでいきます。  |
| ○今後、札幌市では、子育てに困らないようにしてほしい。<br>○育児のしやすい環境をつくって、にぎやかで活気のある街になってほしい。<br>(類似意見 4件)                                 | 子どもや子育てに関する総合的な計画を立て、その計画に沿って子育てしやすいまちづくりを進めています。今後、保育所などの定員を増やしたり、子育て情報専門のホームページを開発して分かりやすく情報発信したりするなど、様々な取組を行っていきます。  |
| ○子どもだけでなく、お母さん同士の友達を作れる場所があると良い。<br>○初めて子どもを産んだ人で集まって、意見交換をする場を設けると良いと思う。<br>○子育てに悩む親が気軽に集まって、相談できる場所があると良いと思う。 | 子育て家庭が孤立しないよう、また子育てに対する不安や負担を軽くするため、身近な場所で自由に集まり、交流できる子育てサロンの整備を進めています。現在、市内には約300カ所の子育てサロンがあり、今後も子育てサロンの充実に努めていきます。  |
| ○子育てを手伝ってくれるボランティアを増やすと良い。  | 地域で子育て家庭を見守る子育てボランティアを増やすため、ボランティア講習会を実施しています。また、ボランティアに登録された方向けにボランティア通信を発行して、活動の場をお知らせしています。今後もボランティア活動が広がるよう取り組んでいきます。                                       |
| ○子どもの世話をしてもらうために、家にボランティアを派遣すると良い。<br>(類似意見 1件)   | 子育てを支援したい人と、援助したい人による会員組織をつくり、会員間での子どもの預かり支援をコーディネートする「子育て援助活動支援事業」を実施しています。今後も、提供会員を増やす取組など事業の充実に努めていきます。  |
| ○高齢者の子育て経験を生かして、保育士として活躍してもらえると良い。<br>(類似意見 1件)   | 保育所で働く保育士は、保護者が安心して子どもを預けられるよう、保育士資格を持っています。なお、札幌市では、子育てが一段落した方や高齢の方などに、地域で子育て支援に関わってもらえるよう、子育てボランティアの講習会などを実施しています。今後も、こうした取組を通して、社会全体で子育て家庭を支える環境づくりを進めていきます。 |

| 意見の概要  | 市の考え方   |
|--|---|
| ○子育てに関するイベントを行うと良いと思う。                         | 今年、子育て支援者や親子など様々な世代の市民と一緒に遊んだり、学んだり、交流したりできるイベント「子育て未来フェスタさっぽろ2015」を開催しました。このほかにも、各区において、地域の方と連携しながら子育てに関するイベントを実施しています。今後も、こうした取組を通して、社会全体で子育て家庭を支える環境づくりを進めていきます。 |
| ○安心して子育てができるよう、子育て家庭の困りごとを聞き、改善する仕組みがあると良いと思う。 | 子育て支援総合センター、各区保育・子育て支援センター（愛称「ちあふる」）、各区保健センターの保育士が、子育て家庭に寄り添いながら相談を受け、子育てに関する助言や、様々な子育て支援サービスの情報提供などを行っています。今後も、さらなる充実に努めていきます。                                     |

#### ■保育環境の整備

| 意見の概要  | 市の考え方   |
|--|---|
| ○待機児童を減らすため、保育所を増やしてほしい。<br><br>○子育てを支えるために、保育園をもっと造れば良いと思う。<br><br>○保育所などの子どもを預けられる施設をもっと増やし、今の若い世代が子どもを産みやすい環境を用意すると良いと思う。<br><br>(類似意見 26件) | アクションプランでは、保育を希望する全ての市民が保育所などを利用できるように、平成27年度から平成29年度までの期間で集中的に保育所や認定こども園、小規模保育事業の整備を行い、合計で2,174人分の定員を増やす予定です。  |
| ○市営の保育所を増やしてほしい。   | 保育所等の整備は、基本的に民間事業者に担ってもらい、札幌市は施設整備費などを補助しています。<br><br>アクションプランでは、保育所等への整備費補助のほか、区において子育て支援の中心的な役割を担う施設として、市営の保育所を備えた区保育・子育て支援センター（愛称：ちあふる）を厚別区に整備することとしています。  |
| ○保育園や幼稚園を一緒にすることで、少しでも負担をなくせるのではないかと。これから少しずつ増えていってほしい。<br><br>(類似意見 1件)   | 今後、幼稚園と保育所の両方の機能を併せ持ち、保護者が働いている、いないにかかわらず利用が可能な「認定こども園」という施設を優先的に整備することとしています。<br><br>また、認定こども園には、子育て相談などを実施し、地域全体の子育て家庭を支援する機能もあるので、アクションプランでは、今後、施設数が増えるように、認定こども園を整備するために必要な費用について補助を行うこととしています。 |
| ○子育て中の親の負担を減らすため、一日だけ子どもを預かってもらえる施設を身近に造ると良い。  | すでに多くの保育所、幼稚園、認定こども園が、一時的に子どもを預かる事業を行っているところです。また、この他にも札幌市では、子育てを支援したい人と、援助したい人による会員組織をつくり、会員間での子どもの預かり支援をコーディネートする「子育て援助活動支援事業」を実施しており、今後も提供会員を増やす取組など事業の充実に努めていきます。                               |
| ○日曜日でも保育園で預かってもらえるようにすると良いと思う。   | 札幌市内の5カ所の保育所で休日保育を実施しており、ほかの園に通う子どもも利用することができますが、もっと実施する施設を増やしていくことができないか検討しているところです。   |

| 意見の概要   | 市の考え方  |
|---|--|
| <p>○子育てしやすい環境を作るため、会社の中に医師のいる保育所があると良い。</p> <p>○職場に保育園を造れば、待機児童がいなくなり、女性も男性と同じように働けて良いと思う。</p> <p>(類似意見 5件)</p> | <p>会社によっては、社内に保育機能を備える「事業所内保育所」を設置しているところがあります。事業所内保育所は、勤めている人の働きやすさや子育てのしやすさなどの「ワーク・ライフ・バランス」環境を整えるために有効な方法の一つですので、札幌市としても設置を考えている会社からの相談に乗ったり、認可を行ったりしています。</p> <p>なお、認可された事業所内保育所では、園児の健康のために医師と契約しなければいけないことになっており、健康診断や健康管理に関するサポートなどを行っています。</p> |
| <p>○ひとり親家庭が優先的に施設に入れるようにした方が良い。</p>   | <p>保育所の入所を決定する際、ひとり親家庭の子どもが優先されるように調整しています。</p>  |
| <p>○保育時間を長くしたり、バス通園もできるようにしたりすると良い。</p>   | <p>保育所における保育時間は、国の規則で原則として8時間とされていますが、すでにほとんどの保育所が11～13時間の保育を実施しています。また、保育所を利用する子どもの保護者の多くが仕事をしていますので、バスの時間に合わせて通園することになると、かえって利用しづらくなってしまいうため、難しいと考えています。</p>   |
| <p>○保育士の数を増やしたら良いと思う。</p>   | <p>保育に携わる人材を確保するために、「(仮称)保育士・保育所支援センター」を設立して、潜在保育士の掘り起こしや再就職支援、求職のある保育所と求職者のマッチングを行うこととしています。</p>  |
| <p>○各家庭のライフスタイルに合わせた保育対応ができているかが重要だと思う。</p>   | <p>各家庭の状況に合わせた保育利用ができるように、延長保育や休日保育、一時預かりなどの多様な保育サービスを提供しています。</p>   |
| <p>○子どもを産み育てやすくするために、保育サービスの充実が必要だと思う。</p>  | <p>アクションプランでは、保育を希望する全ての市民が保育所などを利用できるように、平成27年度から平成29年度までで保育所などの定員を2,174人分増やすとともに、病気回復期で保育所などに通うことができない子どもを一時的に保育する病後児デイサービス事業を拡大することとしています。</p> <p>こうした取組を通じて、今後も様々な保育サービスを充実していきます。</p>   |
| <p>○保育所に看護師を配置したり、保育士が看護師の資格を取ったりして、子どもが病気になったときの対応をしてほしい。</p>  | <p>すでに安心・安全の観点から看護師を配置している保育所もありますが、看護師は単独で医療行為を行うことができませんので、病気の子どもの保育をそのまま続けることまでは難しい状況です。</p>  |
| <p>○札幌市に公営の夜間保育所をつくって、母子家庭や父子家庭の保育料の負担を減らしてほしい。</p>   | <p>現在、札幌市が認可している保育所のうち、市内の3カ所の園が夜10時又は12時までの保育を実施しています。また、母子、父子家庭などのひとり親家庭に対しては、通常の保育料よりも安く設定し、負担を減らしています。</p>   |

■子育てしやすい環境づくり

| 意見の概要  | 市の考え方   |
|--|---|
| <p>○例えば、働いている最中でも子どもの様子が分かるような設備を整えたり、女性でもやりやすい仕事を市内で多くつくったりするなど、「子育てするなら札幌でしょ」と多くの母親たちが札幌市に集まるような取組があると良いと思う。</p> | <p>結婚や出産を契機に、女性が仕事を辞めてしまうことがないように、女性が家でも仕事ができるようにする企業を応援したり、女性や企業に対してセミナーなどを行ったりしています。また、子育て中の女性の再就職を支援する事業にも取り組んでいきます。</p>   |
| <p>○子育てをしている親に労働力となってほしい。</p>  | <p>働くことができる人の数が減っていく中、活力ある社会を維持するためにも、働くことを希望する女性が働き続けることができる環境を整えていくことが重要です。保育を希望する全ての人々がサービスを受けられるよう、保育所等の定員を増やすほか、延長保育や休日保育、一時預かりなど、多様な保育サービスを提供していきます。札幌市では、女性が結婚や出産によって仕事をやめてしまうことがないように、女性や企業向けのセミナーなどを行っています。また、子育てをしている女性の再就職を応援する事業も行っていく予定です。</p> |

■いじめ防止対策

| 意見の概要   | 市の考え方   |
|---|---|
| <p>○若者が減っていることへの対策として、学校でのいじめ対策が必要。</p> <p>○いじめはなくすべき。</p> <p>(類似意見 1件)</p> | <p>いじめは絶対に許されるものではなく、まして子どもが自らの命を絶つということは決してあってはなりません。学校では、先生やスクールカウンセラーが協力して、いじめをなくすことはもちろん、いじめを速やかに見つけて解決したり、いじめられている子どもを支えたりする取組を行っています。また、アクションプランでは、24時間いじめ電話相談やネットパトロールなどの取組を引き続き行うこととしており、子どもが安心して学校生活を送ることができるような環境づくりに学校と一緒に取り組んでいきます。</p> |

■教育費負担の軽減

| 意見の概要  | 市の考え方   |
|--|---|
| <p>○子育てしやすくするには、給食費のほか、科学館の入館料などを安くすればいいと思う。</p> <p>○給食費を安くしたり、学校で使うものは1年ずつ下の学年にあげたりすればいいと思う。</p> <p>(類似意見 3件)</p> | <p>学校給食の栄養バランスや安全性に気を付けつつ、食材をまとめて購入するなど、給食費が高くないように工夫しています。また、平成11年から青少年科学館などの公共施設の子ども料金を無料にしています。物を大切に使うことは素晴らしいことです。札幌市でも、保護者の負担を減らすために、市民の方々から使わなくなったスキー用具を回収して、必要なご家庭に配布する「さっぽろっこスキーリサイクル」という取組を行っています。</p> |
| <p>○多くの人の学力が上がり、大学に行けるよう、「シャープペン」「消しゴム」「筆入れ」を寄付し、勉強のモチベーションが上がるようにすれば良い。</p>                                       | <p>モチベーションを上げて勉強するためには、お金の心配がなく、学校に通えるようにすることが大切だと思います。札幌市では、高校生や大学生に対し、学用品費や授業料など学校に掛かるお金の一部を助成する奨学金制度による支援を行っています。</p>  |

| 意見の概要  | 市の考え方   |
|--|---|
| <p>○中学校は義務教育であるが、部活動や修学旅行などに多額のお金が掛かるため、中学生の子どもがたくさんいる家庭の経済的援助も行うと良いと思う。</p> <p>○子育て世代の負担を減らすため、高校を卒業するまでの教科書代を無料にすれば良いと思う。</p> <p>(類似意見 2件)</p> | <p>お金の心配なく学校に通えるようにすることは大切だと思います。そのため、援助を必要とする小中学生の子どもがいる家庭に対し、給食費や学用品費、修学旅行の費用や柔道衣など、学校生活に掛かるお金や物品の一部を助成しています。</p> <p>また、札幌市奨学金として、成績優秀な高校生に対し、学用品費など学校に掛かるお金の一部を助成しているほか、働きながら定時制高等学校に通っている生徒の教科書代を助成しています。</p> |
| <p>○札幌を魅力あふれる街にしていく有能な人材を登用するために、奨学金制度をさらに充実させるべきだと思う。</p>   | <p>札幌市奨学金として、成績優秀な高校生や大学生に対し、経済的な理由で進学を諦めることのないよう、学用品費や授業料など学校に掛かるお金の一部を助成しています。</p> <p>今後も奨学金の原資としての寄付を募るなど、奨学金制度を安定的に実施できるよう取り組んでいきます。</p>  |

#### ■学校生活のルール

| 意見の概要                                       | 市の考え方   |
|---|---|
| <p>○札幌市に秋休みがないのはなぜか。</p>                    | <p>季節ごとの休みについては、1年間をいくつの学期に分けるかにもよります。石狩市などは、1年間を4～9月と10～3月の2学期に分けており、学期の間に秋休みも設けているようですが、札幌市では、3学期に分けており、各学期の間に、春・夏・冬の3回の休みを設けています。</p> <p>なお、市立高等学校では2学期に分けており、学期の間に秋休みを設けている学校もあります。</p> |
| <p>○学校ごとの下校時間を統一してほしい。</p> <p>(類似意見 2件)</p> | <p>各学校の登校時間や下校時間は、校区の広さなどに応じて、子どもたちの通学にかかる時間や負担に配慮して決めています。</p>   |

#### ■学校施設の充実

| 意見の概要                                    | 市の考え方  |
|--|--|
| <p>○騒音や寒さを防ぐために、学校の窓を2重にすると良い。</p>       | <p>校舎や体育館を建て替える際は、騒音や寒さを防ぐためにガラスが二重である「ペアガラス」を使っています。</p>              |
| <p>○学校の体育館を大きくしてほしい。</p>                 | <p>体育館の広さの基準が変わり、体育館を建て替えるときには今までより大きくしています。</p>                       |
| <p>○サッカーがしやすいように、中学校のグラウンドを平らにしてほしい。</p> | <p>学校のグラウンドについては、学校数が多いため整備に時間がかかっていますが、補修の必要性の高い学校から順に整備を進めていきます。</p> |

| 意見の概要   | 市の考え方   |
|---|---|
| <p>○札幌市をもっと良くするためには、学校を増やし若い人を増やしていけば良いと思う。</p> <p>○子どもたちの将来を考えて学校や専門学校をたくさん増やし、子どもたちが学業に専念できるような環境をつくと良いと思う。</p> | <p>少子化を受けて、札幌市でも児童生徒数の少ない小中学校が増えています。</p> <p>児童生徒数が減少すると、例えば、クラス替えができない、集団競技や部活動などが成立しにくいなど子どもたちの社会性や協調性を育みづらいという課題があります。</p> <p>教育委員会では、一定の学校規模を確保することで、子どもたちにより良い教育環境を提供していきたいと考えています。</p> <p>また、専門学校については、民間企業の仕事とのバランスなどから札幌市では所管していませんが、子どもたちが自分の将来のことを社会や経済の仕組みを学びながら考えることは、とても重要なことと考えており、現在、中学生を対象に専門学校等と連携した職業体験講座を開催する「進路探究学習オリエンテーリング事業」を行っています。</p> |

#### ■文化芸術に触れる機会の充実

| 意見の概要                              | 市の考え方   |
|------------------------------------|---|
| <p>○レコード館など、音楽を楽しめる場所を増やしてほしい。</p> | <p>札幌には世界的なコンサートホールである「キタラ」を始め、民間の施設を含めて、音楽を楽しめる大小さまざまなホールがあります。</p> <p>また、現在地下鉄大通駅の近くに、演奏会などを行うことができる「札幌市民交流プラザ」を造っています。</p> <p>これからも、皆さんが音楽を始めとする文化芸術を楽しめる機会を増やせるよう取り組んでいきます。</p> |

#### ■男女共同参画

| 意見の概要  | 市の考え方   |
|--|---|
| <p>○女性が輝くためには、女性の負担を減らす必要がある。そのため、男性も家事の手伝いをし、女性を助けるよう呼び掛けていく必要があると思う。</p> | <p>「男性は仕事、女性は家事・育児」といった固定的な性別役割分担意識の解消に向けて、男女共同参画センターを中心として啓発活動を行っています。今後も、男女が共に、その個性と能力を発揮して生き生きと暮らすことができる社会を目指し、環境整備を進めていきます。</p> |

#### ■地下鉄の専用席・女性と子どもの安心車両

| 意見の概要   | 市の考え方   |
|---|---|
| <p>○妊娠中の人やゆっくりできるように、地下鉄の専用席を増やすか、「女性と子どもの安心車両」を増やしてほしい。</p> <p>○電車で小さい子どものお母さんを優先する席を多くすると良い。</p> <p>(類似意見 1件)</p> | <p>地下鉄の専用席をこれ以上増やすと、一般のお客様の座席が減少しサービスの低下につながる恐れがあります。</p> <p>また、女性と子どもの安心車両を増やすことにより他の車両が一層混雑し、快適な車内環境の維持が困難になると想定されます。</p> <p>こうしたことから、現在のところ実施は難しいと考えていますが、今後も、座席の譲り合いなどのご協力を呼び掛けていきます。</p> |

#### ■動物愛護

| 意見の概要   | 市の考え方  |
|---|--|
| <p>○犬カフェや猫カフェを増やすと動物の殺処分を減らすことにもなるので良いと思う。</p> <p>(類似意見 1件)</p> | <p>動物を展示するカフェは会社や個人で経営しています。</p> <p>札幌市に収容された犬猫と市民がふれ合う機会を増やしていくことについては、今後の動物管理センターのあり方を見直す中で検討していきます。</p> |

| 意見の概要                                   | 市の考え方   |
|---|---|
| ○誰もが安心して暮らせるよう、野良猫を捕まえ、避妊去勢手術を行うと良いと思う。 | 野良猫を増やさないようにするためには、避妊・去勢手術は効果があります。しかしながら、実施については市民の意見を聞いて慎重に行う必要があります。また、札幌市では、野良猫が増えないよう飼い猫の室内飼育や捨て猫の防止について広くお知らせしています。 |

### 施策3:歩いて暮らせるまちづくり

| 意見の概要  | 市の考え方  |
|--|--|
| ○札幌の魅力を伝えるため、テレビなどでアピールしたり、ポスターなどを作れば良いと思う。<br><br>(類似意見 5件) | これまでも、テレビやラジオ番組の放送や街の大型ビジョンなどを使って札幌市の魅力を発信しています。今後、それらをさらに充実させるとともに、皆さんにより一層魅力が伝わるように、様々なPR方法を考えていきます。                       |
| ○子どもでも市政情報が得られやすくする取組があると良い。                                 | 広報さっぽろに漫画を使った記事を掲載したり、公式ホームページにキッズページを開いたりすることで、子どもにも分かりやすい情報発信を積極的に行っています。これからも皆さんに市政に興味・関心を持ってもらえるように、子ども向けの情報発信を充実していきます。 |
| ○高齢者の交通費の支援をすれば良い。<br><br>(類似意見 3件)                          | 市内にお住まいの70歳以上の方を対象に、一定の負担をいただくことで、市内の公共交通機関を7万円分まで利用できる「敬老優待乗車証」を交付しており、毎年多くの方にご利用いただいています。                                  |

### ■バリアフリー

| 意見の概要   | 市の考え方  |
|---|--|
| ○お年寄り、障がい者が安心して過ごせるように、公共施設に手すりを付けたり、車いすが通れるようにスロープを使ったりしたら良いと思う。<br><br>○高齢者・障がい者が住みやすい街にするためにバリアフリー化を進めるべきだと思う。<br><br>○バリアフリーのお店を増やしていけば良いと思う。<br><br>(類似意見 37件) | 学校、病院、百貨店などたくさんの方が利用する施設では、お年寄りや体の不自由な方も利用できるように、条例により、段差にスロープを付けたり、車いすでも利用できるトイレを設置することとしています。また、必要に応じて廊下などに手すりを付けるよう配慮することとしています。                                  |
| ○盲導犬が入れる店や施設を増やすと良いと思う。<br><br>(類似意見 1件)  | スーパーやレストラン、ホテルなどの施設に対して、補助犬の同伴を受け入れるよう法律で義務付けられています。入店拒否などをなくすため、補助犬についての正しい理解が広がるように努めていきます。  |
| ○目の不自由な方のために、公共施設のエレベーターに音声案内を付けると良いと思う。  | 建物の大きさや種類によって異なりますが、エレベーターを新たに設置する場合、条例で基準を定めています。目の不自由な方のための音声案内や点字表示、耳の不自由な方のための現在位置表示、車いすの方も操作できるボタンの設置、高齢者のために手すりの設置、などです。なお、条例ができる以前の古いエレベーターには整備されていないものもあります。 |

| 意見の概要   | 市の考え方   |
|---|---|
| <p>○高齢化社会に向けて、クネット（足に負担が掛からない波型の手すり）を普及させるべきだと思う。</p>   | <p>札幌市の条例では、学校、病院、百貨店などたくさんの方が利用する施設においては、階段に手すりを設置し、踊り場や廊下には必要に応じて手すりを設置することになっています。手すりにはいろいろな製品があり、1つの製品だけを普及させることは難しいですが、便利な製品が増えることは誰にとってもやさしいまちづくりになると考えています。</p>  |
| <p>○目の不自由な方のために、多目的トイレの開閉ボタンをセンサー式に変えると良いと思う。</p>   | <p>目の不自由な方が一人でも利用できるように、扉の開閉やトイレ内の説明を行う音声案内装置が増えています。札幌市の条例では、現在は基準として定めていませんが、今後、基準の見直しを行う場合などにおいては、いただいたご意見を参考にしたいと考えています。</p>  |
| <p>○駅にスロープや車いす用エスカレーターを設置するなど、施設をバリアフリー化すると障がいのある方も移動しやすくなると思う。</p> <p>○障がいのある方が外出しやすくするため、駅にエレベーターを設置するなど、バスや駅など公共交通機関のバリアフリー化を進めると良いと思う。</p> <p>（類似意見 1件）</p> | <p>「新・札幌市バリアフリー基本構想」という計画を作って、道路や公園などを管理している人たちと協力しながらバリアフリー化を進めています。アクションプランでは、地下鉄駅におけるエレベーターの設置を検討するなど、各公共交通機関とも協力しながら取組を進めていきます。</p>                                 |
| <p>○視覚障がい者のために、点字ブロックなどを増やすと良い。</p> <p>（類似意見 11件）</p>   | <p>駅の周辺など歩行者の多い広い道路から順番に点字ブロックを整備しています。これからも点字ブロックを増やしていきたいと考えています。</p>   |
| <p>○障がいのある方や高齢者が歩きやすくするため、点字ブロックが雪で見えなくなってしまうように、ロードヒーティングなどを設置してほしい。</p> <p>（類似意見 5件）</p>  | <p>ロードヒーティングは、設置や古くなったときの修理、雪をとく燃料にたくさんのお金がかかるので、急な坂道や急カーブだけに設置しています。歩道の除雪については、学校や地下鉄駅の周り、バス通りなどの人通りの多い歩道で、歩道用の除雪車が通れる2m以上の幅があれば行っています。</p>                            |
| <p>○車いすやベビーカーの方のために歩道の段差をできるだけなくした方が良いと思う。</p> <p>（類似意見 22件）</p>  | <p>駅の周辺など歩行者の多い広い道路では車いすの人やベビーカーを押して歩く人、高齢者を含め、誰もが歩きやすいように、歩道の勾配を小さく直したり、でこぼこのない平らな道に順番に整備したりしています。</p>   |
| <p>○目の不自由な人と不自由のない人で歩道を分けてはどうか。</p>   | <p>限られた歩道の幅の中で車いすの人やベビーカーを押して歩く人、高齢者も含め誰もが通行することになりますので、歩道を分けると、それぞれで十分な幅が取れなくなってしまいます。</p> <p>そのため、歩道全体で誰もが歩きやすい歩道になるよう、順番に点字ブロックを整備したり、でこぼこのない平らな道になるよう取り組んでいきます。</p> |
| <p>○電線の全面地中化を目指して、札幌のまちをきれいにしてほしい。</p>  | <p>できるだけ多くの電線の地中化を進めていきたいと考えていますが、電線類地中化には多くの費用が掛かってしまうため、まずは人通りの多い場所を優先して進めているところです。</p>   |

### 政策目標3 地域の課題を地域の力で解決する街

#### 施策1: 地域活動を活発化する環境づくり

##### ■市民の居場所・活動拠点づくり

| 意見の概要  | 市の考え方  |
|--|--|
| ○店舗やお祭りが大通に集中しているので、他の地域にも広げて明るくにぎやかな街にすると良い。<br><br>(類似意見 1件) | 地域で新しくお店を開きたい人を応援したり、地域のお店が集まってお祭りを開催するのを支援しており、今後も地域が盛り上がるよう取組を進めていきます。   |
| ○プレミアム商品券を札幌の全ての店で使えるようにしてほしい。                                 | プレミアム商品券により、たくさんのお店が売上を伸ばすことができれば景気は良くなると思います。できるだけ多くのお店で商品券が使われるよう、これからも考えていきたいと思えます。                                   |
| ○商業施設の建設費を補助すると、経済が活性化して景気が良くなると思う。                            | 新しいお店を建てるだけでなく、空き店舗を活用することなどによって魅力的なお店が増えることは、市民にとっても観光客にとっても良いことだと思います。札幌市ではこれからも魅力的なお店が増えるよう、空き店舗を活用した起業の支援などを行っていきます。 |
| ○大企業と地域の中小企業が提携することで、中小企業ももうかるシステムをつくらせると良いと思う。                | 例えば商店街では、規模の大小や業種を問わず、様々な企業やお店が協力して、いろいろな活動に取り組んでおり、これからもそういった活動に対する補助などを行っていきます。  |
| ○お店が少ないところにお店を造る。  | 魅力的なお店が増えることは良いことだと思います。札幌市ではこれからも空き店舗を活用した起業の支援などを行っていきます。  |
| ○昔からの味を未来まで残せるよう、昔からあるお店を大切にします。                               | 流行にとらわれず、昔ながらのお店やその味が受け継がれていくのは大切なことだと思います。魅力的なお店ができるだけ長く続けていけるよう、融資や製品開発などいろいろな支援を続けていきたいと思えます。                         |

##### ■地域交流施設

| 意見の概要  | 市の考え方   |
|--|---|
| ○子どもからお年寄りまでみんなが交流できる場所をつくることで、より安心して生活することができると思う。<br><br>(類似意見 3件) | 今後、改築する小学校には、子どもからお年寄りまでが利用できる地域交流施設を作り、多世代交流を図っていくことを考えています。 |

##### ■スポーツ活動の充実

| 意見の概要                                       | 市の考え方  |
|---|--|
| ○市民が考えた新しいスポーツで大会を開くと良い。                    | 市民の皆さんがスポーツについて関心を持っていただくことは大切なことだと思います。いただいたご意見は、今後のスポーツ振興施策を考えていく中で参考にさせていただきます。 |
| ○子どもが健やかに育つためには、区ごとに外でやるスポーツの大会を開催すれば良いと思う。 | 各区において、子どもが参加できる屋外のスポーツ大会やスポーツイベントを開催しており、多くの方が参加しています。今後も引き続き取り組んでいきます。           |

| 意見の概要  | 市の考え方   |
|--|---|
| ○札幌市内で全区対抗マラソンを行ってはどうか。  | 毎年、10月に開催されている札幌マラソン大会では、年代別でタイムを競い合う内容となっています。全区対抗マラソンというアイデアについては、今後のスポーツ振興の参考にさせていただきます。   |
| ○高齢者や障がい者、学生などが無料でスポーツを楽しめる公共施設があると良い。                             | 札幌市の体育施設は、障がい者が個人で利用するときは無料でご利用できます。また、高齢者や高校生が、大人の料金より安く利用できる体育施設は多いのですが、体育施設を皆さんに長い間利用してもらうためには光熱水費や修理のお金が必要なので、無料にすることは難しいです。                                |
| ○冬でもいっぱい運動し学べると良い。施設利用料の無料や割引をして、みんなが楽しめる街になると良い。                  | 札幌市の体育施設では、中学生までの個人利用については、無料でご利用いただけます。  |
| ○冬でも入れる温水プールが身近にあると良いと思う。<br>○スポーツを楽しめる施設をもっと作ってほしい。<br>(類似意見 25件) | 市内のスポーツ施設の在り方についてまとめた「スポーツ施設配置・活用計画」を平成28年度末までに策定する予定です。いただいたご意見については、計画の検討に当たり、参考にさせていただきます。   |
| ○スポーツ選手を札幌の各地に送り、交流を深めスポーツ人口を増やしたら良いと思う。                           | 地域の要望にこたえて、元オリンピック選手やトップアスリートを講師として派遣する「オリンピアンズキャラバン」という取組を実施しています。また、中学生の充実した運動環境を整えるため、外部指導者としてアスリートを派遣する、「中学校運動部活動支援事業」も行っていく予定です。                           |
| ○子どもたちがプロスポーツ選手と触れ合えるイベントを増やすと良い。                                  | 北海道日本ハムファイターズ、コンサドーレ札幌、レバンガ北海道及び札幌市の4者で「プロスポネットSAPPORO」としてスポーツ振興に取り組んでいます。その一環として、地下歩行空間でのPRイベントやスポーツ教室を開催したり、選手と地元中学生が合同で雪かきをしたりするなど、プロスポーツ選手と触れ合える機会を提供しています。 |
| ○もっと広くスポーツなどを知らせるとともに、安全にできるようにすると良いと思う。                           | 札幌市を活動の拠点とするプロスポーツチームと連携して、子どもたちを試合に無料招待するなど、スポーツへの関心を高めるような取組を行っています。また、スポーツイベントを行う際には、事前の準備運動について注意を促すなど、スポーツを安全にできるように配慮しています。                               |

## 施策2:地域マネジメントの推進

### ■安全・安心なまちづくり

| 意見の概要                                | 市の考え方  |
|--------------------------------------|--|
| ○犯罪などがなくなるよう取り組むべきだと思う。<br>(類似意見 2件) | 子ども、女性、高齢者など幅広い年代に対して、犯罪被害に遭わないための講話などの普及啓発活動を行い、市民の皆さんに注意を呼び掛けています。今後も、警察や防犯団体と協力して犯罪がなくなるよう取り組んでいきたいと考えています。 |

| 意見の概要   | 市の考え方   |
|---|---|
| <p>○助け合いや思いやりの気持ちを一人一人が持つことで、犯罪などを防ぐことができると思う。</p> <p>○安全な街を目指し、犯罪防止の呼び掛けや見回りを行っていくことが大事だと思う。</p> | <p>子どもたちの通学路の安全を図るため、子どもたちと接する機会の多いPTAなどの関係者や、町内会など地域が一体となって、子どもの登下校を見守る活動ができるよう支援を行います。</p>  |
| <p>○不審者が多いので、見回りを増やして、早く捕まえてほしい。</p>  | <p>不審者対策として、スクールガードの取組や、子ども110番の家支援事業などを行うほか、不審者による犯罪などに遭わないための防犯講座を開催して、市民の皆さんに注意を呼び掛けています。</p>  |
| <p>○冬になると夜は暗くて不安なので、明るくにぎやかな場所を増やし、安心して帰れるようにしてほしい。</p>   | <p>暗がりや見通しの悪い場所がなくなるように、街路灯の設置や、公園の樹木や街路樹の剪定などを行い、犯罪が起こりにくい環境整備を進めています。</p>   |
| <p>○交番をたくさん作り、すぐ行けるようにしてほしい。</p> <p>(類似意見 1件)</p>   | <p>交番は、札幌市の施設ではなく、北海道警察の施設になりますので、いただいたご意見については、北海道警察にお伝えいたします。</p> <p>札幌市では、子どもたちが危険な状況になったときに、駆け込んで助けを求める場所として、「子ども110番の家」や「子ども110番の家」などを整備し、子どもたちが安心して安全に生活できるよう取り組んでいます。</p>                  |
| <p>○犯罪の発生を抑止してほしい。</p> <p>○犯罪を減らすために、市のお金で警察を強化すれば良いと思う。</p>                                      | <p>市が防犯の取組を進めるに当たっては、北海道警察との連携が重要ですので、情報共有や人事交流など北海道警察との様々な連携を通じて、犯罪がなくなるように取り組んでいきたいと考えています。</p>   |
| <p>○防犯カメラを増やすとともに、性能を上げることで犯罪を減らせると思う。</p> <p>(類似意見 3件)</p>                                       | <p>防犯カメラにはプライバシーや個人情報保護の問題があることから、一般公道や公園などに街頭防犯カメラは原則的に設置しておらず、また、市民や事業者などが防犯カメラを設置する場合には、「防犯カメラの設置及び運用に関するガイドライン」に基づき検討した上での設置をお願いしています。</p> <p>防犯カメラの効果を過信せず、自分の身は自分で守ることを徹底していただきたいと思います。</p> |
| <p>○インターホンの性能を上げることで、より安全に暮らすことにつながると思う。</p>  | <p>住宅の防犯では、玄関ドアや窓からの不審者の侵入を防ぐことが重要ですが、市民の皆さんが防犯意識を持たなければ犯罪被害は防げないことから、住宅防犯に関する講話などの啓発活動を行い、市民の皆さんに注意を呼び掛けています。</p>  |
| <p>○子どもが犯罪に巻き込まれにくい状態をつくるため、「子ども110番の家」などを増やしていくと良いと思う。</p>                                       | <p>アクションプランでは、地域で実施している「子ども110番の家」の実施団体に対する様々な支援を進め、子どもたちが危険な状況になったときに、駆け込んで助けを求める場所を増やす「子ども110番の家支援事業」を実施することとしています。</p>   |

| 意見の概要   | 市の考え方   |
|---|---|
| <p>○振り込め詐欺などへの対策を行ってほしい。</p> <p>(類似意見 2件)</p> | <p>近年多発している特殊詐欺への対策としては、広報・啓発に力を入れており、振り込め詐欺の被害に遭わないよう、出前講座などで高齢者を中心に注意を呼び掛けています。</p> |

■交通安全

| 意見の概要   | 市の考え方   |
|---|---|
| <p>○交通事故をなくすために、警察と共に呼び掛けると良い。</p> <p>(類似意見 5件)</p>   | <p>交通事故減少のため、小学校での交通安全教室や街頭での交通事故防止の呼び掛けなどを行い、市民の皆さんに交通ルールを周知し、事故のないまちを目指しています。街頭での呼び掛けの際は、警察と共にを行う場合も多く、引き続き、警察とも協力しながら、市民の方に交通ルールを守ってもらえるように取組を進めたいと考えています。</p>     |
| <p>○高齢者の自動車の運転を禁止した方が良いと思う。</p>   | <p>高齢者の中には、公共交通機関がない・足りないなど、やむを得ず自動車を利用されている方もいて、一律に運転を禁止することは適切ではないと考えます。70歳以上の方が免許を更新する際は「高齢者講習」の受講が、また、75歳以上の方は判断力や記憶力についての検査が義務付けられており、高齢者の交通事故防止の取組が行われています。</p> |
| <p>○みんなが楽しみながら、交通事故をなくしていければ良いと思う。</p>  | <p>交通安全教室や街頭啓発などを通じて、市民の皆さんに親しみやすく、分かりやすい交通事故防止の取組に努めていきます。</p>   |
| <p>○交通事故を減らすために、信号無視・標識無視をしたときの反則金を高くしてはどうか。</p> <p>(類似意見 1件)</p>   | <p>交通違反に伴う反則金額の決定は、道路交通法施行令により決定しているため、札幌市では金額の変更を行うことができませんが、今後とも市民の方に交通ルールを守ってもらえるよう周知を図り、事故のない街を目指していきます。</p>  |
| <p>○一人一人が歩道の交通ルールを守ることが大切だと思う。</p>  | <p>交通事故減少のため、小学校での交通安全教室や街頭での交通事故防止の呼び掛けなどにより交通ルールを周知し、事故のない街を目指していきます。</p>   |
| <p>○交通事故を減らすため、急な坂道などに「スピード注意」や「スピードダウン」などの注意書きや標識を付けたら良いと思う。</p> <p>(類似意見 2件)</p>                                  | <p>急な坂道などは事故の危険性が高いと考えられます。危険性を呼び掛ける看板の設置については、設置や維持の費用と、効果を検討しながら、必要性や緊急性などに応じて対応していきます。</p>   |
| <p>○信号の音を大きくしてほしい。</p> <p>○メロディー信号を増やしてほしい。</p> <p>○高齢者や子どもが安心して横断できるよう、信号機のない横断歩道に信号機を付けてほしい。</p> <p>(類似意見 9件)</p> | <p>信号機については、北海道公安委員会が設置の可否を決定しており、札幌市では、地域の総意として設置要望があれば、市の意見を沿えて要望を警察署に提出する取組をしています。</p>   |

| 意見の概要  | 市の考え方  |
|--|--|
| <p>○路上駐車を少なくするために、取り締まりを厳しくしたり、看板を設置したりすると良い。</p> <p>(類似意見 5件)</p> | <p>路上駐車防止のための規制標識などは、設置の可否は公安委員会で決定しており、路上駐車の取り締まりは、警察が行っています。また、看板の設置については、設置や維持の費用と、効果を検討しながら、必要性や緊急性などに応じて対応していきます。</p>     |
| <p>○路上駐車をなくすために、格安の駐車場を造ってはどうか。</p>                                | <p>駐車場は、民間事業者が設置する場合と札幌市などの公共団体などが設置する場合がありますが、公共団体が設置する場合においても、場所の確保や維持管理の費用をねん出しなければならない問題があります。いただいた意見は今後の参考とさせていただきます。</p> |

#### ■自転車マナー

| 意見の概要                          | 市の考え方  |
|--------------------------------|--|
| <p>○朝に自転車に乗る人を減らした方が良いと思う。</p> | <p>自転車は環境に優しい乗り物であり、札幌市として自転車の利用を控えるように呼び掛ける予定はありません。交通安全教室や啓発チラシの配布などを通じて、市民の皆さんに安全に自転車を利用してもらえるように取り組んでいきます。</p> |

#### ■区の魅力アップ

| 意見の概要                                    | 市の考え方   |
|--|---|
| <p>○街の中心部だけでなく、他の区の魅力ももっと充実すると良いと思う。</p> | <p>それぞれの区の歴史的・文化的・風土的な特色を生かした地域の魅力アップに取り組んでおり、今後も、「未来へつなぐ笑顔のまちづくり推進事業」という取組において、地域の皆さんと協力しながら更なる魅力アップに取り組んでいきたいと考えています。</p> |

#### ■地域交流

| 意見の概要  | 市の考え方  |
|--|--|
| <p>○地域の交流を深めるために、祭りなどのイベントを増やすと良いと思う。</p> <p>○中島公園で開かれる祭りなど、どの世代でも楽しめるイベントを長期間にした方が良いと思う。</p> <p>○地域で多くの人々が触れ合えるように、地域ごとに季節感も取り入れたイベントを行うと良いと思う。</p> <p>(類似意見 11件)</p> | <p>「未来へつなぐ笑顔のまちづくり活動推進事業」という取組において、各地域でのお祭りやイベントの実行委員会への支援を実施していきます。今後も若い人からお年寄りの方、障がいのある方まで、地域の皆さんが進んで参加したくなるような取り組みを支援していきたいと考えています。</p> <p>また、町内会の活動事例紹介による情報共有やシンポジウムの開催など、最も身近な地域交流単位である町内会活動の活性化に取り組んでいます。</p> |

#### 施策3:雪と共存した暮らしの推進

| 意見の概要   | 市の考え方   |
|---|---|
| <p>○ウィンタースポーツなどの特徴を生かして、若い人を引き付けると良いと思う。</p> <p>(類似意見 1件)</p> | <p>若い人たちの間で、札幌市が魅力的な冬の都市として広まるよう、札幌の特色であるウィンタースポーツで魅力を発信していきます。</p> |

■ウインタースポーツ塾

| 意見の概要  | 市の考え方   |
|--|---|
| <p>○ウインタースポーツ塾の内容をもっと教えてほしい。</p> <p>(類似意見 1件)</p>  | <p>ウインタースポーツ塾は、小学1年生～6年生を対象に、各ウインタースポーツ施設に開設するもので、カーリング、スノーボード、フィギュアスケート、リュージュ、クロスカントリースキー、スキージャンプの6競技を体験できる「エントリーコース」を予定しています。</p> <p>また、各競技で良い成績を収めている児童を対象にトップアスリートによるレベルの高い指導を受けられる「エキスパートコース」も予定しており、ここでの体験をきっかけとして、その後も様々なウインタースポーツに取り組む子どもたちを増やしていきたいと考えています。</p>    |
| <p>○ウインタースポーツ塾を行うことによって、オリンピック選手候補も生まれ、札幌が素晴らしいまちになると思う。</p> <p>○レベルの高い技術を学べるので、ウインタースポーツ塾の取組が良いと思う。</p> <p>○ウインタースポーツを身近に体験できる教室とレベルの高い技術を学べる教室があると嬉しい。</p> <p>(類似意見 10件)</p> | <p>ウインタースポーツ塾は様々なウインタースポーツを体験できるので、これをきっかけに大人になってからも様々なウインタースポーツを楽しむ人たちが増えていくことが期待されます。</p> <p>また、レベルの高い技術を学ぶことができる教室では、将来、世界で活躍できるウインタースポーツ選手を育て、子どもたちに夢や希望を与えることにつなげていきたいと考えています。</p> <p>札幌から世界レベルの選手が生まれ、子どもたちにあこがれや夢、希望を与えることにより、さらにウインタースポーツに取り組む子どもたちが増えていくと考えます。</p> |
| <p>○ウインタースポーツを広めた方が良くと思う。運動することで、元気な街になると良い。</p> <p>○子どもの肥満や運動不足が増えているので、ウインタースポーツ塾は冬期間の運動不足も解消できる良い取組だと思う。</p> <p>○ウインタースポーツ塾は、引きこもりにもならないのでやった方が良くと思う。</p> <p>(類似意見 2件)</p>  | <p>ウインタースポーツ塾では、様々なウインタースポーツを体験することができるため、冬をより楽しむことができるようになるだけでなく、運動不足になりがちな冬を元気に過ごすことができるようになると思います。</p>   |
| <p>○ウインタースポーツ塾の送迎バスの範囲を広げてほしい。</p>   | <p>ウインタースポーツ塾の送迎バスの運行については、利用者の負担を少しでも軽くできるように、検討を進めていきます。</p>  |
| <p>○ウインタースポーツ塾は観光客を集め、札幌市の人口増加の手段になるのでぜひ行ってほしい。</p>  | <p>ウインタースポーツ塾は札幌市内の小学生を対象に実施するものなので、観光客の増加に直接結びつくものではないかもしれませんが、ウインタースポーツシティとして札幌が認められるよう、効果的に進めていきたいと思えます。</p>   |
| <p>○ウインタースポーツではあまり知られていないものもあるので、講演などをしてそれらに触れることが大切。</p> <p>(類似意見 10件)</p>  | <p>小学生のころからもっと様々なウインタースポーツに触れることができるようにするために、「ウインタースポーツ塾」という取組を行います。この取組が効果的に進められていくことで、より多くの市民の皆さんに、様々なウインタースポーツを楽しんでいただけたらと考えています。</p>  |

| 意見の概要   | 市の考え方  |
|---|--|
| <p>○「塾の開設」だけだと、今と同じでは…？もし、学校単位で指導者を派遣したり、道具や場所を貸し出すことができれば、みんなが試せる。興味が湧いた人は、道具を買って本格的にやれば良い。</p> <p>(類似意見 1件)</p>                       | <p>札幌市内のほとんどの小学校で、アルペンスキーに取り組んでいます。それ以外のウィンタースポーツについては、体育の授業時間が限られているため実施は難しいと考えています。</p> <p>よって、ウィンタースポーツに親しんでもらうためには、各ウィンタースポーツ施設に集まって体験してもらうことが効果的だと考えており、今後一人でも多く子どもたちにウィンタースポーツに親しんでもらえるよう、内容を工夫していきます。</p> |
| <p>○ウィンタースポーツ塾は、小さい時から少しずつやれば運動嫌いな子どもが減るので良いと思う。</p>  | <p>ウィンタースポーツ塾の取組によって、自分の好みに合ったスポーツと出会う機会が増えるため、より多く子どもたちがスポーツに意欲的に取り組むようになり、大人になってもウィンタースポーツをする人が増えていくことが期待できるほか、将来の生きがいや健康づくりにもつながるものだと考えています。</p>  |
| <p>○公園や体育館でもウィンタースポーツをできるようにしてほしい。</p>  | <p>ウィンタースポーツ塾という取組によって、小学生を対象に様々なウィンタースポーツを体験できるようにしていく予定です。なお、ご意見のあった体育館を使ったウィンタースポーツの実施ということは現在検討していませんが、貴重なご意見として参考とさせていただきます。</p>  |
| <p>○ウィンタースポーツ塾は良い取組だと思うが、お金が掛かるのであれば行きたいとは思わない。</p>   | <p>ウィンタースポーツ塾では、様々なウィンタースポーツを無料で体験することができます。ただし、用具のレンタル代金やリフト料金などについては、負担していただく予定となっています。</p>  |
| <p>○ウィンタースポーツ塾については、参加してもらえるように市内小学校で説明会などを行った方が良いでしょう。</p> <p>○ウィンタースポーツ塾の取組については、まず子どもにどんな種目があるのかを知らせ、自然にやる気になってもらえるような取組が必要だと思う。</p> | <p>ご意見のとおり、ウィンタースポーツ塾という取組については、事前のPRが大切になってくると考えています。小学校へのお便り配布に加え、やる気になってもらえるような取組も検討していきます。</p>   |
| <p>○ウィンタースポーツ塾は冬季オリ・パラ招致にもつながり、良いと思うが、「塾」だと行きにくく思う人もいるかもしれないと思った。</p>   | <p>ウィンタースポーツ塾は、各ウィンタースポーツ施設に開設し、6競技を体験できる初心者向けの「エントリーコース」と、レベルアップした「エキスパートコース」を予定しています。「塾」という言葉に不安を感じる子どもたちにも安心して参加してもらえるように、取組をPRしていきます。</p>  |
| <p>○スポーツの後の脳は活性化しているので、ウィンタースポーツ塾の中に勉強のメニューも入れた方が良いでしょう。</p>  | <p>運動後に勉強することは面白いアイデアだと思いますが、ウィンタースポーツ塾に合わせ、学習スペースなどを確保することは難しいと考えています。帰宅後に各自が勉強に意欲的に取り組むことに期待をしています。</p>  |
| <p>○ウィンタースポーツ塾は行ける人が限られてしまうので、小学校や幼稚園・保育園の子どもを招待してスケート・カーリングなどを体験できたら良いと思う。</p>   | <p>現在、ウィンタースポーツの各競技団体でも、市内の子どもたちを対象にした無料体験会など、ウィンタースポーツに親しむ取組を行っています。ウィンタースポーツ塾という取組によって、さらに多く子どもたちがウィンタースポーツを楽しんでもらえるよう取り組んでいきます。</p>   |

■ウインタースポーツなどに親しむ機会の充実

| 意見の概要  | 市の考え方  |
|--|--|
| <p>○子どもたちが冬のスポーツを体験できたり、雪のことについて学べたりするイベントを実施すると良いと思う。</p> <p>○たくさん冬のスポーツに子どもが触れられる体験会などを開くと良いと思う。</p> <p>(類似意見 10件)</p>     | <p>多くの人たちが利用する大通公園において、毎年ウインタースポーツの体験会である「大通公園ウインタースポーツフェスティバル」を開催しています。</p> <p>前はボブスレー、スケルトン、バイアスロン、キッズスノーボード、カーリングなどのコーナーを設け、子どもたちがウインタースポーツを体験し、雪のことを学べる機会を提供しました。</p>                            |
| <p>○スケートやカーリングなどの、なかなかできない冬のスポーツをできるようにしてほしい。</p> <p>○子どもがいろいろなことを体験できるよう、スケート場やカーリング場で無料体験できるようにしてほしい。</p> <p>(類似意見 2件)</p> | <p>カーリングの普及に関する市の取組として、「カーリング普及事業」を実施しており、どうぎんカーリングスタジアムにおいて、「常駐指導員によるカーリングの技術指導」や子ども向けの無料体験プログラムを実施し、冬のスポーツの普及に努めています。</p> <p>また、スケート場を利用する際の貸靴料金の費用を軽減し、よりたくさんのお子さんがスケートを楽しむことができるようにしていく予定です。</p> |
| <p>○オリンピックのような大規模な雪合戦の大会を札幌市で開いてはどうか。</p>  | <p>雪合戦の大会は札幌市内でも開催されていますが、オリンピックくらい大きな大会を開くことはウインタースポーツの活性化につながると思います。いただいたご意見は今後の参考にさせていただきます。</p>  |
| <p>○札幌市だけでしかできない、雪を使った遊びや雪上スポーツをつくったら良いと思う。</p> <p>(類似意見 7件)</p>   | <p>公園の広場や学校のグラウンドなどで誰でも簡単にできるウインタースポーツとして、札幌市では昭和58年に「スノーホッケー」を考案しました。</p> <p>「スノーホッケー」は、雪上のアイスホッケーであり、レットと呼ばれるプラスチック製のミニスキーとスティックを使用し、パックの代わりに丸いボールを使用し、初心者でも気軽に楽しめるスポーツで、毎年2月には大会も開催されています。</p>    |
| <p>○雪のスポーツを、習い事として週に1、2回ボランティアのコーチから教えてもらうと良いと思う。</p> <p>(類似意見 1件)</p>   | <p>札幌市では、スポーツの指導ができる地域の人に、ボランティア活動として学校のスキー学習などのお手伝いをしていただく事業を実施しています。</p>   |
| <p>○札幌紹介サイトをつくって、スノーホッケーなど雪が降る札幌でしかできないことを載せる。</p>   | <p>札幌市の公式ホームページで各種情報提供を行い、札幌の魅力を発信しており、その中で、札幌市発祥のスノーホッケーなど、ウインタースポーツに関する情報もお知らせしています。</p>   |
| <p>○今ある真駒内アイスアリーナなどを補強工事をして利用すれば良い。</p>  | <p>「真駒内アイスアリーナ」の補強については所有者である北海道が考えることとなりますが、札幌市が所有する体育施設については、将来の札幌を考えながら、有効に使っていただきたいと考えています。</p>  |
| <p>○冬にスケート靴などを無料にするのは良いと思う。</p>  | <p>小学校3年生を対象に、1シーズンに1度、スケート場を利用する際の貸靴料金の費用を軽減し、よりたくさんのお子さんがスケートを楽しむことができるようにしていく予定です。また、スキー場を利用する際のリフト料金を軽減する取組も行っていく予定です。</p>   |

| 意見の概要  | 市の考え方   |
|--|---|
| <p>○冬のスポーツをたくさん経験するために、スケート教室を開催したり、スキー場の数を増やしたりした方が良い。</p> <p>(類似意見 1件)</p> | <p>スケートを子どもたちに普及させるため、札幌市では毎年、小中学生を対象としたスケート教室を開催しています。スケート教室には、元オリンピック選手を講師にお招きしており、皆さんに興味を持ってもらえる内容になっています。なお、スキー場の数を増やすことは現在検討していませんが、貴重なご意見として参考にさせていただきます。</p> |
| <p>○スキー場を無料で利用できるようなすれば、たくさんの方が利用し楽しめると思う。また、野球観戦クーポンをもっと配ると良い。</p>          | <p>札幌市内の小学3年生を対象に、スキー場のリフト料金やスケート靴のレンタル料金の負担を軽くできるようにする事業を予定しています。また、ファイターズと札幌市の協働により、夏休み時期にファイターズの試合に小学生を無料招待するサポロキッズデーを実施しています。</p>                               |
| <p>○身近にある公園でスキーができれば良い。</p> <p>(類似意見 1件)</p>                                 | <p>市内には中島公園など一部の公園に歩くスキーコースを設けているほか、スキー山を備えた公園が100カ所以上あり、市民が気軽にウィンタースポーツに親しめる環境を整えています。冬の公園では歩くスキーを楽しんでいただくことも可能ですので、ぜひ利用してみてください。</p>                              |

#### ■ウィンタースポーツに親しめる場の創出

| 意見の概要   | 市の考え方   |
|---|---|
| <p>○屋内でもスキーなど冬のスポーツができる施設を増やしたら良いと思う。</p> <p>○全国で1番大きいスキー場をつくった方が良いと思う。</p> <p>○誰でも気軽に行けるようにいろいろなウィンタースポーツ施設を建設したら良い。</p> <p>(類似意見 16件)</p> | <p>ウィンタースポーツを楽しむことができる環境が整備されることは、より多くの市民が気軽にウィンタースポーツに触れられる機会を充実させ、雪と共存した冬の豊かな暮らしの実現にもつながると考えています。</p> <p>いただいたご意見は今後のスポーツ施設の在り方を検討していくに当たり、参考にさせていただきます。今後、スポーツの振興を図る立場から、関係する団体などに協力を働き掛けていきたいと考えています。</p> |
| <p>○スケート場の料金を無料にするなどすれば、よりスケートが広まると思う。</p>  | <p>スケート施設の利用料金は、中学生以下は無料となっていますが、よりスケートに親しんでもらうため、小学校3年生を対象に、1シーズンに1度、スケート貸靴料金を補助する取組を行い、スケート競技を広めていくことを考えています。</p>   |
| <p>○選手たちが使っている、スケートリンクやカーリング場を一般市民も使えるようにしたら良いと思う。</p>  | <p>現在、スケートリンクやカーリング場は、大会があるときや競技選手が専用で利用することがありますが、その時間以外は、一般市民が利用できる施設になっています。一般市民が利用できることはホームページなどでお知らせしていますが、市民の皆さんにもっと知ってもらえるようにしたいと思います。</p>   |
| <p>○高齢者が歩いて行ける距離に、スケート場やカーリング場などを建てて、お年寄りでも安全にスポーツができる環境を作ると良いと思う。</p>  | <p>今後、人口が減少し、併せて公共施設の更新需要が集中することが見込まれている中、スケート場などのスポーツ競技機能については、地域に広く分散配置するのではなく、利便性の高い拠点に効果的に配置することとしています。一方、今後進めていく「小学校へのコミュニティ機能の複合化」の中で、身近な健康づくりや運動を行える機能を確保していきます。</p>                                   |

| 意見の概要   | 市の考え方  |
|---|--|
| ○雪に関する施設がたくさんあると良い。   | 札幌市の体育施設では、南区に藤野野外スポーツ交流施設（フッスノーエリア）という施設があり、小さい子どもから大人までスキー、スノーボードそしてリージュを楽しめます。他にも市内には民間事業者が運営する冬のスポーツを楽しめる施設がたくさんありますので、ぜひ利用してください。   |
| ○冬のオリンピックやパラリンピックのジャンプ台などを活用して、遊びや違うものに活用したら良いと思う。  | 大倉山ジャンプ競技場を会場に、毎年ウインタースポーツフェスタを開催し、普段は入ることのできないランディングバーンを利用した「チューブすべり」など、子どもから大人まで楽しめる雪遊びイベントを実施しています。<br><br>オリンピックやパラリンピックで使用した競技施設は、競技以外にも、観光施設や市民が気軽に利用できる施設にしていきたいと考えています。                          |
| ○講師を女性にするなどして、ウインタースポーツを広めれば、女性の輝く社会につながるとともに、将来の札幌出身の女性スポーツ選手が増えて、冬季オリンピック・パラリンピック札幌開催への大きな一歩になると思う。 | 現在、講演会などにアスリートを講師として派遣するオリンピックズキャラバンという取組を行っており、女性アスリートの方にも大いに活躍していただいています。こうした取組は、スポーツ振興のみならず、ご意見にあるような女性の輝く社会の実現にもつながっていると思います。<br><br>今後も、様々なウインタースポーツ振興策を進めていく中で、男女問わず様々なアスリートの方に活躍していただくことを考えていきます。 |

#### ■除雪などの雪対策

| 意見の概要   | 市の考え方  |
|---|--|
| ○安心な暮らしのために除雪作業を行ってほしい。<br><br>○札幌はとても雪がたくさん降るため、除雪などの取組を大切にされた方が良くと思う。<br><br>○冬道の移動に時間がかかるなど、雪のデメリットを改善することで、さらに魅力あふれる札幌になるのではないかと。<br><br>(類似意見 19件) | 冬の安全な暮らしに欠かすことのできない雪対策を効果的かつ効率的に進めるため、冬の間いつ雪が降っても良いように、市内23地区に設けた除雪センターを24時間開設して、除雪作業に備えています。雪が10センチ以上降ったときは、通勤・通学時間に皆さんが道路を使えるように、深夜から朝までの間に除雪作業を行っています。  |
| ○冬の除雪を充実させて、児童・生徒が安全に登下校できるように、通学路をきちんと除雪してほしい。<br><br>(類似意見 2件)  | 小学校の周辺の通学路では、歩道用の除雪車が通れる幅があれば、歩道除雪を行っています。歩道除雪ができない場合でも、3学期が始まる前に、道路の脇に積み上げられた雪をダンプトラックに積んで運んでいます。<br><br>通学路も含めた冬の道路では、夏と同じように歩行者が歩ける幅を確保するのは難しいですが、除雪作業をする際には、人と車が通れる幅を確保するようにして、安全に配慮しています。さらに、27年度からは小学校の周りの交差点のうち、特に雪が多く積まれている場所を排雪する取組も始めます。 |

| 意見の概要   | 市の考え方  |
|---|--|
| <p>○身近に雪置き場をもっと増やしてほしい。</p> <p>○市民の協力で近隣の公園に雪を集めると良い。</p> <p>○除雪費用を減らすために、地域で雪かきをしたり、公園に雪を入れると良いと思う。</p> <p>(類似意見 3件)</p> | <p>市と町内会が使い方のルールを決めた公園については、地域の皆さんの雪置き場として使われています。そういった公園の数は年々増えており、今後もさらに町内会の希望に応じて使用できる公園を増やしていきます。</p> <p>地域で雪を処理することで、ダンプトラックに積んで運ぶ雪の量が少なくなり、除雪費を減らすことにもなります。</p>  |
| <p>○除雪をする際の雪を家の前に寄せるのではなく、近くの空き地などに排雪してほしい。</p>   | <p>札幌市全域に雪が降ると、市内で一斉に除雪をします。除雪の作業は、夜中から行いますが、朝までに皆さんが道路を使えるようにするには雪をかき分けるだけで精一杯です。</p> <p>そのため、皆さんには、除雪の後の家や車庫の前の雪かきをするようお願いしています。また、市と町内会が使い方のルールを決めた公園については、地域の皆さんの雪置き場として使われています。</p>   |
| <p>○冬の登下校の道が、雪山で狭くなったり、寒いときはつるつるで危険なので、地域の協力も得て対策をしてほしい。</p> <p>(類似意見 1件)</p>   | <p>学校などへの除雪スコップの貸し出しや、町内会への小型除雪機の貸し出しなど、除雪のボランティアの取組を広めています。また、冬の通学路が狭くなって滑りやすくなった場合に、地域の大人たちが子どもたちの登下校を見守ったり、みんなで道路に砂をまいたりして、子どもたちが安心して通学できるようにしていますし、27年度からは小学校の周りの交差点のうち、特に雪が多く積まれている場所の雪を取る取組も始めます。</p> <p>これからも、こうした取組が広まっていくよう、お知らせや呼び掛けをしていきます。</p> |
| <p>○ロードヒーティングの道路を増やしてほしい。</p> <p>(類似意見 7件)</p>  | <p>ロードヒーティングは、設置が古くなったときの修理、雪をとく燃料にたくさんのお金が掛かるので、急な坂道や急カーブだけに設置しています。ロードヒーティングを設置していない坂道では、滑り止めの砂や凍結防止剤をまいて安全性を確保しています。</p>  |
| <p>○冬の転倒事故などを減らすため、歩道橋にゴムチップマット（滑り止め）を付けたら良い。</p>   | <p>札幌市における道路施設の補修は、①長く使えること ②長期的に補修の費用が大きくなること ③毎年同じくらいの費用で補修が行えること ④市民の要望を取り入れること一の4つを大切にしながら実施しています。</p> <p>歩道橋については、長期的な視点で費用や耐久性などを検討し、補修工法や補修材料を選定しています。その際、全ての歩道橋でゴムチップ舗装とすることは費用の面で難しいので、人通りの多さなどに応じて採用しています。</p>                                   |
| <p>○冬の除雪について、道路に流雪溝を付けてほしい。</p>   | <p>流雪溝の建設要望は多いのですが、建設に多くの費用がかかるので、どこにでも建設できるものではありません。流雪溝を設置するには、水を引くことができ、交通量や人通りが多い道路であることが条件で、雪を入れる作業に沿道の皆さんの協力が必要です。</p>   |

| 意見の概要   | 市の考え方  |
|---|--|
| <p>○除雪車が置く雪の場所や高さを降雪量とともに計算してくれる「除雪専用カーナビ」を除雪車に付けると事故も減り、歩行者や運転手の不安も減らすことができると思う。</p>           | <p>「除雪専用カーナビ」のような技術は実現していませんが、作業状況を動画で記録するドライブレコーダーや、除雪機械の後ろを見ることができるバックモニターを除雪機械に取り付けて、除雪作業の効率化や安全を確保している事例があります。</p> |
| <p>○除雪費用についてもっと考えてほしい。</p>  | <p>限られた予算内で様々な事業を行っており、除雪費に関しては平年並みの降雪量に対応できるように予算を確保しています。冬の間大雪で費用が足りなくなった場合は、追加の予算を用意することとしています。</p>                 |
| <p>○65歳以上の方の家の前の雪を持って行ってあげれば良いと思う。</p> <p>○高齢者の方の雪かきをサポートするための仕組みが必要だと思う。</p> <p>(類似意見 13件)</p> | <p>高齢や障がいなどにより雪かきにお手伝いが必要となる方たちが安心して暮らせるよう、社会福祉協議会が中心となって、地域での支え合いによる雪かき支援などを行っています。</p>                               |

■学校でのウインタースポーツの推進

| 意見の概要  | 市の考え方  |
|--|--|
| <p>○バス代が高くなったことで、スキー学習が減ってしまうのはおかしいと思う。</p>  | <p>スキー学習を楽しみにしていた皆さんは、回数が減って残念に感じていると思いますが、教育委員会では、子どもたちが雪に親しんだり、雪がある暮らしについて理解したりすることは大切なことであると考えています。</p> <p>そこで、各学校では、様々な事情により十分にスキー学習ができない場合であっても、学校の周りの施設を利用した他のウインタースポーツや、地域と連携したアイスクャンドル作りといった取組など「北国札幌らしさを学ぶ【雪】」に関する様々な学習活動を引き続き進めていきたいと考えています。</p> |
| <p>○学校で札幌に関することを学んだり、冬のスポーツに触れたりする機会を増やす。</p> <p>○雪合戦など、学校で楽しめる行事をたくさん催す。</p> <p>(類似意見 7件)</p> | <p>スキー学習以外にも各学校で、スケートやスノーシューでの雪上歩行、雪像作りや雪合戦、雪中運動会など、雪やウインタースポーツに親しめるような取組をしており、今後も継続していきます。</p>  |
| <p>○雪かきボランティアを小学校の行事で行えるようにしてほしい。</p> <p>(類似意見 2件)</p>   | <p>児童生徒を対象に、除雪によって冬の間の体力向上を目指す「雪かき汗かきチャレンジ」の取組を進めており、近所のお年寄りのお宅の除雪をしている子どももいます。なお、雪かきをするときは、安全面などに十分注意してください。</p>  |

## 政策分野「産業・活力」

### 政策目標4 北海道経済の成長をけん引する街

#### 施策1:食の魅力を生かした産業の高度化

##### ■食関連産業の基盤強化

| 意見の概要   | 市の考え方   |
|---|---|
| ○ハンバーガー横丁やパフェ横丁などを作って、ネットで紹介すると良いと思う。                       | 札幌には魅力的なお店がいろいろあり、それらを紹介することによってもっとにぎわいが生まれるので、とても良いことだと思います。札幌市が横丁をつくるのは難しいですが、例えば、商店街では食べ物に着目したイベントを開催しているので、興味があったらインターネットなどで調べてみてください。  |
| ○札幌の食材を使った料理のコンテストを開いて、優勝した料理をホテルなどで取り入れる。<br><br>(類似意見 1件) | 地元の食材が地元でおいしく消費されて、観光客の皆さんにも知ってもらえることは素晴らしいことだと思います。料理のコンテストは札幌でたくさん開かれていますので、興味があれば調べてみてください。  |
| ○食の安全・安心の取組などを行うことが大切だと思う。                                  | 札幌を安全で安心な食のまちにするため、自らが衛生管理を進める取組の推進や「食の安全・安心」をテーマとした総合イベントなどを実施しています。また、外国語メニューを用意しているお店の紹介を平成27年度から行っています。                                 |
| ○タマネギの「札幌黄」を活用すると良いと思う。                                     | 札幌黄は、熱を加えることで甘みが増すといった特徴のあるタマネギで、カレーやシチューに入れるととてもおいしくなります。札幌にもこうした魅力的な農産物があるということをもっと多くの方に知ってもらえるよう、ホームページやイベントなどでPRしていきます。                 |
| ○若者を呼ぶために、大通公園のトウモロコシを使ったスイーツを作ると良い。<br><br>(類似意見 1件)       | とても良いアイデアだと思います。札幌を代表するスイーツを決めるコンテスト（さっぽろスイーツコンペティション）を毎年行っていますが、トウモロコシを使ったお菓子もグラブりに輝いています。これからも、札幌をイメージするお菓子作りや、北海道の特産品を使ったお菓子作りを応援していきます。 |
| ○トウモロコシ専門のレストランなどを造ると良い。                                    | 特色あるレストランが増えれば、市民や観光客に喜んでもらえると思います。これからも魅力的なお店を増やせるよう努めていきます。   |

##### ■道内外とのヒト・モノ・情報の流れを活性化

| 意見の概要                           | 市の考え方  |
|---------------------------------|--|
| ○魅力的な建物やお店を造る。<br><br>(類似意見 5件) | 人や建物・文化などの街の資源が魅力的であることは、街全体の魅力につながると思います。<br><br>魅力的な建物やお店をこれからも増やしていくことはとても大切ですが、札幌には魅力的な建物やお店がたくさんありますので、これらを将来に向かって大切にしていくことも重要だと考えています。 |
| ○全国に展開しているお店を札幌に出店させれば活気つくと思う。  | 全国展開の有名店が増えることは、街全体の魅力につながると思います。また、札幌にしかない魅力的なお店がどんどん増えれば、市民や観光客にとって、札幌がより魅力的な街になると考えています。  |

## 施策2:魅力あるまちづくりと観光振興の一体的推進

| 意見の概要  | 市の考え方   |
|--|---|
| ○観光を振興するための募金を集めて活用すれば良いと思う。                   | ご意見のように、市民の皆さんが札幌の観光を振興するために様々な取組を行っていくことは、とても大切なことだと思います。募金の形だけではなく、様々な取組があると思いますので、市民の皆さんが、いろいろな関わり方ができるよう、札幌市でも検討していきたいと考えています。  |
| ○動物園などに多くの人に来てもらえるよう、独自の割引制度や、他と違う取組をすれば良いと思う。 | 円山動物園では、割引制度として、正月三が日無料や、高校生以上の学生を対象とした割引期間を設けるといった取組を行っています。また、他団体や企業との協賛事業などにも積極的に参加しており、動物園外でもパンフレットやチラシを配るなどし、幅広い客層へのPRを続けています。 |

### ■外国人観光客の受入環境の整備

| 意見の概要   | 市の考え方   |
|---|---|
| ○外国人観光客が増えると、ごみが増えたり、様々な言語に対応しなくてはならなかったりするので、そうした面での工夫をしてほしい。                      | これまでも、外国人観光客向けに札幌の文化・習慣、生活マナーを紹介する動画や小冊子を制作し、宿泊施設、観光案内所、レンタカー会社などを通じて配布するなど、言語などへの対応について様々な取組を行っています。今後もこうした取組を続けていきます。   |
| ○外国人観光客を増やすために、タクシー運転手などが外国語を話せるようにすると良いと思う。  | 研修会などを通じて外国語が話せるタクシー運転手の育成を支援していますが、今後も検討を重ね外国人観光客の滞在中の満足度を高めるための環境整備に取り組んでいきます。  |
| ○イスラム圏の観光客を増やすため、ハラール対応のお店を増やすと良いと思う。   | 平成26年度から、ムスリム旅行者向けの北海道・札幌らしい食事メニューのレシピの開発を行うとともに、ムスリム旅行者向けに食事を提供するお店を増やそうとしています。また、ムスリム旅行者向けの食事メニューを提供するお店の情報を専用のホームページで紹介しています。  |
| ○より外国の観光客が快適に過ごすためには、Wi-Fiや外国語表示の看板の設備などがたくさん必要だと思う。                                | 近年増加している外国人の個人観光客にリピーターとなるためには、Wi-Fi整備を通じて情報を得やすくするなど、札幌観光をより快適にする取組が重要だと考えています。<br>そのため、平成27年度には、地下鉄主要駅、大通公園、札幌コンベンションセンターなどで利用できるWi-Fiを整備しました。今後は民間施設でのWi-Fi整備も広めていきたいと考えています。<br>また、外国語の案内板は、今後調査を行い、必要に応じて増やしていく予定です。 |
| ○最近、中国人や観光客が多く見られ、街が潤ってきたと感じる一方、外国人に道を聞かれることも増えてきた。外国人の方に気持ちの良い旅を楽しんでもらえる対策が必要だと思う。 | 観光客をおもてなしする取組として、アクションプランでは「おもてなし・人材育成事業」を盛り込んでおり、外国人観光客をおもてなしする市民意識の啓発や事業者のサービスアップの促進に取り組んでいきます。   |
| ○外国人旅行者を増やすために、おもてなしをすることは大切だと思う。雪を利用したり、さっぽろ雪まつりやジャンプ台などを活用したりしてアピールすると良いと思う。      | 観光客をおもてなしする取組やおもてなし意識の啓発などは、今度も検討を重ね対応していきたいと思います。また、札幌の冬の魅力を発信するため、パンフレットやポスター、ホームページなどで積極的に情報発信を行っていきます。  |

| 意見の概要   | 市の考え方  |
|---|--|
| ○北海道ならではのものをちょっとしたサービスで観光客に提供すると良いと思う。                  | 海外で開催される旅行博の来場者や新千歳空港に新規就航する国際定期便の乗客などにサッポロスマイルのロゴが入ったグッズや雪まつりグッズなどを提供しています。 |
| ○外国人観光客が来ることで景気は良くなるが、マナーの悪さで市民が迷惑しているので、その対策に取り組んでほしい。 | 外国人観光客の方に向けて、観光アプリで日本文化や札幌で観光する際のマナーについて情報発信を行っており、今後も継続して実施していきます。          |

#### ■通訳ガイドやアプリの充実

| 意見の概要   | 市の考え方   |
|---|---|
| ○外国人が安心して観光ができるように、通訳ガイドを増やすと良い。<br><br>○札幌の魅力を伝えリピーターを増やすために、英語や中国語の通訳ガイドを増やすと良いと思う。<br><br>(類似意見 5件)  | JR札幌駅西口に北海道さっぽろ観光案内所を設置し、英語、中国語、韓国語での観光案内を実施しています。また、札幌市内で報酬を得て、外国人に付き添い、外国語を用いて旅行に関する案内をすることができる札幌特区通訳案内士制度を創設し、現在、英語、中国語、韓国語、タイ語での案内士が登録しているところですが、今後も外国語が話せるガイドのより一層の活用について検討していきます。   |
| ○外国人観光客向けのサービスとして、携帯電話を活用した位置情報サービスや、ホームページの外国語表記などを行うと、外国人観光客が増えると思う。<br><br>○多言語を話せる人を増やすとともに、タクシー用の翻訳アプリや、個人用の札幌ガイド翻訳アプリなどをつくると良いと思う。<br><br>(類似意見 1件) | 公式観光サイト「ようこそさっぽろ」では、札幌市内や周辺地域で楽しめる観光スポットやイベント、食、自然、アクティビティなどの情報を6言語（日本語、英語、中国語（簡体字・繁体字）、韓国語、タイ語）で提供しています。また、公式観光アプリ「札幌いんふぉ」でも6言語に対応した地図情報や施設を始めとした観光情報を提供しています。さらには、平成27年度には地下鉄主要駅や大通公園などにWi-Fiを整備し、外国人観光客にとって情報が得やすくなりました。<br><br>今後も情報内容を充実させながら、札幌を訪れる方のニーズに添えていけるよう努めていきます。 |

#### ■外国語に対応した案内標識の充実

| 意見の概要   | 市の考え方   |
|---|---|
| ○外国人観光客が快適に過ごせるよう、外国語の標識を増やせば良いと思う。<br><br>○札幌駅に案内看板やいろいろな言語に訳せるバーコードなどの標識を付けると良いと思う。<br><br>○ショッピングセンターなどに外国語の看板を設置すると外国人の方も移動が楽になり、観光客が増えると思う。<br><br>(類似意見 8件) | 外国語の案内板は、今後調査を行い、必要に応じて増やしていく予定です。また、ショッピングセンターなどの商業施設でも、外国人の方に向けた案内の充実などに力を入れ始めています。<br><br>分かりやすい観光案内のためには、標識以外にも、観光案内所や外国語のパンフレットなど、様々な対応が必要であることから、総合的な受入環境の整備を検討し、進めていきます。 |
| ○外国人観光客が困らないように、英語、韓国語などの電光掲示板をデパートなどに置くと良い。  | デパートなどの掲示は、それぞれのお店が設置するものですが、外国人の方にも使いやすいお店のサービス、外国語の案内板などを進めるため、企業の方々と協議をして、受入環境の整備を進めていきます。   |

| 意見の概要                          | 市の考え方   |
|--------------------------------|---|
| ○道路標識をローマ字表記から英語表記に変えた方が良いと思う。 | 昨年、国と協力して、外国人旅行者にも分かりやすくするため、都心部の道路標識の英語表記を改善しました。なお、市内には多くの標識があり、一度に改善を進めることは、費用の面からも難しいですが、新しく設置する標識や古くなり交換が必要な標識について、できることから改善を進めています。 |

■外国語に対応したパンフレット

| 意見の概要   | 市の考え方   |
|---|---|
| ○札幌の魅力を載せた外国語表記のポスターやパンフレットを作ることが大切だと思う。<br>○札幌の良さを伝えるパンフレットをたくさん作って世界に発信することで、経済力が上がると思う。<br>(類似意見 3件) | これまでも、札幌市の観光パンフレットは、日本語、英語、中国語（簡体字・繁体字）、韓国語、タイ語、インドネシア語の7言語に対応し、観光マップは、日本語、英語、中国語（簡体字・繁体字）、韓国語、タイ語の6言語に対応するなど、多言語での表記を行っています。パンフレットなどについては、今後も検討を重ね、さらに札幌市の魅力が伝わり、外国人観光客にとって利用しやすい対応をしていきたいと思いをします。 |

■外国人向けのツアーや店舗の充実

| 意見の概要   | 市の考え方  |
|---|--|
| ○外国人観光客向けの札幌の魅力を詰め込んだお店やホテルを作り、ツアーなどを行う。<br>○外国人観光客が楽しめる夜のスポットをつくとともに、夜の間子どもを預けられる場所もつくと良いと思う。<br>(類似意見 1件) | いただいたご意見のような新しい取組を行うためには、札幌市だけではなく、民間の事業者の力が必要になります。そのため、札幌の新たな魅力を創出し、磨き上げる取組を行う民間事業者に対し、補助金を交付し、観光資源の充実に努めています。 |
| ○外国人観光客向けの飲食店などを増やすと良い。<br>○ホテルには、外国人観光客のために、英語などを話せるスタッフを置くと良いと思う。<br>(類似意見 9件)                            | 外国人観光客とコミュニケーションを円滑に行えるよう、外国語コミュニケーション講座などを実施していきます。   |
| ○交通機関や宿泊施設の料金を安くした観光ツアーを用意して参加を募れば、多くの方が参加すると思う。  | これまでも交通機関、旅行会社、ホテルなどと連携し魅力的な観光ツアーの商品をつくるなど様々な取組を進めていますが、今後も検討を重ね、より多くの方に札幌を訪れていただけるようしっかりと対応していきたいと思いをします。       |
| ○市内の有名な場所を巡るツアーなどを企画し、観光客を増やせば良いと思う。<br>(類似意見 1件)   | 海外の旅行会社を札幌に招待し、観光スポットを視察してもらうことで、ツアーなど旅行商品の造成を働き掛けています。今後も札幌の魅力的な観光資源を組み込んだツアーが増えるよう、働き掛けていきます。                  |

■宿泊環境の整備

| 意見の概要   | 市の考え方  |
|---|--|
| <p>○宿泊施設はこれから増やしていかないと足りなくなると思う。</p> <p>○外国人観光客が快適に泊まれるホテルを増やすことが必要だと思う。</p> <p>○部屋のグレードアップより、ホテルの建て替えを支援した方が良い。</p> <p>○ホテルの建て替えなどを支援することは良いと思う。</p> <p>(類似意見 37件)</p>                       | <p>最近、外国人観光客が非常に増えていますが、これらのお客様に快適に過ごしていただくための環境づくりが課題となっています。</p> <p>ホテルなど宿泊施設の充実については、調査を行い、泊まることを増やすための取組やグレードアップ支援について検討することとしています。</p>  |
| <p>○ホテルは今でも十分快適だと思うので、お金を使わなくてもいいのではと思う。</p> <p>(類似意見 2件)</p>   | <p>最近、外国人観光客が非常に増えていますが、これらのお客様に快適に過ごしていただくための環境づくりが課題となっています。特に、宿泊施設の充実については、外国人観光客の要望も強いことから、これに対応するための取組としてホテルの客室のグレードアップ改修に対する支援策を検討していく必要があると考えています。</p>  |
| <p>○街にもっとホテルを増やしたり、イスラム教のための祈り室などを作ったりすれば良いと思う。</p> <p>(類似意見 1件)</p>  | <p>今後、ホテルなど宿泊施設についての調査を行い、泊まることを増やすための取組について検討することとしています。</p> <p>また、イスラム教の観光客向けのお祈りの場については、例えば札幌国際プラザが、礼拝する方向を示す「キブラ」を作成し、市内のホテルへ配布したり、さっぽろ雪まつり会場内に礼拝スペースを設置したりしていますが、今後も情報提供などを通じて、市内事業者への理解促進を図っていきます。</p> |
| <p>○ホテルの建て替え支援は良い取組だとは思いますが、建て替えにはお金が掛かるので、中の部屋を少しだけアレンジしたり、おしゃれにしたりすることを支援した方が良いと思う。</p> <p>○他のホテルとは違う、札幌にしかないホテルを造るとともに、外国人観光客と札幌市民が交流し、お互いの文化を知ることができるようにすることが大事だと思う。</p> <p>(類似意見 2件)</p> | <p>ホテルなど宿泊施設の充実に対する支援については、今後、調査を行った上で、どのような支援をするかも含めて検討していくことにしています。いただいたご意見は参考にさせていただきます。</p>  |
| <p>○ホテルの建て替えや新築などは良いことだと思うが、宿泊費などが高額だったら行くことができないので、安くした方が良く思う。</p>   | <p>宿泊費が安いと観光客の方がたくさん泊まれる一方で、ホテルの経営が難しくなる可能性もあります。ホテルへの支援については、今後調査を行った上で、検討していくことにしています。</p>   |

| 意見の概要  | 市の考え方   |
|--|---|
| <p>○ホテルの支援に税金を使ってほしくない。ホテルはすぐに古くなるし、全てについて支援していたら大変なお金が掛かる。</p> <p>○借金のコントロールができていないのに、ホテルの建て替えの支援にお金を使うのは良くないと思う。</p> | <p>観光は、ホテルや飲食店、お土産店など幅広い分野にまたがる産業であると言われており、多くの観光客が札幌に来ると、様々なお店の売り上げが伸び、札幌の経済に良い影響を与えると考えられます。</p> <p>特に、ホテルの充実、多くの観光客を呼び込むために重要であることから、今回、限られたお金を効果的に使うための取組として、ホテルへの支援を検討しているところです。</p> |

#### ■雪まつり

| 意見の概要  | 市の考え方   |
|--|---|
| <p>○札幌市は雪まつりが世界的にも有名なので、雪まつりの良さをネットなどで広めてほしい。</p> <p>(類似意見 1件)</p>   | <p>雪まつりの情報を広めるために、公式ホームページを開設しています。外国人の方向けに、日本語の他に英語、中国語（繁体字・簡体字）、韓国語のページもあります。</p>   |
| <p>○雪まつりなどで寒さの我慢大会を開くと良いと思う。</p>   | <p>今のところ、そのような我慢大会を開催する予定はありませんが、いただいたご意見は参考とさせていただきます。</p>   |
| <p>○雪まつりを前期と後期に分けてはどうか。</p>  | <p>雪まつりの開催のためには、雪像の制作が必要です。雪の降り始めの時期には、雪像を作るための雪はありませんし、雪が融けはじめてからでは、雪像はすぐに壊れてしまうので、2月の月上旬から中旬に開催しています。</p>                             |
| <p>○初心者でも簡単にできるスケートを雪まつり会場で行うと良い。</p> <p>○雪まつりなど、多くの人が集まるイベントなどで、札幌ならではの体験（スケートやカーリング）ができるようにすると良い。</p> <p>(類似意見 1件)</p> | <p>雪まつりの大通1丁目会場では、雪まつりに合わせてスケートリンクを設置して、市民や観光客の皆さんに楽しんでもらえるようにしています。</p>  |
| <p>○さっぽろ雪まつりを子どものうちに市民に体験させるべき。</p>  | <p>雪まつりの中でも、特につどーむ会場には子どもが楽しめるような体験型のアトラクションをたくさん用意しています。また、雪まつりを知ってもらうために、小学校1・2年生向けの環境副教材でも雪まつりを取り上げています。</p>                         |
| <p>○雪まつりの期間を延ばすとともに、雪像を増やせば観光客が増えると思う。</p>   | <p>平成28年2月の雪まつりから、つどーむ会場の会期を7日間延長します。</p> <p>なお、雪像を増やすためには、会場を拡大したり雪像を作るためのお金や人手を増やしたりする必要があります。限られたお金の中でできる最大限の規模で今の雪まつりは開催されています。</p> |
| <p>○雪まつりについて、大型雪像を世界的にも有名なキャラクターにするなどの取組を行い、外国人観光客を増やすと良いと思う。</p>  | <p>雪まつりでは、これまでも「ワンピース」「ちびまる子ちゃん」「スターウォーズ」といった世界的にも有名なアニメ・キャラクターをテーマとした大雪像を制作してきました。</p>   |

| 意見の概要  | 市の考え方   |
|--|---|
| <p>○今年は暖冬で例年よりも積雪量が少ない可能性があるため、「さっぽろ雪まつり」の経済効果をどこで取り戻すのかを、早めに検討しておいた方が良いと思う。</p> | <p>雪まつりでは、暖冬による小雪などにも対応して雪像を制作できるように、様々な対策を立てて運営しています。また、天候の良い悪いに関わらず、ここ数年は240万人前後のお客様に会場いただけている状況であり、安定的に経済効果をもたらすことができていると考えています。</p> |

#### ■オータムフェスト

| 意見の概要   | 市の考え方  |
|---|--|
| <p>○オータムフェストの会場内の通路をもう少し広くしてほしい。</p>  | <p>オータムフェストの会場内の通路については、安全にイベントを開催するために必要な幅を確保していますが、会場を拡大して座席数を増やしたり、開催期間を延長したりするなどして、混雑を緩和して落ち着いて飲食できるような工夫をしているところです。</p>                   |
| <p>○オータムフェストを札幌だけでなく、北海道、全国に広げて行うと良い。</p>   | <p>札幌市や北海道の魅力を日本全国に伝えるため、道外のデパートやショッピングモールを中心に、「ミニ」オータムフェストを実施しています。また、札幌市以外でも、道内の色々なところで地元の食を楽しめるオータムフェストのようなイベントを開催していますので、ぜひ出かけてみてください。</p> |
| <p>○オータムフェストなどのイベント会場におけるカラス対策が必要。例えば、鷹匠に鷹を飛ばしてもらうことは、カラス除けになると同時に、パフォーマンスとしても楽しんでもらえるので一石二鳥だと思う。</p> | <p>オータムフェストなど、大通公園における食を楽しめるイベントでのカラス対策は必要であると考えているところです。イベントに来られている方が安心して楽しめる方法を検討していきたいと思います。</p>  |

#### ■観光イベント

| 意見の概要  | 市の考え方   |
|--|---|
| <p>○雪まつりのような札幌でしかできないイベントや四季を感じられる恒例行事をもっと増やしていけば良いと思う。</p> <p>○秋の観光客が落ち込む時期には、時計台と紅葉、北大キャンパスの中の銀杏などの魅力を世界中にPRしたり、オータムフェスト以外のイベントを実施したりすると良いと思う。</p> <p>○観光客に来てもらうため、雪まつりのような大きなイベントを数多く開いて、札幌の魅力を紹介する機会も作ると良い。その際には、初心者でも体験できるウィンタースポーツイベントも必要だと思う。</p> <p>(類似意見 27件)</p> | <p>大通公園では一年間を通じて札幌独自のイベントを開催しており、観光客が落ち込む秋から冬にかけては、「オータムフェスト」のほか「さっぽろ菊まつり」「さっぽろホワイトイルミネーション」「さっぽろ雪まつり」といったイベントを行っています。</p> <p>特に平成27年からは、イルミネーションをリニューアルし、これまで以上に市民や観光客の皆さんに楽しんでもらえる内容としています。</p> <p>また、雪まつり的大通1丁目会場では、雪まつりに合わせてスケートリンクを設置して、市民や観光客の皆さんに楽しんでもらえるようにしています。</p> |
| <p>○もっと雪を生かすために、「雪中運動会」など、雪まつりのほかにも雪のイベントを増やしたら良いと思う。</p> <p>(類似意見 2件)</p>   | <p>雪まつり終了後の大通公園では、大雪像の雪を再利用し、バイアスロンやキッズスノーボードなどを楽しめる「ウィンタースポーツフェスティバル」を開催しているほか、滝野すずらん丘陵公園では尻滑りなど幼児でも安全に雪遊びができるイベントを行っています。</p> <p>この他、市内では様々な雪を楽しめるイベントが開催されていますので、遊びに行ってみてください。</p>   |

| 意見の概要  | 市の考え方   |
|--|---|
| ○冬のイルミネーションでキャラクターなどを作れば良い。お客さんがたくさん来るところに子どももたくさん来て、遊べるようにできれば良い。 | さっぽろホワイトイルミネーションには公式キャラクターはいませんので、参考にしたいと思います。また、子どもも楽しめるような場所を作れるように、考えていきたいと思います。                                   |
| ○雪まつりやオータムフェストなどの出店看板には英語表記を増やすと良いと思う。                             | イベントのホームページやガイドブックでは、日本語のほかに英語や中国語、韓国語など外国語のものも作成しています。看板などでも、外国人の方が分かりやすくなるように工夫していきたいと思います。                         |
| ○大通での夏のお祭りを増やした方が良い。   | 夏の大通公園では、6月にYOSAKOIソーラン祭りや花フェスタ、7月～8月にはピアガーデン、8月には盆踊りを開催しているので、大通公園に空きがない状況です。  |
| ○ピアガーデンやオータムフェストなどで、英語、韓国語、中国語の表示を増やすべき。                           | 外国人観光客が多い雪まつりを中心に、英語や中国語、韓国語などに対応したホームページやガイドブックを作成しています。これからは、雪まつり以外のイベントにおいても、外国人観光客にとって分かりやすい会場づくりを進めていきたいと思っています。 |

#### ■観光スポット・観光資源の創出・魅力アップ

| 意見の概要  | 市の考え方  |
|--|--|
| ○外国人観光客に来てもらうため、日本だけにある魅力的な観光資源を増やすと良いと思う。<br><br>○札幌に外国人を呼ぶには、もっと和風の雰囲気を出したら良いと思う。<br><br>(類似意見 2件)                     | 増加を続ける外国人観光客を始め、近年多様化している観光客のニーズに応えるため、地域独自の魅力を観光資源として育て、発信していく取組を行っています。<br><br>その一環として、昔ながらの街並が残る日本的な歴史を感じられる鴨々川・中島公園エリアの魅力を再発掘し、和の雰囲気を味わっていただける新たな観光スポットづくりに努めています。 |
| ○観光客を増やすため、札幌ならではの観光スポットをつくれれば良いと思う。<br><br>○市民や観光客が年齢に関係なく楽しむことができたり、レストランやカフェなど休憩できたりするところがあると良いと思う。<br><br>(類似意見 13件) | 観光スポットを増やすためには、札幌市だけではなく、民間の事業者の力が必要になります。そのため、札幌市では札幌の新たな魅力を創出し、磨き上げる取組を行う民間事業者に対し、補助金を交付し、観光スポットづくりに努めています。  |
| ○大型テーマパークをつくれれば観光客を増やすことができる。<br><br>○札幌近郊で遊園地をつくってほしい。<br><br>(類似意見 11件)  | テーマパークなどを作るには、企業が中心となって実施する必要があります。<br>現在も札幌ならではの魅力的な観光スポットや観光施設が数多くありますので、これらの札幌の強みを活かしながら、さらなる魅力アップを進めていきたいと思っています。  |

| 意見の概要   | 市の考え方   |
|---|---|
| <p>○札幌市を魅力的にするために、東京スカイツリーのように、大きな建物を造ってはどうか。</p> <p>○外国人観光客を魅了するような施設を建設すれば良いと思う。</p> <p>(類似意見 10件)</p>  | <p>大きな建物を造るには、たくさんの費用が掛かるため、再開発など大規模なまちづくりの動きに合わせて検討し、市役所だけでなく企業などと協力して実施することになります。</p> <p>現在も札幌ならではの魅力的な観光スポットや観光施設が数多くありますので、これらの札幌の強みを生かしながら、さらなる魅力アップを進めていきたいと思えます。</p>   |
| <p>○温泉を増やしたり、緑を増やしたりしたら動植物目当ての観光客が増えると思う。</p>   | <p>アクションプランでは「定山溪地区魅力アップ事業」を盛り込んでおり、温泉のほか、周辺の豊かな自然環境やアクティビティなどの魅力を生かして、観光客の誘致に努めていきます。</p>  |
| <p>○紅葉がきれいな場所などでは、ホットドリンクを無料にすると、もっと人が集まると思う。</p>   | <p>飲料の提供や観光客への給仕などは、企業と市民の皆さんと一緒に来て訪者をもてなす取組の一つとして、考えられるものだと思います。</p> <p>例えば、雪まつりなどでは、タイムサービスとして無料でホットドリンクを提供している例があります。</p> <p>一方、札幌市がホットドリンクを無料配布することは、費用が掛かることはもちろん、周辺でホットドリンクを販売する民間事業者とも競合してしまうことから、慎重に考えるべきだと考えます。</p>  |
| <p>○市有施設を観光客や市民に開放すると良いと思う。</p> <p>○外国人観光客は施設利用料を無料にすることで札幌の良いところをたくさん知ってもらい、「また来たい」と思ってもらえるようにしたら良い。</p>   | <p>施設の料金を無料にすると、多くの方に利用いただける一方で、施設の収入は減ってしまうことを考慮する必要があります。外国人観光客の方の満足度を高める工夫をすることは大事ですので、「また来たい」と思ってもらえる取組を検討していきたいと思えます。</p>  |
| <p>○お店の人が笑顔で対応すると良いと思う。</p>   | <p>アクションプランでは、「おもてなし・人材育成事業」をリーディングプロジェクトの一つとして位置付けており、今後、市民・企業・行政が一丸となり、街全体で観光客を受け入れる機運を醸成する取組を進めていきます。</p>  |
| <p>○人が集まる場所で、札幌の歴史や文化を学べる活動をするべきだと思う。</p>   | <p>「さっぽろアートステージ」など、人が集まる場所で文化芸術イベントを開催したり、札幌の歴史や文化を伝える文化財を実際に見て学んだりしてもらおう取組などを行っています。</p> <p>また、北1条西1丁目に開設し、平成30年度の供用開始を予定している「図書・情報館」では、札幌の歴史や文化を学べる資料を所蔵する予定です。</p> <p>これからも、札幌の街の魅力や特色をできるだけ多くの人に楽しく学んでもらえる取組を考えていきます。</p> |
| <p>○近くに山や海があり、紅葉もきれいな札幌の魅力を生かすため、写真スポットを作ると良いと思う。口コミでも広まると思う。</p> <p>○北大の銀杏並木など、駅の近くで紅葉のきれいな場所に写真スポットを設けると観光客が増えると思う。また、紅葉スポットを掲載したパンフレットも札幌駅に配架すると良いと思う。</p> | <p>写真スポットの選定方法や設置の可能性など、慎重に検討しなければなりません。札幌の新たな魅力発信の手法の一つとして参考にさせていただきます。</p> <p>なお、札幌市の公式観光サイト「ようこそさっぽろ」では、札幌市内や周辺地域で楽しめる観光スポットやイベント、食、自然、アクティビティなどの情報を幅広く提供しており、紅葉スポットについても特集を組んで紹介しています。</p>                                |

| 意見の概要  | 市の考え方  |
|--|--|
| ○道外からの観光客により来てもらうため、公共施設などをより魅力的にすると良いと思う。                 | 今ある観光施設や観光スポットなどについては、イベントを開催したり修理したりして、魅力を高めていきたいと思えます。   |
| ○都市の魅力を高めるために、北海道ならではの雪や寒さを活用すると良いと思う。                     | これまでさっぽろ雪まつりやウィンタースポーツを体験していただくイベントなど雪の魅力を活用した取組を進めています。今後も、札幌ならではの魅力を生かした多くの観光客を引き付ける魅力ある街となるような取組を進めていきます。                               |
| ○大通には美味しくて有名なグルメが増えてきているので、そうした長所を伸ばすことが街の活性化につながるのではないかと。 | 食の魅力を発信する取組の一つとして「さっぽろ美食ツーリズム」の取組を進めており、北海道内から集まる新鮮な食材を使った、作り手の顔の見える料理を提供している「美食のまち」として札幌の魅力を広くPRしています。                                    |
| ○より都市化を進めていくことが、観光客を呼び寄せることになると思う。                         | 買い物や夜の観光など、札幌が都会であることによって楽しめる魅力は観光客の方に人気です。一方で、札幌の魅力は「都市」と「自然」が隣り合っていることだと評価する人もたくさんいます。札幌らしい魅力を積極的にPRして、観光客の方にたくさん来てもらえるよう取り組んでいきたいと思えます。 |

#### ■観光プロモーション

| 意見の概要  | 市の考え方   |
|--|---|
| ○札幌出身の芸能人の方にCMで札幌のPRをしてもらおうと良いと思う。<br><br>(類似意見 1件)  | これまで海外で放映される旅行番組や実施されるイベントに札幌出身のタレントを活用しています。今後も継続的に札幌のPRを行っていただける方との連携を深めていきます。  |
| ○動画やホームページ、ポスターなどで、食などの魅力を伝えることが大切だと思う。<br><br>○札幌の食や観光イベント・観光スポットをパンフレットやネットで世界にPRしていけば良いと思う。<br><br>○テレビ塔や時計台などの観光名所をPRすると、札幌が繁栄すると思う。<br><br>○SNSなどを利用して札幌の魅力を発信すると良いと思う。<br><br>(類似意見 27件) | 札幌の魅力を国内外の方々に広く伝えるため、パンフレットやポスター、ガイドブック、ホームページなど様々な方法で積極的に情報発信を行っています。<br><br>特に、札幌市の公式観光サイト「ようこそさっぽろ」では、市内の観光スポットやイベント、食、自然、アクティビティなどの情報を、6言語（日本語、英語、中国語（簡体字・繁体字）、韓国語、タイ語）で提供しており、平成27年度からはインドネシア語にも対応する予定です。<br><br>また、ツイッター、フェイスブックでも公式アカウントによる積極的な情報発信を行っています。今後も観光客のニーズに応える情報発信に努めていきます。 |
| ○外国人になじみ深い文化と札幌に特有の文化を混ぜて体験してもらう。  | 例えば、札幌国際プラザでは、雪まつり期間中に外国人の方に着付けや書道、茶道などの日本文化を体験していただく「おもてなしウィーク」を開催しています。その他、外国人観光客のニーズに応えられるような事業を創出する事業者に対して補助を行うなど、札幌ならではの魅力を生かした観光資源の発掘や磨き上げに努めています。いただいたご意見は参考にさせていただきます。  |

| 意見の概要  | 市の考え方   |
|--|---|
| <p>○札幌好きの外国人に時計台やテレビ塔の良いところを、Youtubeにアップしてもらえば良いと思う。</p> <p>○札幌を訪れた外国人に密着するような番組を作って放送したら良いと思う。</p> <p>(類似意見 7件)</p> | <p>海外のブロガーやユーチューバー、記者などを札幌に招待して、札幌の良さを海外の方々の視点から体感し、札幌の観光映像をブログやYoutube、新聞記事などにより情報発信していただく取組を実施しています。今後は、市内在住の外国人による情報発信についても検討をしていきたいと思いをします。</p>         |
| <p>○休憩施設などに日本の和を伝えたり、札幌にしかないものをふるまったりすることで国内外の観光客にPRすることができると思う。</p>   | <p>雪まつり期間中に外国人の方に着付けや書道などの日本文化を体験していただく「おもてなしウィーク」を札幌国際プラザで開催しているほか、国際会議や国際大会に海外から参加される方々に、市長からのメッセージカードや鶴の折り紙を配布するなど、和の雰囲気とおもてなしの気持ちが伝わるような取組を実施しています。</p> |
| <p>○雪を使った行事や大会を全国や海外に知らせるための掲示板を置くと観光客が増えると思う。</p>   | <p>これまで、JR札幌駅西口の北海道さっぽろ観光案内所や大通交流拠点地下広場の大通情報ステーションなどで札幌市内のイベントなどの情報提供を行っているところですが、今後もより効果的な情報提供の仕方について検討していきます。</p>   |
| <p>○藻岩山の魅力を伝えるポスターを掲示すると良いと思う。</p>   | <p>藻岩山のポスターにつきましては、もいわ山ロープウェイを運行している株式会社札幌振興公社で作成しており、観光案内所や地下鉄駅などに掲示しています。</p>   |
| <p>○観光客が楽しめるような仕事での高齢化が進んでいるため、スポーツの体験学習をするための施設や札幌の文化の良いところを伝えるガイドの仕事などで、若い人にも働いてもらえるよう呼び掛けた方が良い。</p>               | <p>観光案内などを担っていただくボランティアの活動を支援しているほか、地域のスポーツイベントの運営などにご協力いただける方を「スポーツ推進員」として委嘱しています。これらの取組に若い人たちも参加、協力いただけるよう、今後とも広くPRしていきたいと考えています。</p>                     |
| <p>○札幌の魅力を世界に発信するために、買物袋に札幌の広告を入れるなどすると良いと思う。</p>  | <p>例えば、札幌商工会議所では、免税店に対して外国人旅行者向け消費税免税販売用「包装袋・開封防止テープ」を販売していますが、そのパッケージをサッポロスマイルマークのデザインにするなどの取組を行っているところです。今後は検討を重ね、より札幌市の魅力が伝わるようしっかりと対応していきたいと思いをします。</p> |
| <p>○外国人に、ホテルやお土産などで日本ならではの文化・名物をアピールすれば、観光客が増えると思う。</p>  | <p>外国人目線での観光の面白みや新鮮さを伝えるため、外国人記者によるストーリー性を重視したエッセイ形式の記事ときれいな写真で札幌を紹介する冊子を作成し、国内外のホテルやカフェなどで札幌の魅力の発信を行う予定ですが、今後は検討を重ね、より札幌の魅力が伝わるようしっかりと対応していきたいと思いをします。</p> |
| <p>○外国人の集まる場所に広告を出し、札幌の魅力をPRすると良い。</p>   | <p>これまで、海外の商業施設や電車、バスなどへ広告の掲出などを行ってきており、今後も継続していく予定です。さらに、今後は東京の観光案内所などで配布されるフリーペーパーへの広告掲出なども検討していきます。</p>  |

#### ■観光バス

| 意見の概要   | 市の考え方  |
|---|--|
| <p>○観光客を増やすために観光バスの駐車場を増やすと良い。</p> <p>(類似意見 5件)</p> | <p>札幌市では約30台の観光バスが待機できる待機場をしていますが、平成27年度からその利用時間の延長を行ったところです。また、平成27年度には夏季限定で臨時的観光バス待機場を設置しています。今後はさらなる駐車場の確保について検討していきます。</p> |

■歴史や食の魅力の発信

| 意見の概要   | 市の考え方   |
|---|---|
| <p>○札幌名物であるみそラーメンを観光客に食べてもらうことで魅力が伝わると思う。</p> <p>○雪まつりなどでみそラーメンや和食など日本の象徴的な食を市民が作って提供してはどうか。</p> <p>(類似意見 2件)</p> | <p>市内にはラーメン横丁やラーメン共和国があります。また、さっぽろオータムフェストでは、大通5丁目会場で「HOKKAIDOラーメン祭り」を開催しているほか、雪まつりでは大通6丁目会場で「北海道 食の広場」を設けており、ラーメンや北海道内各地の美味しい物を楽しんでいただく取組を行っています。</p>  |
| <p>○世界中の人に札幌の良さを知ってもらうため、時計台といった歴史のある場所など、札幌の魅力をパンフレットなどで紹介した方が良い。</p>  | <p>時計台など、文化財として指定されている建物（歴史のある建物のうち、将来に残していくものとして国・道・市が指定したもの）については、日本語のほか、外国語のパンフレットを作成し、配布するなどしています。これからも、世界の方に札幌の歴史のある建物を知ってもらえるように取組を続けていきます。</p>   |
| <p>○外国人向けのラーメンを作るべき。</p>  | <p>イスラム教徒（ムスリム）の観光客にも、札幌・北海道の食を安心して楽しんでもらえるよう、「ムスリム旅行者向け食のメニュー開発事業」に取り組んでいます。平成26年度には豚やアルコールを使用しない札幌みそラーメンのレシピを作成し、そのレシピをホームページ上で公開しました。</p>  |
| <p>○札幌の歴史ある建物を復元すると良いと思う。</p> <p>○昔の建物を残していった方が良いと思う。</p> <p>○古い建物を残していくことが観光客の増につながると思う。</p>                     | <p>なくなってしまったものを元に戻すことはとても難しいため、今ある歴史のある建物がなくならないように、保存・活用していくことがとても大切です。そのため、時計台など、札幌市が所有する文化財については、大がかりな工事を行うときに、可能な限り当時の姿に復元しています。</p> <p>また、人にまだ知られていない歴史的価値の高い建物なども見つけ出し、将来に残したり観光などにうまく活用したりしていく取組を進めています。これからも、札幌市の歴史ある大切な建物を残して、皆さんや観光客に広く知っていただく取組を続けていきます。</p> |

■観光消費の拡大、付加価値の向上

| 意見の概要   | 市の考え方   |
|---|---|
| <p>○札幌にしか売っていないお土産や食べ物を作って外国にPRする。</p> <p>(類似意見 1件)</p> | <p>札幌には有名な食べ物やお土産物がたくさんありますし、新しく魅力的なものを作って日本国内や外国にPRすることは大切なことだと思いますので、そのような企業を支援していきます。</p>  |
| <p>○北海道新幹線の延伸やオリンピックの開催に伴い、公共施設を衛生的にすると良いと思う。</p>       | <p>人が多く集まるような大きな建物では、空気や飲み水の質など建築物内の環境を衛生的に管理するよう法律で定められています。札幌市の多くの公共施設でも、定期的に水や空気の検査を行うなど、衛生面に配慮して管理を行っているほか、札幌市保健所も建築物の所有者などに対し、衛生管理についての指導を行っています。今後も、観光客の皆さんに気持ちよく過ごしてもらえるように、衛生管理の指導に努めていきます。</p> |

## 政策目標5 国内外の活力を取り込む街

### 施策1:世界の活力を取り込む国際戦略の積極展開

| 意見の概要   | 市の考え方   |
|---|---|
| <p>○外国人といつでも触れ合え、交流できる場を作ると良いと思う。</p> <p>○札幌市民と、中国や韓国などの人が文化交流すれば楽しいと思う。</p> <p>(類似意見 3件)</p>                       | <p>札幌国際プラザで、外国籍市民と日本人とが気軽に交流することのできる「交流サロン」を運営しているほか、外国籍市民が母国の文化を紹介するセミナーを始めとしたイベントを開催し、交流を促進しています。</p>   |
| <p>○外国人と会話できる人を増やすため、英語などを楽しく学べる場所を作ると良い。</p> <p>○英語などの外国語を話せる人を増やすために、外国語を楽しく学べるイベントを開催してほしい。</p> <p>(類似意見 1件)</p> | <p>札幌国際プラザで、外国語を楽しく学ぶことのできる場として、参加者同士が外国語で自由に会話する「レッツトーク」を毎週開催しています。このような取組を通じて、市民が国籍や言語の違いを超えてコミュニケーションを取り、安心に暮らせるよう、多文化共生のまちづくりを推進していきます。</p>   |
| <p>○外国からの観光客を増やすため、札幌の姉妹都市を発信することが大切だと思う。</p>   | <p>札幌市にはドイツ・ミュンヘン市、アメリカ・ポートランド市、ロシア・ノボシビルスク市、中国・瀋陽市(しんようし)、韓国・大田市(てじょんし)の5つの姉妹・友好都市があります。</p> <p>例えば、小中学校の総合学習で姉妹・友好都市の紹介をしたり、雪まつり期間中に駅前通地下歩行空間で姉妹・友好都市について紹介するイベントを行ったりするなどの取組を行っています。今後もこうした取組を通じて、姉妹・友好都市の魅力をPRしていきます。</p> |
| <p>○北大にはエボラ出血熱などの研究で有名な先生がいるため、札幌でエボラ出血熱の研究会議を開けば、札幌にたくさんの方が来てくれるとともに、国際的にもPRできると思う。</p>                            | <p>札幌で国際会議や学会が開催されることは、人々の交流が生まれ、経済を元気にするのみならず、札幌のブランド力や学術レベルの向上にもつながります。札幌には北海道大学を始め多くの大学がありますので、それらとも連携しながら、様々な分野の国際会議や学会などを開催できるようにしていきます。</p>   |

#### ■MICE施設の整備

| 意見の概要  | 市の考え方   |
|--|---|
| <p>○中央に1つだけメインとなる会議場を造り、既存の施設やホテルと連絡通路などで結べば、お金を掛けずに周辺も潤う。</p> | <p>今後、会議場施設の整備については、札幌市の施設だけでなくホテルなど周辺にある民間の施設も活用することを視野に入れて検討していきます。</p>   |
| <p>○今ある施設を活用することで、新たな施設を造らず、その施設の知名度も上がると思う。</p>               | <p>今の札幌コンベンションセンターは、年間を通じて多くの人に使っていただけていますが、施設の入容能力により、参加者が数千人を超えるような大規模な会議の場合は開催できないケースもあります。今後、会場を利用する方々のご意見などもお聞きしながら、札幌に必要な会議場施設について検討していきます。</p> |

| 意見の概要   | 市の考え方   |
|---|---|
| ○会議場などをまとめて、そこに地下鉄を接続すると良いと思う。  | 現在、札幌市において開催されている会議は、その会議の規模や内容によって、北海道大学周辺、北1条西11丁目周辺、コンベンションセンター周辺の大きく3つのエリアの施設が使われています。今後、海外や国内のMICE先進都市の施設の例や交通利便性なども勘案しながら、札幌市に必要な施設の整備や在り方について検討していきます。 |
| ○大きな会議場を建てて都市を豊かにしようという考えは素晴らしいと思うが、その前に規模や必要数などを明らかにして住民投票を行うことが大事だと思う。                    | 会場を利用する方々のご意見などを踏まえながら、札幌に必要な会議場施設の規模や機能について検討していきます。また、施設を造るに当たっては、広く市民の皆さんからご意見をいただく機会を設ける予定です。   |
| ○大きな会議場を造るための検討を進めることは良いと思う。  | 大きな会議を開催することは海外や日本国内からたくさんの方が集まり、人々の交流が生まれ、経済を元気にする働きがあります。会場を利用する方々のご意見などもお聞きしながら、札幌に必要な会議場施設について検討していきます。   |
| ○大きな会議場を造ることについて、そうした施設を必要としている人は会議の参加者だけで、市民の多くは必要としていないと思う。税金の無駄遣いではないか。<br><br>(類似意見 2件) | 大きな会議を開催することは海外や日本国内からたくさんの方が集まり、人々の交流が生まれ、経済を元気にする働きがあります。札幌市では、そうした会議がたくさん開かれることにより街全体の活性化を図るため、必要な施設の在り方について検討しています。                                       |

## 施策2:創造性を生かしたイノベーションの誘発

| 意見の概要   | 市の考え方  |
|---|--|
| ○若い人を増やすために、魅力ある番組を制作すると良いと思う。<br><br>(類似意見 1件) | 映像を通じて、札幌の魅力をより多くの人に伝えていくために、札幌を舞台とした映画やテレビ番組の撮影の支援を行っていきます。   |
| ○サピカなどのICカードを使用できる店舗を増やしてほしい。                   | ICカード「SAPICA(サピカ)」は、交通、商業、行政といった、各分野において多目的な利用を図ることで市民生活を豊かにする札幌市の“市民カード”として位置付けています。今回いただいたご意見を参考にさせていただいて、今後ともSAPICAを使用できる場所とサービスの拡大に向けて取り組んでいきます。 |

## 施策3:広域連携ネットワークの強化と投資環境の充実

| 意見の概要   | 市の考え方   |
|---|---|
| ○本州や外国から来る人のために、札幌駅を便利にすることが、「魅力と活力にあふれた暮らしやすい街」につながっていくと思う。<br><br>○イベントを開催するなどして札幌駅周辺をより便利で魅力的にするほか、地下歩行空間などのスペースを有効活用すれば人が集まると思う。<br><br>(類似意見 9件) | 札幌・北海道の玄関口にふさわしい機能や多くの活動が展開できる場を備えた、魅力あふれるまちづくりを進めます。また、地下歩行空間内には、にぎわいづくりのためのスペースを設けていて、多目的に利用していただいています。 |
| ○札幌駅について、より分かりやすい配置や案内板の大きさ、場所を工夫したら良いと思う。もっともっと札幌駅をたくさんの人に知ってほしい。  | 利便性の高い札幌駅周辺のまちづくりのため、誰にとっても分かりやすい施設配置や案内サインなどについても、今後具体的に検討を進めます。   |

| 意見の概要  | 市の考え方   |
|--|---|
| <p>○札幌駅周辺を整備するときに緑を増やすと良いと思う。</p>  | <p>札幌・北海道の玄関口にふさわしい札幌駅周辺のまちづくりを進めていく中で、北国らしい魅力ある空間づくりやにぎわい・憩いの場となるみどり豊かなオープンスペースの整備、札幌・北海道の魅力を象徴・発信する機能などについても今後検討を進めていきます。</p>   |
| <p>○札幌駅の北側の改札口周辺が混み合っているため、高齢者や外国人でもスムーズに通ることができるように、フリースペースや案内を増やすなどする必要がある。</p>                          | <p>今後、北海道新幹線が札幌まで延伸されれば、札幌駅周辺ではさらに通行者が増えることが予想されます。そのため、誰もがスムーズに移動できるような、利便性の高いまちづくりを目指し、検討を進めていきます。</p>  |
| <p>○新幹線の札幌延伸に備えて札幌駅周辺を良くするのは無駄だと思う。</p> <p>(類似意見 1件)</p>   | <p>札幌駅は多くの交通機関が集まり、外部から札幌に来るたくさんの方が最初に訪れる場所です。さらに、北海道新幹線が札幌まで延伸されることで、より多くの方が札幌駅を訪れると予想されます。</p> <p>そのため、札幌・北海道の玄関口にふさわしい、便利で魅力的なまちづくりを進めることで、札幌を訪れるたくさんの方々に対し、より効果的に札幌・北海道の魅力をアピールすることができると考えています。</p> <p>また、まちづくりを進める際には、関係する方々との意見交換を行いながら取り組んでいきます。</p> |
| <p>○札幌駅の周辺だけを便利にしたのでは、札幌の全ての魅力を引き出せないのではないかと。</p> <p>○札幌駅周辺だけではなく、他の地域も便利にする必要があると思う。</p> <p>(類似意見 8件)</p> | <p>札幌駅の周り以外の魅力を高めることについては、多くの方が集まる地下鉄駅の周辺などにも、お店が立ち並び、にぎわいや様々な交流が生まれる場所づくりを進めるなど、都心や地下鉄駅周辺、郊外住宅地など、地域特性に応じた取組を展開し、札幌市全体の充実を図ることとしています。</p>  |
| <p>○市内に新幹線を展望できる場所をつくらせると良いと思う。札幌駅周辺のみ便利で魅力的にするのか。(麻生、琴似、手稲…)</p>  | <p>札幌市内における新幹線のルートについては、現在、建設主体の鉄道・運輸機構において検討を行っていますので、今回いただいたご意見は今後の事業推進の参考とさせていただきます。</p> <p>また、札幌駅周辺などの都心だけではなく、多くの方が利用する地下鉄駅などの周りについても、より便利で魅力的になるよう、区役所や図書館などの公共施設やお店、病院といった生活を支える施設が集まるよう取り組みます。</p>  |
| <p>○仕事の工夫として、道庁と協力することは賛成。ほかの市町村をアピールする場所を札幌駅に作ったら良いと思う。</p>   | <p>地下鉄大通駅構内に、道内市町村の観光パンフレットを設置するコーナーを設けているほか、金融機関と連携し、市内の一部店舗にパンフレットラックを設置しています。</p> <p>今後も、道庁や市町村と連携しながら、北海道の魅力を多くの人に発信していきます。</p>   |
| <p>○給料の一定割合を景気を良くすることに使うという決まりを定めてほしい。</p>   | <p>全国にお金が回れば景気は良くなると思います。ご意見のような決まりを定めるのは難しいですが、今後とも札幌の経済を活性化させる取組を進めていきます。</p>   |

#### 施策4:シティプロモート戦略の積極展開

| 意見の概要   | 市の考え方  |
|---|--|
| <p>○お金に関しては、足りない分は市民からの募金や、安く貸してもらおう取組が良いと思う。</p> <p>○子育て支援の施設などを増やすために寄付を募ると良いと思う。</p> <p>○費用面の課題に対して、コンビニや病院など、市民がよく行きそうなところにお金を集める箱を作るなど、地域に協力してもらおうが良いと思う。</p> <p>(類似意見 3件)</p> | <p>市民の皆さんからの募金や寄付がどのように使われ、役に立っているのかをたくさんの市民に知ってもらい、もっと多くの募金や寄付が集まるよう工夫していきます。</p>   |
| <p>○公共施設を増やすときは、インターネットで募金を集めることで建設費を抑えると良いと思う。</p>   | <p>最近、例えば古い施設の修理や保存など、特定の目的に絞ってインターネットなどで募金を集める新しい手法が全国的に広がっています。</p> <p>今後、札幌市もこのような方法を寄付や募金の使い道として、活用できないか調べていきます。</p>   |
| <p>○ふなっしーのように面白いゆるキャラ、楽しい場所などを作れば良いと思う。</p> <p>○多くの人の目を引くように、札幌市のキャラクターやCM・新聞の広告を作ると良いと思う。</p> <p>(類似意見 3件)</p>   | <p>今のところマスコットキャラクターを作る予定はありませんが、その代わりに、「笑顔になれる街さっぽろ」を表したSAPPORO(サッポロスマイル)ロゴマークがあります。このロゴマークを使いながら、「札幌ならではの魅力」をたくさんPRしていきます。</p>  |
| <p>○札幌の良いところを全国にアピールすれば良いと思う。</p> <p>(類似意見 2件)</p>  | <p>札幌の魅力とは、明確な四季や美味しい食べ物、年間を通じて行われるイベントなど、札幌の魅力を味わいながら笑顔で楽しんでいる市民の皆さんの「生活そのもの」にあると考えています。</p> <p>これからも、「笑顔になれる街さっぽろ」を表したロゴマークであるSAPPORO(サッポロスマイル)を活用し、市民、企業の皆さんと協力しながら、「札幌での生活から生み出される札幌ならではの魅力」をたくさんPRしていきます。</p> |
| <p>○札幌の人口を増やすために、札幌の魅力を伝える冊子を作成したり、札幌の居住プランを考えたりするなどしていくと良いと思う。</p> <p>(類似意見 1件)</p>  | <p>移住に関するウェブサイトを活用して札幌の魅力を発信しているほか、経済団体や北海道などと共に、札幌で働きたい人向けのPR活動を行っています。</p> <p>今後も、北海道や他の市町村などと連携して首都圏を対象に効果的な情報発信を行うなど、札幌市周辺地域全体への移住・定住の促進に向けた取組を進めていきます。</p>  |
| <p>○世界遺産を増やしたり、札幌でしか買えないものや売れるデパートを増やしたりすると良いと思う。</p>   | <p>「笑顔になれる街さっぽろ」を表したSAPPORO(サッポロスマイル)ロゴマークを使った「札幌でしか買えない札幌ならではの」のお土産品の開発、販売を民間企業と協力しながら進めていきます。</p>  |

| 意見の概要   | 市の考え方  |
|---|--|
| ○札幌ドームで新しいイベントを行うと良いと思う。                                | アジアで初開催となるラグビーワールドカップ2019年日本大会は、札幌でも試合が予定されており、会場となる札幌ドームでは、初めてラグビーの大会が開催されることとなります。また、札幌ドームではコンサートなどのイベントも積極的に誘致し、集客に努めていきます。 |
| ○冬季オリンピック・パラリンピック開催の他にも、年間を通していろいろなスポーツ大会などを開催したら良いと思う。 | 札幌では春にウォーキングイベントの「北海道を歩こう」、秋に「札幌マラソン」、冬に「札幌国際スキーマラソン」を開催しているほか、各区において様々なスポーツ大会を開催しています。いただいたご意見は、今後のスポーツ振興の参考とさせていただきます。       |

## 施策5:さっぽろ未来創造プロジェクト

### ■冬季アジア札幌大会

| 意見の概要  | 市の考え方   |
|--|---|
| ○冬季アジア大会の開催により多くの方が札幌に集まるので、空港から多くの人を運べるような検討をすると良い。 | 冬季アジア大会では、30の国と地域から1,500人の選手・役員に参加を想定しています。この選手・役員を新千歳空港から札幌まで輸送する手段として、シャトルバスの運行を予定しており、大会関係者と観光客とで電車が混み合わないよう計画を進めています。 |
| ○冬季アジア大会などにおいては、会場行きのバスを運行した方が良い。                    | 冬季アジア大会では、より多くの方に観戦していただくため、公共交通機関での来場が困難な会場については、最寄駅からの観客用バスを運行する予定です。   |

### ■冬季オリンピック・パラリンピックの招致

| 意見の概要   | 市の考え方  |
|---|--|
| <p>○冬季オリンピック・パラリンピックを開催することで、世界的に札幌が注目され、観光客が増えると思う。またそれにより経済も活性化するとと思う。</p> <p>○冬季オリンピック・パラリンピックの札幌開催は良いことだと思うが、多額の費用が掛かったり、景観を損なったりするなど悪影響が出ないようにしてほしい。</p> <p>○人口減少・超高齢社会の対策として、冬季オリンピック・パラリンピックの招致が一番効果的だと思う。仮に失敗しても、費やした費用は無駄になるとは思わないし、何より新幹線の札幌延伸を早めることにつながる可能性があると思う。</p> <p>(類似意見 33件)</p> | <p>冬季オリンピック・パラリンピックを招致・開催することは、市民に夢や希望を与えることに加え、ウィンタースポーツの振興や、多くの観光客が訪れることによる経済の活性化につながります。</p> <p>さらには、市民が海外から訪れる選手や観光客と触れ合うことで、文化の違いを肌で感じ、世界に目を向けるきっかけにもなります。</p> <p>招致の際には、合わせてバリアフリーのまちづくりや都市のリニューアルを図り、街の魅力を高め世界に発信していきたいと考えています。</p> <p>なお、開催に当たっては、既存の施設を最大限活用しながら、財政負担の軽減を目指し、自然や景観にも配慮した計画を作っていきます。</p> |
| <p>○パラリンピックに向けて、様々な人が利用できる福祉施設を充実させてほしい。</p> <p>○札幌でオリンピックを開催する際に、新しい観光施設や競技施設を整備すれば街が活性化するとと思う。</p> <p>(類似意見 2件)</p>   | <p>冬季オリンピック・パラリンピックを契機として、競技施設だけでなくまち全体のリニューアルを進め、各施設のバリアフリー化など、誰もが利用しやすい施設を整備していきたいと考えています。</p>   |

| 意見の概要  | 市の考え方   |
|--|---|
| <p>○冬季オリンピック・パラリンピックを招致した場合は、競技場施設の建て替えは必要ないのか。</p> <p>○冬季オリンピック・パラリンピックを開催する際に、一時的に使う建物ではなく、終わった後も長く使える楽しめる施設を作った方が良い。</p> <p>(類似意見 1件)</p> | <p>1972年に建設したオリンピック施設を含め、公共施設の老朽化が進み、今後はそうした施設の更新需要の集中に対応する必要があります。冬季オリンピック・パラリンピックを招致した場合には、そうした対応と合わせて競技施設の新設や改修を進め、街のリニューアルを図っていきたくと考えています。整備計画については、開催後の競技大会や市民利用のことも考えて検討していきます。</p>   |
| <p>○冬季オリンピック・パラリンピック開催時には、英語が話せるスタッフのいるインフォメーションコーナーを作った方が良いと思う。</p> <p>(類似意見 1件)</p>  | <p>冬季オリンピック・パラリンピックの招致に当たっては、英語対応を始め、観光客への「おもてなし」の取組が重要と考えています。そのため、アクションプランでは、市民・企業・行政が一丸となり、街全体で観光客を受け入れる機運を醸成し、「おもてなしのうねり」を創出していくことをリーディングプロジェクトとして位置付けています。</p> <p>こうした取組により、札幌のおもてなしの力を高め、冬季オリンピック・パラリンピック開催時には世界から評価される街にしていきたいと考えています。</p> |
| <p>○1972年札幌オリンピックで使った競技施設をもう一度使うため、オリンピックをもう一度開いたら良いと思う。</p>   | <p>1972年の札幌オリンピックで使用された施設は、現在も様々な形で活用されています。冬季オリンピック・パラリンピックを招致した場合、これらの施設を最大限活用するとともに、オリンピック・パラリンピックが終わった後も、観光施設や市民が気軽に利用できる施設として有効活用していきたいと考えています。</p>  |
| <p>○札幌で冬季オリンピック・パラリンピックを開催するとしたら、また選手村を造るのか。競技場も建て直すのか。</p>  | <p>冬季オリンピック・パラリンピックの開催に当たっては、多くの選手が宿泊するための選手村を設ける必要があります。また、競技場についても多くの施設で改修や新設が必要となりますが、開催後の競技大会や市民利用のことも考えて整備を計画していきたいと考えています。</p>  |
| <p>○札幌でオリンピックをやるならば、選手村をなるべく会場に近くすると良いと思う。</p>   | <p>冬季オリンピック・パラリンピックの開催に当たっては、選手の移動を考慮したコンパクトな施設配置を計画していきます。</p>   |
| <p>○冬季オリンピックを開催するには、もっと競技場を増やし、交通網を充実させ、宿泊施設も増やすなど、様々なことを考えていくべき。</p>  | <p>冬季オリンピック・パラリンピックを開催する場合、競技施設の改修や交通網の整備、民間投資の促進などにより都市のリニューアルを図り、街の魅力を高め世界に発信していきたいと考えています。</p>   |
| <p>○1972年に行ったオリンピックの競技を多くの人にやってもらったり、知ってもらえたりすると良いと思う。</p>   | <p>オリンピック競技を含めたウィンタースポーツを子どもたちに幅広く体験していただく「ウィンタースポーツ塾」などの取組を進めていくほか、大倉山ジャンプ競技場に隣接する札幌ウィンタースポーツミュージアムを改修してオリンピックに関する展示を充実させ、オリンピックのことをもっと知ってもらえるようにしていきます。</p>   |

| 意見の概要  | 市の考え方  |
|--|--|
| <p>○冬季オリンピック・パラリンピックの札幌開催は一時の注目は浴びても、終われば借金が残るだけなのでやめた方がいいと思う。</p> <p>○3大会連続のアジアでの開催が決まったことから、開催が見込めない札幌でのオリンピック・パラリンピックの費用については、人口増加を見据えた住みやすいまちづくりに使えば良いと思う。</p> <p>○オリンピック・パラリンピック招致が本当に必要か考えてほしい。</p> <p>(類似意見 5件)</p> | <p>今後、人口減少時代を迎え、公共施設などの更新需要が集中していく中、札幌はハード・ソフト両面から街をつくり替えていくべき時期に来ています。冬季オリンピック・パラリンピックを招致することは、そうした街のリニューアルを加速させるとともに、多くの観光客を呼び込み、経済を活性化させ、さらには世界に札幌の魅力をアピールする効果があると考えています。</p> <p>なお、施設については、既存のものをできるだけ活用するなど、財政負担をできるだけ抑える方法を検討します。</p> <p>また、オリンピック・パラリンピックが終わった後も、観光施設や市民が気軽に利用できる施設として有効活用していきたいと考えています。</p>  |
| <p>○冬季オリンピック・パラリンピックなど世界から人を呼び込むためには、まず街をきれいにすることが重要だと思う。</p> <p>(類似意見 2件)</p>   | <p>世界から多くの人を呼び込むためには、街全体で観光客を受け入れる「おもてなし」の取組が重要と考えており、街並みの様相を美しく保つこともその一つの要素だと思います。</p> <p>平成17年から札幌を安全で美しい街にするための条例を施行しており、この条例を知り、守ってもらうことを通じて、世界都市にふさわしい美しい街を目指していきます。</p>  |
| <p>○札幌の人気を上げるために、冬季オリンピックやラグビーなどの大会を開催すると良いと思う。</p> <p>(類似意見 1件)</p>   | <p>2019年開催予定のラグビーワールドカップ2019日本大会は、札幌市でも試合が予定されていますので、大会の盛り上げなどにしっかり取り組んでいきます。</p> <p>そして、冬季オリンピック・パラリンピックを招致、開催することにより、札幌の魅力をもっと世界にPRしていきたいと考えています。</p>  |
| <p>○札幌オリンピックなどについてのポスターを作ると良いと思う。</p>  | <p>冬季オリンピック・パラリンピックの招致に向け、ポスターを始めとしたPR活動を行い、市民や事業者の方々の気運を盛り上げていきたいと考えています。</p>   |
| <p>○冬季オリンピックに向けて、ウィンタースポーツに力を入れてほしい。</p> <p>(類似意見 1件)</p>  | <p>冬季オリンピック・パラリンピックに向けて、大規模国際大会を積極的に誘致し、アジアにおけるウィンタースポーツの拠点を目指していくほか、「ウィンタースポーツ塾」などを始め、子どもたちに幅広くウィンタースポーツに親しんでもらう取組などを通じて、ウィンタースポーツの振興に取り組んでいきたいと考えています。</p>   |
| <p>○冬季オリンピック・パラリンピックの開催は札幌の魅力につながると思うが、多額の費用が掛かる上、アジアでの開催が続いているので難しいのでは。そのことについての対策を知りたい。</p> <p>○冬季オリンピック・パラリンピックはアジアの国が続いているため難しいと思うが、開催できれば経済効果は大きいと思う。東京オリンピックのような財政問題を繰り返さないようにしてほしい。</p>                             | <p>冬季オリンピック・パラリンピックの開催がアジアで続くことについて、地形や気候などの制約により、開催できる都市が限られている中で、札幌が持つウィンタースポーツの競技機能や国際大会の実績などを踏まえると、招致の可能性はあると考えています。</p> <p>また、アジアでの連続開催により、アジアにおけるウィンタースポーツの飛躍的な発展につながると予想されます。札幌が冬季オリンピック・パラリンピックを開催し、ウィンタースポーツの環境をさらに充実させることにより、アジア、そして世界に誇るウィンタースポーツ都市としての確固たる地位を築き、北海道、さらには日本全体に活力を与えることを目指します。</p> <p>なお、開催に当たっては、既存の施設を最大限に活用しながら、財政負担などの軽減を目指していきます。</p> |

| 意見の概要   | 市の考え方  |
|---|--|
| <p>○冬季オリンピック・パラリンピックの札幌開催を目指すなら、他のまちに協力を求めたり、市民にオリンピックの楽しさをたくさん伝えたりすると良いと思う。</p>  | <p>冬季オリンピック・パラリンピックの開催に当たっては、国や北海道を始めとして、他市町村とも協力しながら準備を進めていきたいと考えています。また、市民にオリンピック・パラリンピックの素晴らしさや開催のメリットを伝えることなどにより、開催気運を高めていきたいと考えています。</p>  |
| <p>○冬季オリンピック・パラリンピックを目指すのであれば、事故や犯罪への対策をきちんとしてほしい。</p> <p>○五輪の招致については一部反対。ISとかも怖い。安全が強化されるなら良いと思う。</p>  | <p>冬季オリンピック・パラリンピックを開催する場合、テロ対策など、安全な大会運営を行う必要がありますので、今後、具体的な運営方法を十分に検討していきます。</p>   |
| <p>○冬季オリンピック・パラリンピック開催を目指すのは、まず他の取組をしっかり行い、市民などの意見を聞いてからの方が良いと思う。</p> <p>○冬季オリンピック・パラリンピックを開催して都市を豊かにしようという考えは素晴らしいと思うが、その前に、本当に必要なかを明らかにして住民投票を行うことが大事だと思う。</p> <p>(類似意見 2件)</p> | <p>現在、札幌市では10年先を見据えた計画である「まちづくり戦略ビジョン」に基づき、札幌を暮らしやすいまちにするための様々な施策を実施しているところです。</p> <p>これらの取組と併せて、冬季オリンピック・パラリンピックを開催し、札幌の魅力を世界に発信していきたいと考えています。</p> <p>なお、招致に当たっては、多くの市民の賛同が必要となりますので、現在作成中の開催概要計画を市民に公表し、意見を取り入れていきたいと考えています。</p> |

■北海道新幹線の札幌延伸

| 意見の概要  | 市の考え方  |
|--|--|
| <p>○北海道新幹線が札幌まで延伸されると、札幌駅がにぎやかになるとともに、本州への移動の利便性が上がるため、良いと思う。</p> <p>(類似意見 1件)</p> | <p>北海道新幹線が札幌まで延伸されると、札幌から九州の鹿児島まで新幹線で結ばれることとなります。北海道内外を問わず、今後も札幌の魅力を発信し、多くの方々に新幹線を利用して札幌に来てもらえるよう、取り組んでいきます。</p>   |
| <p>○北海道新幹線の開通を見越して、北海道の特産品などを札幌駅周辺でPRすることで、経済効果を高めていくと良い。</p>                      | <p>特産品を含めた地域の魅力ある資源をアピールすることは重要であると考えています。札幌駅では、北海道庁が道内の特産品を販売する「北海道どさんこプラザ」を運営しているほか、札幌市も北海道新幹線のPRと併せて札幌市を含めた沿線各地の地域情報の発信を行っており、今後も関係機関と一緒に取り組んでいきます。</p> |
| <p>○新幹線延伸の機運醸成を図るため、オリジナルグッズを作ると良い。</p>  | <p>北海道新幹線の一日も早い札幌開業の実現や、利便性をPRするための取組の一つとして、北海道が考案した北海道新幹線開業PRキャラクター「どこでもユキちゃん」などを用いたオリジナルグッズの製作・配布を行っています。今後も北海道や新幹線の沿線自治体と一緒に効果的・効率的なPR活動を行います。</p>      |

| 意見の概要   | 市の考え方   |
|---|---|
| <p>○札幌でも新幹線の開業をもっとPRした方が<br/>良い。</p>  | <p>平成28年3月の新函館北斗開業の成功と開業効果の波及・拡大や、1日も早い札幌開業の実現を目指して、北海道や他の自治体などの関係機関と連携して、市民や道民、観光客などに向けたPR活動を行っています。<br/>市内では、オータムフェストや雪まつりなど、人が多く集まるイベント会場でPR活動を行っており、今後も関係機関と連携して、より皆さんの目に触れるように取り組んでいきたいと思っておりますので、応援をよろしくお願いいたします。</p> |
| <p>○北海道新幹線の札幌延伸はもっと急いだ方が<br/>良いと思う。<br/><br/>(類似意見 4件)</p>                            | <p>北海道新幹線札幌開業は平成42年度末となっておりますが、1日も早い開業に向けて、北海道や他の市町と一緒に、市民や道民、観光客などに向けたPR活動や国などへの要望活動を行ってまいります。</p>   |
| <p>○札幌駅の中に少しゆったりできるカフェ的な空間をつくるなど、北海道新幹線の延伸を見据えた整備が必要だと思う。<br/><br/>(類似意見 1件)</p>      | <p>北海道新幹線が札幌まで延伸されることで、より多くの方々が札幌駅を訪れると予想されますので、札幌駅周辺では、札幌・北海道の玄関口にふさわしい、便利で魅力的なまちづくりを進めていきます。</p>  |
| <p>○北海道新幹線は乗車料金が<br/>高い。</p>  | <p>新幹線料金については、JR北海道と国が話し合いをしているところですので、ご意見があったことをJR北海道に伝えま<br/>す。</p>   |
| <p>○北海道新幹線は、JR北海道の在来線での<br/>トラブルが多いので、東京へのアクセスは飛行機<br/>でよく、札幌延伸はあまり必要とは思わ<br/>ない。</p> | <p>新幹線の延伸により高速で多くの人を輸送できるため、交通手段の選択肢が増えることとなります。また、東京だけではなく東北、北関東との行き来が便利になるという効果があります。今後も、新幹線の効果や利便性などを多くの方々に知ってもらうよう、取り組んでいきます。</p>   |

## 政策目標6 産業分野の人材を育む街

### 施策1: 将来を担う創造性豊かな人材の育成・活用

#### ■多様な学びの充実

| 意見の概要   | 市の考え方  |
|---|--|
| ○外国人観光客を増やすために、小学校での外国語授業を増やしたら良い。  | 子どもたちが英語を通じて外国の文化などを知ったり、外国の方との交流が進んだりするよう、アクションプランでは、英語専門教師を配置することなどを盛り込んでおり、小学校における外国語活動の授業の充実を図っていきます。なお、現在、国では、小学校外国語の授業時間数を増やすことについて検討しています。  |
| ○外国人の子どもが日本語を学べる施設を増やすと良いと思う。   | 外国人や海外から帰国した子どもに日本語を教えるボランティアを学校に派遣するとともに、札幌市教育センターで「日本語教室」を開いて、外国人や外国から帰ってきた日本人が、日本語を勉強できる環境づくりを進めています。   |
| ○外国人と雪合戦などスポーツで交流できる行事を開催するといいい。  | スポーツを通じた国際交流の輪を広げるため、毎年市内の中学生を姉妹都市に派遣し、現地の子どもたちとバドミントンや柔道など、さまざまな種目を通じて交流する「国際親善ジュニアスポーツ姉妹都市交流事業」を実施しています。   |
| ○模擬選挙体験ができるが良い。<br>(類似意見 1件)  | これまでも模擬選挙や模擬議会などの選挙に関する体験的な学習を進めており、今後は、法律の改正によって、選挙権が与えられる年齢が20歳から18歳に引き下げられたことを受けて、さらにこういった取組をさらに充実していきます。   |
| ○学校の授業で、タブレット学習などを取り入れてほしい。   | タブレットPCなどのICT（情報通信技術）は、より分かりやすい授業の実施に効果があり、全国的に導入が進んでいます。アクションプランでは、小中学校などの授業で活用するタブレットPCを段階的に導入することなどとしており、札幌市でもできるだけ早く導入していきたいと考えています。   |
| ○お年寄りや障がい者との触れ合いが増えるといい。  | 各学校において、総合的な学習の時間における高齢者施設への訪問などお年寄りや障がいのある方などと交流する機会を増やし、いろいろな立場の方のことを理解できるような学習を進めていきます。   |
| ○札幌市民が充実した生活を送り、多くの人に魅力を知ってもらうためのカギは「札幌らしさ」、中でも「自然」にあるのではないか。そこで、アウトドアの振興や自然を身近に感じる催し物を行うことが有効だと思う。 | 札幌市の魅力ある自然を多くの人に身近に感じてもらうことはとても大切なことです。そこで、自然体験の充実を目指して林間学校などの事業を展開しているほか、市内には自然をテーマにした施設があり、1年を通して様々な取組を行っています。例えば、「北方自然教育園」では、「稲作・畑作」「サクランボなどの収穫」などの農業体験ができ、「定山溪自然の村」では、子どもから高齢者まで幅広い年齢の方が自然を身近に感じられるよう、キャンプファイヤーや自然散策などができるようになっています。 |

| 意見の概要  | 市の考え方  |
|--|--|
| <p>○働く人を増やすため、「働く事は楽しい」と伝えるイベントなどを増やすと良いと思う。</p> | <p>市内のものづくり企業で「どのようなものが作られているのか」、「どのような技術があるのか」、「どのように働いているのか」を知ってもらうため、親子で見学してもらうバスツアーを行っており、今後も参加者に楽しんでもらえるツアーを実施していきます。</p> |

■子どもの体力向上の推進

| 意見の概要   | 市の考え方   |
|---|---|
| <p>○子どもたちの運動能力が低下しているため、地域の体育館で運動イベントを実施したら良い。</p> <p>(類似意見 1件)</p>                               | <p>縄跳び運動など、学校で子どもたちが楽しみながら体力を向上する取組を進めており、いくつかの区では、区の体育館などを利用して、運動する機会が少ない中学生を対象にした運動イベントを試行的に開催しています。今後はより多くの区で開催したいと考えています。</p>   |
| <p>○空手はオリンピック種目ともなっているので、中体連の種目に追加してほしい。</p>  | <p>日本中学校体育大会の競技種目は、日本中学校体育連盟（中体連）が、競技人口や会場、日程など様々な観点から決めていきます。スポーツに親しむことは、心身を鍛え、仲間との絆を深めることができるなど、とても素晴らしいことなので、札幌市としても中学生に対する支援を行っていきます。</p>                                     |
| <p>○ウィンタースポーツも大事だが、サマースポーツに親しむことも必要だと思う。中学校にプールを造り、小学～中学と水泳に親しむことができれば、1年を通じて運動を身近に感じることができる。</p> | <p>札幌市では、プールで水泳学習をしている中学校は少ない状況ですが、冬の間だけでなく、夏の間も含め1年間を通して運動に親しむことが大切だと考えており、体力向上の取組として、小中学校で縄跳び運動などを進めることとしています。また、市内にプールや体育館などのスポーツ施設を設置していますので、そちらもご利用ください。</p>                 |
| <p>○部活がないがために夢を諦めてしまう子どもを少しでも減らすために、札幌市民にアンケートを行った上で、「中学校・高校で設置を必須とする部活」をつくってはどうか。</p>            | <p>部活動は生徒の自主的、自発的な参加が根本にあることから、中学校や高等学校においては、生徒の希望を重視しながら、部活動の設置をしているところです。中学校の運動部活動においては、顧問の先生の確保が課題となっていることから、これまで以上に外部人材の活用などを進め、生徒の皆さんが希望する部活動を一つでも多く設置することができるよう努めていきます。</p> |

■進路探究学習

| 意見の概要   | 市の考え方  |
|---|--|
| <p>○将来、しっかりと仕事に就けるように、小さいうちからお仕事体験できる取組を増やすと良いと思う。</p> <p>○子どもたちの将来への不安を解消するために、学校に様々な職業の大人に来てもらい授業をしてもらうと良い。</p> <p>(類似意見 11件)</p> | <p>いくつかの小中学校では、進路探究学習として、様々な職業に携わる方を学校に招いて職業に関するお話をいただいたり、子どもたちが職場を訪問して職場見学や職業体験をしたりしていますので、このような授業を他の小中学校にも広めていきます。</p> |

■札幌の歴史・文化教育

| 意見の概要   | 市の考え方  |
|---|--|
| <p>○時計台のことなど、札幌の歴史について小さい頃から学べると良い。</p> <p>○子どもたちが札幌の文化や札幌の良いところを学ぶと、自分たちの住んでいる街をもっと住みやすい街にしていくことができると思う。</p> <p>○子どもたちが、地元の人しか知らないような文化に触れられると良い。</p> <p>(類似意見 2件)</p> | <p>各学校の授業では、時計台や雪まつり、アイヌ文化などに関する様々な資料や体験を通じて、ふるさと札幌や北海道の歴史、文化などを学んでいます。このような学習がもっと盛んになるよう、努めていきます。</p>   |
| <p>○子どもが音楽や芸術などに触れて、将来の夢につながる体験をすると良いと思う。</p> <p>(類似意見 4件)</p>  | <p>市内の小学生を札幌コンサートホールKitaraや札幌芸術の森美術館などに招待して、オーケストラの演奏や美術作品を鑑賞してもらおう取組をしています。皆さんが音楽や美術などの文化芸術に触れることはとても大切だと考えていますので、これからも文化施設などと協力しながら、いろいろな取組を考えていきたいと思ひます。</p>  |
| <p>○北海道の歴史に関する施設がないので、歴史博物館を造ると良いと思う。</p> <p>○札幌の魅力伝えるため、いろいろな国の人が札幌の歴史やシンボルなどを知ることができる「札幌歴史館」を建設すれば良いと思う。</p>  | <p>歴史的価値が高い建物などを見つけ出して、将来に残したり、まちづくりに上手に利用したりしていくための取組や、世界的な発見となった「サッポロカイギュウ」化石といった札幌の自然の歴史に関する研究を行っています。北海道の歴史については、「北海道博物館」がありますが、札幌市の歴史については総合的に学べる施設はまだありませんので、アクションプランでは「(仮称)札幌博物館」の建設に向けて検討を進めることとしています。</p> |

■ベルマークの収集

| 意見の概要                                       | 市の考え方   |
|---|---|
| <p>○ベルマークの収集を呼び掛けると良い。</p> <p>(類似意見 2件)</p> | <p>ベルマーク運動は、PTAや企業の協力を得ながらベルマーク教育助成財団が行っています。PTAや児童会などがベルマークを集めて財団に送ると、集めた点数で学校の教材を購入できたり、へきち学校や災害被災校などの教育援助ができてたりします。</p> <p>一部のPTAでは、ベルマークをたくさん集められるようにポスターを作ったり、回収箱のデザインを工夫したりするほか、地域のお店にも協力をお願いしています。</p> |

■学ぶ力の育成

| 意見の概要  | 市の考え方   |
|--|---|
| <p>○自分で考える力を付けると、自分の考えや意見を発表できるようになると思う。</p> | <p>知識や技能を身に付けるだけでなく、物事を考えたり、分かったことなどを発表したりする力や、生涯にわたって学び続ける意欲を身に付けることを目指した課題探究的な学習は大切だと考えており、アクションプランでも各学校でこういった学習が進むように「さっぽろっ子『学ぶ力』の育成プラン」を推進していくこととしています。</p> |
| <p>○一つのことを極める授業があっても良いと思う。</p>               | <p>各学校では、総合的な学習の時間において、一つのテーマについて子ども一人一人が課題を設定し、じっくり調べたり考えたりする授業を行っています。札幌市では、このような、課題を子ども自身が解決する学習を進めることに力を入れています。</p>   |

| 意見の概要                              | 市の考え方  |
|------------------------------------|--|
| ○子どもの学力向上のため、楽しく身近に学べるようにすると良いと思う。 | 子どもたちが楽しく意欲的に学習に取り組めるよう、体験的な活動や子どもたちが自ら課題を解決する学習など、全校で「分かる・できる・楽しい授業づくり」に取り組んでいます。 |

### ■読書活動の推進

| 意見の概要   | 市の考え方   |
|---|---|
| ○本をたくさん読む文化のある街にしたい。札幌だけの読書週間などがあると良い。  | 札幌市家庭読書の日（10月9日）や読書週間（10月27日～11月9日）、「子ども読書週間」（4月23日～5月12日）を設け、市内全図書館で読書推進に向けた行事を行っています。今後も、子どもから大人まで幅広い世代の方々が読書に親しめる機会の充実に取り組んでいきます。  |
| ○図書館などで誰もが勉強ができたり教えてもらえたりする場があると良いと思う。<br>○勉強をするためには、図書館を身近なところに造ったら良いと思う。<br>(類似意見 4件) | 市内の図書施設での自習は、原則お断りしていますが、図書館の図書を使用しての学習は誰でもできますし、試行的に中央図書館の一部では自習を認めていますのでご利用ください。<br>また、市内には、中央図書館や地区図書館をはじめ、40カ所以上の図書施設があり、遠くの図書施設にある図書を身近な図書施設で借りることができる工夫もしています。                        |
| ○児童会館でも図書館の本を返却できるようにしてほしい。   | 図書館の本の返却は児童会館ではできませんが、市内には、中央図書館や地区図書館をはじめ、40カ所以上の図書施設があり、できるだけ身近なところで利用できるようにしています。<br>また、市内の図書施設で借りた本は、市内の他の図書施設で返したり、遠くの図書施設にある図書を身近な図書施設で借りたりすることができる工夫もしていますので、ぜひご利用ください。              |
| ○外で勉強できるような場所が欲しい。<br>○休日に気軽に勉強できる施設を造れば良いと思う。  | 札幌市内には、児童会館が104館あり、土曜日や夏休み・冬休みなど児童会館が開いている日は、図書室で勉強したり、勉強に疲れたら体育室でスポーツをしたりできますので、いつでも気軽に遊びに来てください。<br>また、市内の図書施設では、自習は原則お断りしていますが、図書館の図書を使用しての学習は誰でもできますし、試行的に中央図書館の一部では自習を認めていますのでご利用ください。 |

## 施策2: 誰もが活躍できる社会の実現

### ■ワーク・ライフ・バランスの推進

| 意見の概要                            | 市の考え方  |
|----------------------------------|--|
| ○若者が安心して働ける雇用の場が必要。<br>(類似意見 3件) | 働く人を増やしていくことは、経済の活性化のためにはとても大切なことだと思います。そのためにも札幌にある企業を成長させて働く場所を増やしたり、道外から企業を誘致して新しく働く場所を増やしたりしていきたいと考えています。 |

| 意見の概要   | 市の考え方   |
|---|---|
| <p>○子育てをしやすくするために、共働き家庭の雇用の安定が大切だと思う。</p> <p>○どの職業でも産休を取りやすくしてほしい。</p> <p>(類似意見 2件)</p> | <p>誰もが育児休業を取得でき、育児休業終了後も再び元の職場で働けるよう、初めて育児休業を取った社員のいる会社や育児休暇を取得した男性社員のいる会社に助成金を出したり、育児休業を取る人の代わりに働く人を雇うお金を補助したりするなど、企業への助成制度を設け、出産・子育てのための休みを取りやすい環境整備を進める会社を応援・支援しています。</p> <p>今後は、このような仕事と生活の両立「ワーク・ライフ・バランス」の取組をもっと広めていけるよう努力していきます。</p> |
| <p>○子どもがいる人は残業を禁止にしたり、消費税率を軽くしたりすると良い。</p> <p>(類似意見 1件)</p>                             | <p>仕事と子育ての充実につながる取組を行う企業の支援を拡大していくとともに、全国的に進めることが必要な、子育て世帯の経済的な負担を軽くするための方策について、国に対して引き続き要望していきます。</p>  |
| <p>○子どもがいても住みやすいマンションなどを造るべき。</p>   | <p>子どもがいる家庭向けの市営住宅を建て、部屋を広くしたり、子どもがけがをしにくい工夫したりして、子どもがいても住みやすい住宅づくりに取り組んでいます。</p>   |

#### ■高齢者の就業を支援

| 意見の概要   | 市の考え方  |
|---|--|
| <p>○働く意欲のあるお年寄りに、得意分野を生かして働いてもらおうと良い。</p> <p>○高齢者に車いすを渡したり、または、パソコンを中心とした業務とするなど、高齢者でも対応できる仕事の環境を与えれば良いと思う。</p> <p>(類似意見 85件)</p> | <p>働くことを希望するお年寄りのため、高齢者の雇用を企業に働き掛けたり、希望する高齢者にお仕事を紹介したりする事業を計画しています。</p> <p>また、高齢者が働くことを通じて社会に参加し、生きがいの充実と健康の増進を図るシルバー人材センターの支援を行っています。</p> |
| <p>○ブラック企業などの問題について、相談できる場所を増やしてほしい。</p>  | <p>企業に働くことに関するルールを守ってもらうことについては、国や関係機関と役割分担をしながら取り組んでいます。</p> <p>札幌市では、企業と市民に働くことについて決められたルールを知ってもらうため具体的な事例や相談窓口をホームページでお知らせしています。</p>    |

## 政策分野「低炭素社会・エネルギー転換」

### 政策目標7 自然と共生する環境負荷の少ない街

#### 施策1: 持続可能な集約型の都市への再構築

| 意見の概要                          | 市の考え方   |
|--------------------------------|---|
| ○自然環境の豊かな街にしてほしい。<br>(類似意見 1件) | まちなかのみどりを充実させたり、今あるみどりを活用することで、みどり豊かなまちづくりを進めるとともに、環境に配慮したまちづくりを目指していきます。 |

#### 施策2: 多様な活動を支える環境に優しい交通体系の確立

##### ■自転車・駐輪場

| 意見の概要  | 市の考え方  |
|--|--|
| ○自転車駐輪場を増やしてほしい。<br>(類似意見 3件)  | 自転車が歩道上に置かれていて、歩行者が歩きにくくなっている駅の近くや街の中心部で駐輪場を増やしてきました。しかし、そのような場所は駐輪場に適した敷地を確保するのが難しくなっています。そうした中、今年度は空き地になった土地を活用するなど、5カ所約1,500台分の駐輪場を整備しており、今後も引き続き、整備していきます。   |
| ○札幌駅周辺にレンタサイクルがあると良い。もしあるなら、積極的にアピールすべき。   | 札幌駅近くの北5条西1丁目の駐輪場には都市型レンタルサイクル「エキチャリさっぽろ」があり、1日500円で利用できます。詳しい説明をホームページに掲載したり、観光案内所などにパンフレットを置いて、観光客へのアピールもしていますが、これからは、パンフレットを置く場所を増やすなど、さらに工夫していきたいと思っています。  |
| ○車道で自転車が通る道を広くして歩道を走る自転車が減るようにするなど、自転車を利用しやすくしてほしい。<br>(類似意見 8件)                         | 道路全体の幅は決まっているので、車道で自転車が通る道を広くすることは、その分自動車が利用しづらくなって渋滞が起こってしまうなどの問題につながります。そのため、自転車が通行する位置を路面に表示することで車に注意を促すなど、安全に通行するための工夫をしていくほか、自転車は車道の左側を通行するという原則の周知に努めていきたいと思っています。   |
| ○点字ブロックの上に自転車などを置かせないよう、厳しく取り締まってほしい。<br><br>○歩道上に絵を描くなど、違法駐輪を抑制する取組をしてほしい。<br>(類似意見 1件) | 歩道や、点字ブロック上の放置自転車は、通行する皆さんの迷惑になっています。道路に自転車を置かれないようにするためには、まず、十分な駐輪場を整備して、利用していただくことが必要だと考えていますが、札幌市内にはまだ駐輪場が足りていない場所もあります。そこで、今年度は空き地になった土地を活用するなど、5カ所約1,500台分の駐輪場を増やしています。<br><br>駐輪場の整備には、敷地の確保や、多くの予算を必要としますが、今後も工夫しながら、引き続き整備を進めていきます。また、自転車を道路に置かないように、駐輪ルールやマナーを呼び掛けるような取組も並行して行っていきます。 |
| ○コンビニエンスストアの自転車置場が手狭で、自転車が道路にはみ出していて危険なのでどうかしてほしい。                                       | まずはコンビニエンスストア側で、お客さんが自転車をきちんと停められる置場をつくるのが前提ですが、道路の安全を守るために、はみ出た自転車があった場合は、お店や利用者の方にルールやマナーを呼び掛けるなど、対応していきたいと考えています。   |

| 意見の概要   | 市の考え方  |
|---|--|
| <p>○市電のループ化で自転車の押し歩きをしてほしいと言われているが、自転車のことも考えて道を造ってほしい。</p>  | <p>歩行者、自転車、自動車などが安全で快適に利用できるように、道路の幅や使われ方などを考えながら、都心部や駅周辺を中心に、自転車が利用しやすい環境づくりを進めていきたいと思えます。</p>  |
| <p>○ヨーロッパにあるようなトランジットモールの導入を札幌でも取り組んでほしい。これにより、駅前通一帯を使ったイベントを開いたり、自転車専用道路を確保したりするなど、街の活性化と安全確保を両立できる。</p> <p>※トランジットモール…中心市街地の商店街などで、一般車両の通行を制限し、バスや路面電車などの公共交通機関と歩行者の通行のみを許可した空間</p> | <p>札幌の都心部では、これまで、道路を広場化した札幌市北3条広場（愛称：アカブラ）の整備や、夏季休日の、駅前通や南一条通での歩行者天国の実施などを通して、様々な活動や気軽に憩うことができる場を創出し、まちの活性化と魅力向上を図ってきています。</p> <p>今後も歩きたくなるまちの実現を目指して、まちづくりと連携した歩行者ネットワークや公共交通など、交通体系の方向性について一体的に検討を進めていきます。</p>                           |
| <p>○JR白石駅の自由通路について、自転車が通りやすいように右側通行の決まりを導入し、自転車を通れるようにしてほしい。</p>  | <p>JR白石駅などの連絡歩道については、南北に横断する歩行者のほか、駅の乗降客も多数利用する施設のため、現在のスペースに新たに自転車専用の通行帯を設けることは困難です。</p> <p>また、右側通行の導入については、駅の乗降客が集中する朝夕のラッシュ時間などに、連絡歩道を通行する人と駅利用者の流れが入り交じり、混雑してしまう恐れがあることや、JR白石駅の自由通路のような車両が通行しない道路では、右側通行の規定が適用されないことから、ご理解をお願いします。</p> |

#### ■路面電車

| 意見の概要   | 市の考え方   |
|---|---|
| <p>○札幌の魅力を高めていくためには、市電の駅をもう少し目立つようにした方が良いと思う。</p> | <p>市電の停留場は景観への配慮から、緑・茶色のような自然の中にある色を主体とした配色となっていますが、新しく開業する駅前通の狸小路停留場は、今までにないようなデザインの停留場になる予定です。既存の停留場についても地域に愛されるよう、改修時期に合わせて検討していきます。</p> |

#### ■地下鉄

| 意見の概要  | 市の考え方  |
|--|--|
| <p>○公共交通を利用するとき、子どもが騒ぐと迷惑を掛けてしまうので、子どもが集まれる場所を指定すると良い。</p> | <p>スペースの問題などにより、実施は難しいと考えています。周囲の迷惑になるような行為は控えていただくよう、ポスター掲出などでマナー啓発を行っているところです。</p>   |
| <p>○地下鉄の騒音を小さくしたり、改札を増やしたりすると、もっと快適になる。</p>                | <p>地下鉄の騒音は、電車が走るときの音がトンネル内に響いて大きく聞こえているものなので、小さくするのは難しいです。</p> <p>改札機の設定台数は、各駅の乗車人員や駅の特長性を考慮しながら決めており、適正な台数と考えていますが、利便性を向上させるため、全ての改札機でICカードが使えるように、順次更新しているところです。</p> |

| 意見の概要  | 市の考え方   |
|--|---|
| <p>○札幌駅周辺を便利にするということだが、まず駅のホームを安全にすることを優先すべきなのではないか。</p>                                       | <p>現在、南北線・東西線のホームには、走行路面への転落防止のため、ホーム柵を設置しており、アクションプランでは、東豊線についても平成29年度までに全駅に設置することとしています。その他にも、駅員がホームを巡回したり、お客様の誘導を行ったりするなど、市民の皆さんが安全に地下鉄をご利用できるよう努めています。</p>  |
| <p>○地下鉄などで車いすの方が列車に乗るとき、係の人を呼んで、木の板を持ってきてもらい、ようやく乗るといったやり方は効率が悪い。もう少し車いすの方にも暮らしやすい街にしてほしい。</p> | <p>車いすのお客様が自由に乗降できることが望ましいですが、ラッシュ時などたくさんのお客様が乗り降りするときには地下鉄が揺れてしまうので、地下鉄車両がホームにぶつからないよう地下鉄車両とホームの間にはある一定の隙間が必要となります。そのため、車いすのお客様が安全にご利用いただけるよう、渡し板を使用しています。</p> |

### 施策3：自然との共生とみどり豊かな都市づくりの推進

| 意見の概要  | 市の考え方   |
|--|---|
| <p>○ハトに餌をあげたり犬のふんを放置したりする行動を防止し、きれいな街にすることで観光客が増えると思う。</p> <p>(類似意見 1件)</p>  | <p>餌やりについては、禁止する法律や条例はありませんが、野生動物への餌やりは生態系のバランスを崩す恐れがあるため、やめていただくように周知しています。さらに、「鳥のふんで家が汚され、迷惑している」といった相談があった場合は町内会と協力し、餌をあげている方へ注意しています。</p> <p>犬のふんについては、平成17年から札幌を安全で美しい街にするための条例を施行しており、飼い犬のふんの放置を禁止しています。犬のふんなどがきれいな街を目指して、引き続き条例を知ってもらうよう、活動していきます。</p> |
| <p>○北海道の四季の景観を大切に、よりキレイな札幌市をつくり上げていけば、観光客は増えると思う。</p>  | <p>四季の変化が明瞭な札幌の特徴を踏まえ、札幌市景観計画に以下の基準を定め、大規模な建築物等の建築などの際に届出・協議による景観誘導を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外壁の色彩について、北国特有の自然や季節感などを基調とし、札幌の気候・風土などから選定した「札幌の景観色70色」に準じて配慮する。</li> <li>・雪に配慮したデザインを考える。</li> <li>・地域の環境に合った樹種の選定を配慮する。</li> </ul> |
| <p>○自然と緑を増やすことで、心が豊かな街になり、観光客が訪れやすくなると思う。その際、木をいたわる気持ちをみんなが持てれば良い。</p> <p>(類似意見 13件)</p>   | <p>北国の気候に適した花や木々を使って、みどり豊かなまちづくりを進めるとともに、公園や森などでは、みんなが集い楽しみながら、花やみどりを守り育てる取組を行っています。引き続き、みどりを増やし、守り育てる取組を進めていきます。</p>   |
| <p>○温暖化すると雪がなくなるので、植樹活動が必要。</p> <p>○街の緑を増やすために、木を植えるイベントを開くと良いと思う。その時に、落葉で一つの絵を完成させるイベントをすると、参加してくれる人が増えると思う。</p> <p>(類似意見 6件)</p> | <p>昭和42年から公園・緑地の予定地で植樹祭などを開催し、市民の皆さんと一緒に木を植えたり、森を育てたりする活動を行っており、今後も引き続き取り組んでいきます。また、提案いただいた内容を含めて、たくさんの方が参加してくれるような企画を考えていきます。</p>  |
| <p>○大通など人が行き交う場所に緑を増やすと良いと思う。</p>  | <p>市民や観光客に憩いの場所を提供するため、札幌駅や大通公園周辺を中心に、北国の花や緑を使った花壇などを整備しています。今後も、魅力のあるみどり豊かなまちづくりを進めるため、引き続き、都心部を中心とした緑化に取り組んでいきます。</p>   |

| 意見の概要                                  | 市の考え方  |
|--|--|
| ○通学路のカラス対策をしてほしい。                      | カラスは鳥獣保護管理法という法律の対象であるため、人に対して被害を及ぼさない限り捕まえることはできません。そのため、巢の近くを通る必要がある場合は傘を差すなどの自己防衛の方法を周知しています。   |
| ○伏見地区の森や木を増やしてほしい。                     | 藻岩山山麓の一部でもある伏見地区の自然環境を守り育てていくため、民間の方が所有する森を市が買い取る取組を進めているほか、建物を建てたり直したりする際には、木を植えるスペースの確保や緑化をしていただく制度などを設けています。伏見にお住まいの方を始め、より多くの皆さんに森や木などの自然環境を大切してもらうため、引き続き、豊かな自然を生かした取組を進めていきます。 |
| ○クワガタが棲むことのできる森をつくってほしい。               | 市民と協働で郷土樹種(ハルニシやミズナラなどのクワガタの好む木も含む)を使用し、森づくりのための植樹活動を実施しています。  |
| ○平和の山道を整備するボランティア活動があると良い。             | 平和地区には平和の滝から手稲山まで散策できる自然歩道を整備しています。また、市内の森林内では、森林ボランティアの方々に協力をいただきながら、森を守り育てる活動に取り組んでいます。今のところ平和地区での活動はありませんが、「森林ボランティア」活動に関する情報発信を行うなど、活動を促進していきます。                                 |
| ○平和に自然をテーマにした施設を造ってほしい。                | そのような施設を造る予定は現在ありませんが、円山動物園では北海道に住む動物などを展示するほか、市内に住む動物を観察するイベントを行っており、そういった場で札幌市の豊かな自然を紹介しています。  |
| ○人間と動物が共存しやすくする環境を目指すと思う。<br>(類似意見 3件) | 札幌の自然豊かな環境を守り、野生生物との共生を目指すため、札幌市では平成25年に策定した「生物多様性さっぽろビジョン」に基づき、自然環境の保全や環境に配慮したライフスタイルの普及を進めており、今後も市民や企業、活動団体と協力しながら、取組を進めていきます。   |

## 政策目標8 エネルギー効率の高い持続可能な街

### 施策1:次世代エネルギーシステムの普及促進

| 意見の概要   | 市の考え方   |
|---|---|
| ○電気自動車の利用を進めると良い。                               | 電気自動車などのできるだけ二酸化炭素を出さない自動車への切り替えや、充電設備を作ることを引き続き支援していきます。   |
| ○雪を冷房に使うことでエネルギーを節約することはできないか。<br><br>(類似意見 1件) | 雪を冷房エネルギーとして利用する試みは、モエレ沼公園や山口斎場、円山動物園など、すでにいくつかの市有施設で実施しています。<br>これにより、通常の冷房装置が稼働することで発生するCO <sub>2</sub> を削減しています。 |
| ○今後作っていく建物について、暖房を少なくしても快適に過ごせるような工夫をすれば良いと思う。  | 札幌市では、住宅で使われる暖房エネルギー量を減らすため、少しの熱で家全体が暖まる「札幌版次世代住宅」の普及を進めています。これからは一戸建住宅のほかにマンションなどにも同じような工夫ができないか、検討します。            |

### 施策3:市民・企業による環境負荷低減の取組の推進

| 意見の概要   | 市の考え方  |
|---|--|
| ○街路灯をLEDライトにして明るくすると良いと思う。<br><br>(類似意見 1件)                     | LED街路灯については、今までの街路灯に比べて、省エネや節電の効果が非常に大きいため、積極的に交換を進めています。  |
| ○キャンプ場などで必要ない火を使っている人などに対し、空気を汚さないよう呼び掛けたりポスターなどで周知したりすると良いと思う。 | 大気汚染を防止するには、一人一人が空気を汚さないように気を付けて行動することが大切です。札幌市では、大気を保全するため様々な取組を行っていますが、いただいたご意見も参考に、きれいな空気を守れるよう取り組んでいきます。 |

### 施策4:循環型社会の構築

| 意見の概要   | 市の考え方  |
|---|--|
| ○地球温暖化の課題を解決するため、ごみを減らすような工夫を一人一人が心掛けると良い。<br><br>(類似意見 7件) | ごみの減量については、動画作成やパンフレットの配布、イベントの実施など、様々な広報を実施しています。<br>例えば、生ごみは捨てる前に水切りすることで焼却効率が上がり、一般家庭1,500軒分の電力が生まれることや、食品ロスを減らせれば、年間で食品約50kg、約30,000円の節約になることをパンフレットなどに記載し、ごみの減量を呼び掛けています。<br><br>今後も市民の皆さん一人一人がごみについて関心を持ち、ごみの減量・資源化などを心掛けてもらえるよう呼び掛けていきます。 |

| 意見の概要   | 市の考え方   |
|---|---|
| <p>○郊外の市街地に落ちているごみの対策をとってほしい。</p> <p>○札幌駅前通周辺以外の地域でもごみの「ポイ捨て禁止条例」を作るべき。喫煙スペースを増やせばポイ捨ての防止につながる。</p> <p>(類似意見 24件)</p> | <p>平成17年から札幌を安全で美しい街にするための条例を施行し、札幌市全域でのポイ捨てを禁止するとともに、歩きタバコはしないよう努めるというルールを定めています。</p> <p>また、公共の場所におけるごみ拾い活動で使用する火ばさみ、軍手、ゴミ袋などの支援についても定めており、地域におけるごみ拾い活動をサポートしています。</p> <p>条例を知ってもらい、守ってもらうことが大切だと考えており、地下鉄車内でのポスターの掲示やキャンペーンイベントの実施などを通じて啓発に取り組んでおり、今後もたばこの吸い殻や空き缶などのポイ捨てを防止し、歩きタバコを減らせるよう活動していきます。</p>      |
| <p>○ごみ拾い週間や月間をつくり、その期間はごみ袋の料金を無料にすることで、きれいな街にしていけば良いと思う。</p>  | <p>道路や公園などに落ちているごみを集めるために、無料の「ボランティア袋」をお渡ししており、いつでも、どなたでもごみ拾いができる環境を整えています。いただいたご意見は、きれいなまちづくりに取り組んでいく中で参考にさせていただきます。</p>   |
| <p>○要らなくなったおもちゃをリサイクルに出して再度使ってもらおうと良い。</p>  | <p>いらなくなったおもちゃはフリーマーケットに出したり、リサイクルショップに売れば、また必要な人に使ってもらえると思います。</p> <p>大型ごみの子ども用遊具は、大型ごみ収集センターに「リサイクルで」と申し出てもらえれば、リサイクル収集してリサイクルプラザ宮の沢やリユースプラザで展示・提供しています。</p>  |
| <p>○エコキャップやリングブルの回収に力を入れる。</p>  | <p>ペットボトルのキャップは「容器包装プラスチック」の日、リングブルは缶に付けたまま資源物として回収し、再利用しています。売却される缶の収入はごみ処理費用などに充てられ、税金の節約につながっています。</p>   |
| <p>○1日に2種類のごみを出せるようにしてほしい。</p>  | <p>札幌市でも、平成21年6月まで「びん・缶・ペットボトル」と「容器包装プラスチック」を同じ日に出していただき、別々の収集車で収集していました。</p> <p>しかし、収集する時刻に差が出てしまい、片方のごみを収集した後に同じ種類のごみが出される、いわゆる「ごみの後出し」がごみステーションを管理する上での問題となりました。</p> <p>そのため、同年7月の「新ごみルール」開始に合わせて、収集日を分けたという経緯があります。このことから、ごみを1日に2種類出せるようにすることは難しいと考えていますが、これからも環境やごみに関する事について、ぜひ興味・関心をお持ちいただきたいと思います。</p> |
| <p>○リユースとして不要なものを寄付してもらい、無料のバーゲンセールを行うと良い。</p> <p>○使わなくなった物を寄付してもらい、リサイクルをする。</p>                                     | <p>不要なものはフリーマーケットやバザー、リサイクルプラザ宮の沢のリユース品コーナーに出したり、リサイクルショップを利用したりすることにより、必要とする人に譲ることができます。</p> <p>古着はクリーニング店など回収拠点に持ち込むと再利用されます。また、大型ごみのうち、木製の家具や子ども用遊具、自転車は、大型ごみ収集センターに「リサイクルで」と申し出てもらえれば、リサイクルプラザ宮の沢やリユースプラザで展示・提供されます。</p>  |

| 意見の概要   | 市の考え方   |
|---|---|
| <p>○カラスがごみステーションを襲わないように工夫してほしい。</p> <p>○ごみステーションをカラスがあさり、歩道にごみが散乱していることがあるので、その対策をした方が良くと思う。</p> <p>○カラスに荒らされるのを防ぐために、箱型のごみステーションを普及させるべきだと思う。</p> | <p>カラス被害などを防止するためのネットやサークルの購入費の助成事業を実施するとともに、さっぽろごみパト隊という職員が、それぞれのごみステーションの状況に応じた改善策について、地域の方々に助言、提案を行う取組を進めています。</p> <p>箱型のごみステーションは、カラス対策の一つとして非常に有効ですが、通行の妨げになるおそれがあるため、歩道上に箱型ごみステーションを設置することはできません。このため、札幌市では、敷地内に設置する場合に限り、購入費の助成を実施しています。今後も、ごみステーションが清潔に保たれるよう取組を継続していきます。</p>               |
| <p>○ごみ箱を増やしてほしい。</p> <p>○街をきれいにするため、街並みに合ったごみ箱を置くと良く思う。</p> <p>(類似意見 4件)</p>  | <p>街中にごみ箱があれば、いつでもごみが捨てられ、便利かもしれませんが、ごみ箱があると心ない人が自分の家のごみを持ち込んだり、ごみ箱からごみがあふれて周りが汚れるといったことにもつながります。</p> <p>お店などでは外に設置していたごみ箱を撤去したり、屋内に移しています。公共の場所においてもこのような状況にならないよう、札幌市ではごみ箱を設置するのではなく、ごみは持ち帰るということを広く知ってもらうよう活動していきます。</p>   |
| <p>○有料ごみ袋について、もっと頑丈で大きい袋を売ってほしい。</p>  | <p>黄色のごみ袋は、国の法律で決められた基準（JIS規格）に合わせて製造しており、強度が弱いものではありませんが、とがったものや重たいものを入れると破れる場合があります。ごみ袋の品質については、引き続き管理を徹底していきます。</p> <p>袋の大きさについては、他の市町村の状況を踏まえ、ごみを出す量に合わせて市民が利用しやすいと考えられる4種類（5、10、20、40リットル）としており、市民アンケートでも、「現行どおりで良い」との意見が6割以上であったことから、今のところもっと大きな袋を作る予定はありませんが、今回いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。</p> |
| <p>○リサイクルボックスを増やしてほしい。</p> <p>(類似意見 1件)</p>   | <p>札幌市では、さまざまな資源物を回収しています。例えば新聞・雑誌・ダンボールは「古紙回収ボックス」や「エコボックス」などで、使用済み小型家電は「小型家電回収ボックス」や「回収拠点」で、古着はクリーニング店などで無料で回収しリサイクルしています。資源物の回収について広く市民の方に知っていただけるよう、今後とも周知していきます。</p>   |
| <p>○使い終わった油などを燃料としたバス運行などを行うと良く思う。</p>  | <p>平成18年度から、家庭から出る廃食用油の回収に取り組んでいます。バイオディーゼル燃料として、百合が原公園のリートレインや、さっぽろホワイトイルミネーションに使われています。今後も資源のリサイクルを進めていきます。</p>   |

## 政策分野「戦略を支える都市空間」

### 政策目標9 世界都市としての魅力と活力あふれる街

#### 施策2: 魅力ある市街地 ②郊外住宅地

| 意見の概要   | 市の考え方  |
|---|--|
| ○空き家対策として、寄付されたお金で建物を壊し、その木材や家具を他の建築に使ったり、売ったりすると良いと思う。 | 空き家は所有者個人の持ち物であり、その解体のための費用として札幌市に寄付されたお金を充てることは難しいですが、札幌市では、危険性のある空き家の解体を促進するため、所有者が解体する際の費用を補助する仕組みを作りました。 |

#### 施策3: 魅力ある市街地 ③一般市街地

| 意見の概要  | 市の考え方  |
|--|--|
| ○札幌のまちづくりとして、郊外部はどのような方向で進めていくのか。  | 今後は、地下鉄駅の周辺などにも多くの人を訪れることで様々なにぎわいや交流が生まれる取組を進めていくほか、郊外の住宅地における課題を解決し、総合的なまちづくりを進めるため、市民・企業・行政などの協働による地域の取組を行うこととします。   |
| ○身近に商業施設のある街にしてほしい。<br>(類似意見 3件)   | これまでも、郊外の住宅地では、歩いて行くことができるような身近な範囲に、日常生活に必要な店舗が立地できるよう、都市計画のルールを変更してきたところです。今後も、生活に必要な施設の立地について、皆さんの声を聴きながら、検討を進めていきます。  |
| ○最近の平和地区は住宅建設が進み、自然が少なくなっていると思う。   | まちなかのみどりを充実させたり、今あるみどりを活用することで、みどり豊かなまちづくりを進めるとともに、使用するエネルギー量を減らすなど環境に配慮したまちづくりを目指しています。   |
| ○すすきの、大通は排気ガスなどにより環境が良くない。もう少し道を広くしたり緑を増やしたりすべき。その分、他の区はその土地の自然を生かしながらお店を増やすなどにぎわいを出す必要があると思う。 | すすきの、大通を含む都心では、みどりのある美しい街並みと環境に負担を掛けないまちを目指しています。今後も、市民や企業の皆さんに協力いただきながら、都心部のみどりの確保に取り組むとともに、環境に負担を掛けないよう公共交通の利用促進に取り組んでいきます。<br><br>また、都心部以外においては、都市の魅力を高めるために、今あるみどりを活用しながら、環境に配慮したみどり豊かなまちづくりを進めるとともに、多くの人が集まる地下鉄駅の周辺などには、お店が立ち並び、にぎわいや様々な交流が生まれる場所づくりを進めることにしています。 |

#### 施策4: 活力があふれ世界を引きつける都心

| 意見の概要   | 市の考え方   |
|---|---|
| ○札幌がもっと活気づくために、地下街を増やすなどと良いと思う。                           | 地下鉄駅や地下通路に周りの建物をつないでもらい、便利で楽しいまちづくりを進めます。   |
| ○狸小路には最近パチンコ店ばかりが増えて、狸小路の1丁目などは人気が少ないと感じるので、目立つ建物を建てると良い。 | 狸小路を含む大通地区の6つの商店街と一緒に、大通地区の活性化に向けた議論を行い、狸小路における活性化プロジェクトを支援しています。また、建物の建て替えについて相談があった際は、大通地区の活性化につながるような建物が建築されるように誘導し、支援を検討していきます。 |

| 意見の概要   | 市の考え方   |
|---|---|
| ○大通公園や狸小路周辺などを見ていると、東京のような近代化を目指しているように見える。便利なかもしれないが、自然が少なくなってきたようで寂しく感じるので、少しずつゆっくと発展させていけば良いと思う。 | 今後近い将来、札幌でも人口減少や少子高齢化に伴って経済活力が低下していくことが予想されるため、働く場を増やし、まちの元気を維持・活性化していくことが必要となっています。そのためには、自然や景観にも配慮しながら、国内外から人が集まり、様々な活動が行われる魅力あふれる都市を目指して、都心をより便利にしていくことが重要です。そのような中でも、市民の皆さんや観光客の方が、親しむことができるような札幌であり続けることに十分配慮しながら、まちづくりを進めていきます。 |
| ○人が集まる都心の取組は続けてほしいが、札幌の端の方のことも考えてほしい。   | 都心での取組を継続していくほか、今後は、地下鉄駅の周辺などにも多くの人を訪れることで様々なにぎわいや交流が生まれる取組を進めていきます。また、郊外の住宅地における課題を解決し、総合的なまちづくりを進めるため、地域住民との話し合いなどを通じて、市民・企業・行政などの協働による地域の取組を行うこととします。  |
| ○JRタワーやテレビ塔から見下ろせるアートなど、札幌駅周辺や大通公園周辺をアートの街にすると良いと思う。  | 創造都市として創造性を活かしたまちづくりを目指しており、札幌駅周辺や大通公園周辺のまちづくりを進めていく上で、北3条広場で行ったフラワーカーペットのようなアートに親しむことのできる取組についても検討していきます。  |
| ○札幌の魅力を増やすため、にぎやかな場所を増やす。   | 都心だけでなく、多くの人が集まる地下鉄駅周辺などにも、お店が立ち並び、にぎわいや様々な交流が生まれる場所づくりを進めるなど、札幌全体の魅力向上に取り組んでいく考えです。  |

### 施策5:多様な交流を支える交流拠点 ①地域交流拠点

| 意見の概要                 | 市の考え方  |
|-----------------------|--|
| ○四季を楽しめる街並みづくりをしてほしい。 | 四季の変化が明瞭な札幌の特徴を踏まえ、外壁の色や建物のデザインなどに関する基準を設け、建物の建築主に配慮してもらった仕組みを作り、景観の良い街並みづくりに努めています。 |

### 施策7:持続可能な都市を支えるネットワーク ①交通ネットワーク

| 意見の概要  | 市の考え方   |
|--|---|
| ○観光客にも分かりやすく便利になるように、交通の便を良くしてほしい。<br>(類似意見 3件)            | 鉄道やバスの事業者とも協力しながら、市民や観光客などが利用する公共交通をより使いやすく便利なものにしていきます。                              |
| ○東京オリンピック開催で増える外国人観光客のために、公共交通機関を利用しやすくしてほしい。<br>(類似意見 1件) | 外国人観光客にも公共交通機関が利用しやすいよう、情報提供の充実に取り組んでいきます。  |
| ○札幌を観光しやすくするために、公共交通機関の割引を増やせば良いと思う。                       | 運賃の割引については、サービス向上につながる取組ですが、市営交通事業の経営は今後も厳しい状況が続くと見込まれることから、慎重に判断していかなければならないと考えています。 |

| 意見の概要  | 市の考え方   |
|--|---|
| <p>○高齢者が移動しやすくするため、バスの路線を増やして、利用者数を増やしてほしい。</p> <p>(類似意見 5件)</p> | <p>バスの利用者数は減少傾向にある中で、バス路線を適切に維持していくため、赤字路線に対する補助金の交付などを行っています。</p> <p>今後もバス利用者数がさらに減少することが予想されますので、バス会社とより一層連携し、公共交通をより使いやすくするための取組を進めていきたいと考えています。</p> |

■地下鉄・市電

| 意見の概要   | 市の考え方   |
|---|---|
| <p>○地下鉄駅がない地域に新たに駅を造る。移動の負担が減って快適だし、学校や通勤に掛かる交通費の負担も減る。</p> <p>○観光客を増やし活気にあふれた街にするため、車の流れを良くすると良いと思う。そのためには、地下鉄やバス路線を延長すると良い。</p> <p>○東西線はもう一駅延ばすだけでも、かなり市民の利用が高まると思う。</p> <p>○人を中心部と郊外に分散させて地域経済を発展させるために、東豊線の延伸など、交通機関を充実させてほしい。</p> <p>(類似意見 6件)</p> | <p>市内各地に地下鉄を伸ばしていくことは、これから人口減少や高齢化が進むことや、工事にたくさんのお金がかかることから慎重に判断しなければなりません。バス会社などとも協力して、公共交通を使いやすく便利なものになるよう取り組んでいきます。</p>                                    |
| <p>○大通以外でも地下鉄3路線を乗り換えできるようにしてほしい。</p>   | <p>大通駅以外でも地下鉄3路線の乗り換えができるようにするためには、新たに路線を延ばして駅を造るなどの必要があり、多くの費用が掛かることから現時点では実現は難しいと考えていますが、より市内移動がしやすい環境を作るため、他の公共交通機関とも連携していきたいと思えます。</p>                    |
| <p>○地下鉄の料金が高いので関東と同程度にしてほしい。</p> <p>○地下鉄の乗車料金に親子セット割引を導入する。</p>   | <p>地下鉄では、サピカ利用による独自のポイント付与サービスや、ドニチカキップなどの割引が多い乗車券の発売をしていますが、苦しい経営が続いているため、料金の値下げや新たな割引制度の導入については慎重に考える必要があります。今後とも多くの方々に市営交通を利用してもらえるような取組を考えていきたいと思えます。</p> |
| <p>○市電のスピードを少し速くすべき。</p>  | <p>市電は自動車と比べて、ブレーキをかけてから止まるまで2倍以上の距離が必要です。また、自動車のようにハンドルがないため障害物をよけることができません。従って、事故を防止するために、時速40km/h以下で走るようにしています。</p>  |
| <p>○山の手線のように札幌市内を環状に循環する列車を造ってほしい。</p>  | <p>新たな列車を造ることについては、乗る人の数や造るためのお金がいくら掛かるかなどを考慮し、慎重に判断しなければなりません。現在、市電の西4丁目とすすきのを結ぶ環状化を進めており、12月20日から利用できるようになります。</p>  |
| <p>○市電は複雑でなく安いので、人通りの多いところまで広げたら街がより便利になると思う。</p> <p>(類似意見 5件)</p>  | <p>市電を延伸することについては、まず、ループ化の効果を見極めた上で、交通面、まちづくり面、経営面などへの影響も考慮して検討していきます。</p>  |

■道路

| 意見の概要   | 市の考え方  |
|---|--|
| ○国道5号で渋滞をよく見るので、高速道路と重要な道をつなぐ「アクセス道路」を造ってほしい。 | 国道5号は、高速道路と札幌の都心部を結ぶ重要な道路ですので、市民や観光客など、利用する人が渋滞することなくスムーズに移動できるような方法を考えていきます。            |
| ○道路の渋滞を解消するための仕組みが必要だと思う。                     | 道路の渋滞を解消するために、交差点部に右折車線を設置するなど対策を行ってきていますが、引き続き、必要に応じて対策を進めていきます。                        |
| ○平和と定山溪を道路でつなげてほしい。                           | 新たに大規模な道路を整備することは、今後人口減少や高齢化が進むことや、工事にたくさんのお金が掛かること、また、自然との調和を考えると慎重に判断しなければならないと考えています。 |
| ○横断歩道を増やすことでお年寄りや子どもの交通事故を減らすことができると思う。       | 横断歩道を設置するのは警察の仕事となりますが、事故の多い箇所などでは、札幌市も協力しながら横断歩道の設置が進められています。                           |
| ○街路灯の数を増やしてほしい。<br>(類似意見 19件)                 | 街路灯は国が定めた基準に従い、道路の広さや交差点の大きさに合わせて設置されますが、見通しの悪い場所などについては、安心して歩けるように、状況に配慮して設置していきます。     |

**施策8:持続可能な都市を支えるネットワーク ②みどり豊かな空間のネットワーク**

| 意見の概要   | 市の考え方   |
|---|---|
| ○都市の魅力を高めるために、しっかりと自然を残す必要がある。<br>(類似意見 1件)   | 都市の魅力を高めるために、まちなかのみどりを充実させたり、今あるみどりを活用したりすることで、環境に配慮したみどり豊かなまちづくりを目指していきます。   |
| ○大通公園を中心にごみ拾いや花植などの美化運動を行うべき。                 | 大通公園では、指定管理者による清掃のほか、多くの企業や市民団体などがボランティアで清掃をしています。また、花植えについても企業や市民ボランティアが作る花壇が多く設置されています。こうした市民や企業との協力による活動が街全体に広がっていくよう努力していきます。 |
| ○歩道上に木があって危険なところがあるので、対策をしてほしい。               | 歩道の中央に樹木がある場合は、昔からある巨大な樹木を保全しているなど様々な理由が考えられますので、お住まいの区土木部へご相談ください。   |
| ○色んな道に花を植えることで、ポイ捨て防止や防犯につながるとともに、景観も良くなると思う。 | きれいな街並みをつくるため、ボランティアや地域にお住まいの皆さんとともに歩道などでの花植えを行っており、引き続き取り組んでいきます。  |

■公園

| 意見の概要   | 市の考え方   |
|---|---|
| <p>○小さい子ども用の公園を造る。</p> <p>○どの世代でも楽しめる公園を造ると良い。</p> <p>○公園がもっと広く、ネットやゴールがあると楽しいと思う。そり滑りやミニスキーができるちょっとした山がある公園もあると良い。</p> <p>(類似意見 31件)</p> | <p>札幌市には2,700カ所以上の公園があるほか、土地の確保などの課題もあり、公園数をたくさん増やすことは難しいと考えています。市内には、大きな広場がある公園やスポーツができる公園、自然豊かな公園など、いろいろな種類や使い方ができる公園がたくさんありますので、目的に合わせてご利用ください。</p> <p>このほか、古くなった身近な公園を改修する際には、アンケートや話し合いをして、地域の状況やお住まいの方々の意見を取入れながら、多くの方にとって魅力のある公園づくりに取り組んでいきます。</p> |
| <p>○公園に屋内施設を設置し、天候に関わらずボール遊びをたくさんできるようにしてほしい。</p>   | <p>公園の特色づくりのため、屋内施設を設置した公園も過去にはありますが、街の中のオープンスペースとして開かれた空間であることが公園の大切な要素と考えており、現在は屋内施設を公園に設置する予定はありません。屋内の遊びについては、各区にある体育館の利用をお願いします。</p>   |
| <p>○公園でボール遊びなどができるようにしてほしい。危ないとはいえ、全てできなくしてしまえば、運動不足になるなど良くない面もあると思う。</p> <p>(類似意見 1件)</p>  | <p>公園内でのボール遊びについては、他の利用者に危険を及ぼす恐れがあるので原則禁止していますが、十分な広さのある広場など、他の公園利用者に迷惑が掛からない場所では楽しんでいただけます。</p>   |
| <p>○公園で楽しく快適に遊べるよう、古い遊具を更新する必要があると思う。</p> <p>(類似意見 2件)</p>  | <p>札幌市の公園では、完成後30年以上が経過した公園が6割以上あるため、利用の多い公園から優先順位をつけ、遊具などを順次更新しています。</p>   |
| <p>○公園にサッカーゴールを置いてほしい。</p> <p>(類似意見 1件)</p>   | <p>比較的広い公園の多目的広場では、サッカーも含めたボール遊びができますが、より多くの人に楽しんでいただきたいと考えているため、サッカー専用とはしておりません。趣旨をご理解いただき、他の公園利用者に迷惑の掛からない範囲でご利用ください。</p>   |
| <p>○遊具で遊んでいる子どもにサッカーボールがぶつからないように、公園のグラウンドをフェンスで囲んでほしい。</p> <p>(類似意見 1件)</p>  | <p>公園の利用は、人に迷惑を掛けない、危険なことをしないことが原則です。このことから多くの公園ではボール遊びが禁止になっています。ボール遊びができる多目的広場のある公園をご利用ください。</p> <p>また、広いスペースがあり、地域の皆さんの合意が得られれば、柵の設置も検討しますので、各区土木部にご相談下さい。</p>   |
| <p>○公園のポイ捨てなどを禁止することできれいに保つ必要があると思う。</p> <p>○公園など、いろいろなところにごみ箱を設置すると良い。</p> <p>(類似意見 3件)</p>  | <p>札幌の公園の多くはごみ箱がありません。ごみ箱がなくなったことで、公園にごみを置いていく人が激減しました。これは市民が公園をきれいにしたいと協力してくれたからです。今後もみんなが公園をきれいに使えるよう、ポイ捨てなどしないように、市民の力を借りながら、啓発活動を続けていきます。</p>   |
| <p>○公園の美化のため、鳥などに餌をあげることを禁止するべき。</p>  | <p>札幌市の公園では、野生動物の保護と公園利用者の迷惑の2つの観点から、餌やりを禁止しています。また、公園以外における餌やりを禁止する法律や条例はありませんが、こうした行為は生態系のバランスを崩す恐れがあるため、やめていただくように周知しています。</p>   |

| 意見の概要   | 市の考え方   |
|---|---|
| <p>○公園のトイレにペーパーホルダーを付けてほしい。公園のトイレをきれいに使うよう啓発するポスターを作ってほしい。</p>        | <p>市内の公園トイレは、週1～2回清掃・巡回を行っています。が、トイレトペーパーやポスター類などの燃えやすいものは、補充や点検など現在以上の労力や経費を必要とするほか、盗難や放火の恐れがあるため、設置していません。今後も公園トイレをはじめ、多くの人を使う公園施設を汚さないという習慣の徹底を、引き続きPRしていきます。</p>                    |
| <p>○トイレをきれいにしてほしい。</p> <p>○公園のトイレを地域で清掃すれば良いと思う。</p> <p>(類似意見 2件)</p> | <p>市内には約900カ所の公園トイレがあり、定期的な巡視や清掃を行っています。今後も公園トイレを始め、多くの人を使う公園施設を汚さないという習慣の徹底をPRしていきたいと思えます。</p> <p>また、東区の公園トイレで1カ所、地域住民の協力を得て、清掃をお願いしている公園があります。</p>                                    |
| <p>○公園にトイレをもっと設置してほしい。</p>  | <p>市内には約900カ所の公園トイレがありますが、建て替えたり、維持管理に大変費用が掛かる施設であるため、利用の少ない公園トイレを撤去するなど、限られた予算の中で、できるだけ効率的な管理を行えるように取り組んでいます。今後も地域の事情を考えながら、公園施設の適切な管理に取り組んでいきます。</p>                                  |
| <p>○公園の街灯が薄暗いので明るくしてほしい。</p> <p>(類似意見 1件)</p>                         | <p>身近な公園は日中の利用を想定しており、公園の照明灯は通路利用時など、防犯上必要な明るさを確保するように設定しています。また、最近では地球環境のために節電していく必要もあるため、地域の合意が得られた公園では消灯している状況です。</p>  |
| <p>○公園に多くの人に来てもらうために、祭りやバザーを行うと良いと思う。</p>                             | <p>大通公園などの大きな公園では、雪まつりをはじめ、多数のイベントを実施しているほか、身近な公園においても、地域の方々による町内イベントなどにご利用いただいています。</p> <p>一方、公園では散歩や遊具で遊ぶなど、日常的な利用を希望する方もたくさんいることから、より多くの皆さんに利用していただくため、今後も引き続き両立を図った公園管理を行っています。</p> |
| <p>○多くの公園において、時計の時刻が合っていないので改善してほしい。</p>                              | <p>公園を快適に利用していただくため、市内の公園では定期的な巡視や施設管理を行っています。が、修繕の必要な施設を見つけた際には、お住まいの区の土木部にご相談ください。</p>  |
| <p>○遊びに行くときに時間が分かるよう公園に時計を設置してほしい。</p>                                | <p>公園の時計について、市内の2,700カ所余りある公園全てに付けることは困難なため、現在はテニスコートなど有料施設があるような大きな公園に設置することとしています。また、身近な公園では、地域や企業等から寄付をいただいた場合に設置しています。</p>  |
| <p>○自然を目当てに札幌に来る外国人観光客のために、自然をテーマにした公園を造ってほしい。</p>                    | <p>市内には、自然豊かな公園がたくさんありますので、外国人観光客を含め、多くの方に利用していただけるようPRに取り組んでいます。また、南区小金湯に桜をテーマにした緑地を造成中であり、来年の春にオープンする予定です。</p>  |

## 施策10: 都市基盤の維持・保全と防災力の強化

| 意見の概要                            | 市の考え方   |
|----------------------------------|---|
| ○自然を壊してまで家を次々と建てていく必要があるのか疑問がある。 | 新たなまちづくりの計画では、基本的に現在の市街地をこれ以上拡大しないことにより、札幌の市街地を取り囲む豊かな自然を守ります。また、市街地のみどりの保全と創出に努めていく考えです。 |

### ■道路などの保全

| 意見の概要   | 市の考え方   |
|---|---|
| ○事故の多い道路の整備をしっかりとしてほしい。また、道路のパトロールをお願いしたい。  | 交通事故の多い大きな交差点などでは、事故を減らすため、交差点の形を変えることでスピードダウンにつなげたり、歩行者を見やすくするなど様々な安全対策を進めています。<br><br>また、道路や歩道橋などについては道路の幅や交通量に応じて計画的に道路パトロールを実施しています。  |
| ○道路工事の時期を分散するなどにより、支出を減らしてほしい。  | 計画的な補修・保全を行うことで、将来的に補修費用が大きくなるようにするなど、支出を減らす取組を行っています。また、道路の工事についても、春先の早い時期に工事が行えるよう、工事の分散化に努めています。   |
| ○危険な橋や道路がないよう、また、修理費用が将来大きくなり過ぎないように、今から少しずつ修理・保全を行ってほしい。<br><br>○歩行者がけがをせず、また車を運転しやすくように、でこぼこの道路を直してほしい。<br><br>(類似意見 17件) | 札幌市における道路や橋の補修・保全是、<br>①道路や橋を長く使えること<br>②長期的に補修の費用が大きくなること<br>③毎年同じくらいの費用で補修が行えること<br>④市民の要望を取り入れること<br>の4つのことを大切に計画に基づいて実施しています。また、パトロールや市民要望などにより、道路のでこぼこや壊れた点字ブロックを確認した際は、順次補修しています。 |

### ■建築物の保全

| 意見の概要  | 市の考え方  |
|--|--|
| ○ホテルの建て替えも大事だが、駅からホテルまでの道路などの整備にお金を使った方が良いと思う。   | 道路の整備についても大事だと考えているので、これからもしっかりと道路整備を進めていきます。  |
| ○建築物を全て建て替えるのではなく、一部だけ建て替えると良いと思う。また、建築する際には強度、耐久がある木を使うと良い。<br><br>(類似意見 8件)                            | 建築物の建て替えは、古くなるなど必要な部分について行っており、建築物の全部を建て替える場合と一部を建て替える場合があります。また、木を使うことができる場所は、できる限り使うようにしています。                        |
| ○施設の修理や整備は緊急性の高いものから実施すべき。特に子どもや高齢者が頻繁に使用する施設から修理していくことで、街の安全が保障されれば、自信を持って観光客を招くこともでき、まちの魅力向上にもつながると思う。 | 施設を安全に使用していただくために、現地調査や施設を管理している人の意見をもとに、緊急性の高いものから優先順位を決定し、順番に修理・改修を行っています。また、子どもや高齢者が安全に施設を利用できるようにバリアフリー化にも努めていきます。 |

■学校施設の老朽化対策

| 意見の概要   | 市の考え方  |
|---|--|
| <p>○老朽化した校舎を建て替えてほしい。</p> <p>○学校の建て替えや改修などをしていくと良いと思う。</p> <p>(類似意見 3件)</p> | <p>老朽化が進んでいる校舎や体育館については、基本的に古い建物から順に建て替えを行っています。今後は、老朽化した校舎や体育館が増えていくため、建て替えと並行して、建物を長く使うための改修を行う「学校施設リニューアル改修事業」をアクションプランに盛り込んでいます。</p> |
| <p>○老朽化した校舎を修繕してほしい。</p>  | <p>校舎や体育館の雨漏りなどの老朽化については、短期間かつ集中的に修繕していくため、アクションプランにおいて「学校施設緊急整備事業」を盛り込んでいます。</p>  |
| <p>○学校を建て替えたり、修理したりしている間、通っていた人たちはどうなるのか知りたい。</p>                           | <p>学校の建て替えや修理を行っている間は、その学校の児童生徒が他の学校に行くのではなく、これまでどおり通うこととなります。工事は児童生徒の安全確保に努めながら行っています。</p>  |

## 第3章 行財政運営の取組

### 1 行財政運営の基本的な考え方

#### 行財政運営に関する現状認識

| 意見の概要                       | 市の考え方   |
|-----------------------------|---|
| ○教員は別として、札幌市の職員は多いのか、少ないのか。 | 平成27年の札幌市の職員数は14,400人で、最も多かった平成3年の18,235人に比べて約4,000人少なくなっています。また、市民一人当たりの職員数は他の政令指定都市の平均を下回っています。 |

#### 行財政運営の基本方針

| 意見の概要   | 市の考え方  |
|---|--|
| ○お金をバランスよく使い、市民の意見を大切にしながら、みんなで協力して取り組むことが、札幌をさらに暮らしやすい街にする上で大切だと思う。<br><br>○必要性や効果がなくなってきた仕事を見直すのは反対。いつか必要になる可能性もあるので、続けた方が良くと思う。<br><br>(類似意見 4件) | お金や人などが限られた中でもより良い街にしていくために、アンケートなどを活用して、市民の皆さんの意見を十分に把握しつつ、将来の世代に大きな負担を残さないよう、入ってくるお金、使うお金のバランスをとり、より大切な仕事に力を入れながら、まちづくりを進めていきます。<br>また、各取組を進めていく上で、市役所だけでできることは限界があるので、市民や企業などと協力して、まちづくりを進めていきます。 |
| ○市の職員にとって「無駄」な仕事が、市民にとっては必要なものかもしれないので、アンケートなどによる市民の意見を参考にし、無駄を減らせば良いと思う。<br><br>○幅広い世代の市民の意見を聞いて、まちづくりに生かせば良いと思う。<br><br>(類似意見 2件)                 | 政策を決めていく上で、市役所に届いていない市民の声も含めて、アンケートなどで市民意見を十分に把握し、市民感覚とずれのない取組を進めていきます。  |

### 2 行政運営の取組

#### 行政運営の取組1 市民力の結集に向けた取組

| 意見の概要  | 市の考え方   |
|--|---|
| ○市民一人一人が参加し一緒にまちづくりを進めていくと良いと思った。<br><br>○ごみ拾いなど、小さなことでも、少しずつ協力、行動を起こしていくことが大切。自分はもちろん、そして他の人にも、呼び掛けをしていきたい。<br><br>○札幌を今まで以上に住みやすく、愛される街にするためには、地域の人や、市民の協力からスタートすると思う。もちろん新しいことに挑戦していくことは良いことだと思うけれど、時には後ろを振り返ってみるのも必要だと思う。<br><br>(類似意見 4件) | 街の魅力をさらに高めるため、様々な取組を進めているところですが、その際にはこれまでの状況を振り返り、課題があれば見直しを進めています。また、行政だけでできることには限界があることから、市民や企業などの皆さんと協力することで、より一層効果的に進めていけるものと考えています。今後も、市民や企業の皆さんがまちづくりに参加しやすい仕組みづくりを進めていきます。 |

| 意見の概要  | 市の考え方  |
|--|--|
| <p>○市民以外の意見をまちづくりに積極的に取り入れるため、札幌に足りないところのアンケートなどを実施したら良いと思う。</p>   | <p>効果的な施策展開を図っていくため、市民ニーズを的確に把握することはもちろんですが、ご意見のとおり、必要に応じて札幌市民以外の人を対象にした調査も実施していきたいと考えています。</p>  |
| <p>○何にお金を掛けていくべきかをしっかり考えていくためにも、市民の意見をもっと聞く機会を増やし、政策方針を決めていってほしい。</p> <p>○お年寄りに意見を聞いてまちづくりに生かす。</p>          | <p>アクションプランでは、将来世代に大きな負担を残さないよう配慮しながら、経済を元気にして札幌市の収入を増やすといった未来に向けた取組には積極的に予算配分するなど、メリハリのある財政運営を行っていきます。</p> <p>取組を進める際には、様々な方法で多様な市民意見を十分に把握し、市民感覚とずれのないよう努めていきます。</p>   |
| <p>○市役所の取組について、市民により知ってもらうため、市役所の取組について、パンフレットを配布したり、学校の授業に取り入れたりすることなどによりPRしていくと良いと思う。</p> <p>(類似意見 7件)</p> | <p>様々な市役所の取組を紹介するパンフレットを作成し、区役所などで配布したり、ホームページで閲覧できるようにしたりしています。</p> <p>また、市役所の取組を紹介する「出前講座」では、学校の授業に取り入れてもらえるよう、子ども向けのテーマも充実させています。</p> <p>なお、アクションプランについても、パブリックコメント期間に合わせ、計画案の内容を分かりやすくした冊子を全小中学校に配布したり、職員が学校の授業時間などを使い講座を行ったりしました。</p> |
| <p>○若い人から高齢者までの意見を聞くために市長さんがいろんなところに訪問してさまざまな人々にどうすればいいか聞いたらもっと良いアイデアが出てくると思う。</p>                           | <p>いろいろな人と直接会って意見交換をすることは、とても大事なことだと思います。市長自らが、できるだけ多くの場所を訪問して、いろいろな方々と直接お話しをさせていただく「あなたのマチにおじゃまします」という取組を行っています。これからも積極的に訪問を続けて、市民の皆さんから様々なアイデアやお話しをお聞きしていきたいと思っています。</p>   |

## 行政運営の取組2 しごとの改革(市民サービスの向上、業務の効率化等)

| 意見の概要  | 市の考え方  |
|--|--|
| <p>○クレジットカードが利用できる行政サービスを増やすと良い。</p> <p>○税金などをクレジットカード払いできるようにすると、支払ったかどうか分からなくなるのではないかな。</p> <p>(類似意見 1件)</p> | <p>地下鉄などでサピカの利用を広めていくことや、税金などの支払方法にクレジットカード払いを取り入れるなど、今後もより便利で簡単に支払いができるような仕組みを考えていきます。</p> <p>なお、クレジットカード払いでは支払金額が通知されますので、その際に確認することができます。</p> |
| <p>○市民に、札幌市の仕事を評価してもらい、インターネット上で公開してはどうか。</p>  | <p>全ての事業を対象として、定期的・継続的に結果の検証を行っているほか、外部の専門家や市民の皆さんに事業の評価をしていただく取組を行っています。また、事業の見直しや改善のため、市が自ら事業を評価した調書をホームページに掲載し、市民の方からご意見をいただいています。</p>        |
| <p>○コンビニで住民票を扱うのは、誤って個人情報漏れたら大変なのでやめた方が良く思う。</p> <p>(類似意見 1件)</p>  | <p>市民サービスの電子化を進める取組の一つとして、コンビニに設置された自動発行機を使った住民票の発行サービスを始めることとしました。</p> <p>このサービスを利用して住民票を取るためには、自分だけのパスワードを必要にするなど、個人情報漏れないような仕組みづくりをしています。</p> |

| 意見の概要                      | 市の考え方   |
|----------------------------|---|
| ○住民票のコンビニ交付は便利なので良い取組だと思う。 | 住民票のコンビニ交付は、札幌をより暮らしやすい街にしておくため、市民の皆さんが便利になるよう行う取組の一つです。札幌市では、この他にも様々な仕事の進め方についてより良い方法を考え、工夫していきます。 |

#### 行政運営の取組4 道内連携の推進

| 意見の概要   | 市の考え方  |
|---|--|
| ○他の街の取組にも注目し、互いに高め合うことが必要だと思う。<br>○札幌のまちをより良くするきっかけを見つけるために、他都市との交流をすると良いと思う。 | 北海道や道内市町村が実施する素晴らしい取組や学ぶべき取組はたくさんあることから、今後も、職員が直接道内各地域を訪問するなどして、北海道や道内市町村との結びつきを強め、より一層協力し合いながら、北海道全体が発展できるように取組を進めていきます。            |
| ○北海道全体を盛り上げて、札幌の発展につなげてほしい。<br>(類似意見 1件)                                      | 札幌と北海道が共に発展していくために、北海道や道内市町村との結びつきを強め、経済や観光などの幅広い分野でより一層協力し合いながら取組を進めていきます。  |
| ○北海道と二重になっている仕事はないか。  | 札幌市と北海道の間には、同じことをやっているように見える仕事はありますが（例えば経済、環境、教育文化など）、それぞれ、お互いに役割を分担して仕事を進めています。これからも、もっと効果的・効率的に仕事進められないかという観点から、連携・協力して仕事を進めていきます。 |

### 3 財政運営の取組

#### 財政運営の方針

| 意見の概要  | 市の考え方   |
|--|---|
| ○借金の負担が子どもに行くのはおかしいと思う。お金を安定化させることが大切になると思う。 | 学校や公園などの施設は、長く使っていくものなので、造るときにお金を借りて、造る時の市民だけではなく、施設を使う将来の市民の皆さんにも負担してもらうことが必要だと考えています。<br>お金を借りるときには、将来の皆さんの負担が大きくなるように、お金の使い方、集め方の計画を立て、収入と支出のバランスをとりながら、「さっぽろのおサイフ」を安定化させることを、しっかりと考えていきたいと思えます。 |
| ○お金の使い方や集め方を工夫する取組は、しっかりやってほしいと思う。           | お金の使い方や集め方は、この計画に基づいて毎年の「予算」で決めることとなります。予算を決めるときには、将来の負担が大きくなるないように、お金の使い方や収入を増やして支出を減らす方法を考えながら、市役所の仕事を進めていきます。  |

## 財政運営の取組1 予算運営手法の改革

| 意見の概要  | 市の考え方   |
|--|---|
| <p>○お金の使い方などの計画を立て、将来的にも問題のない札幌市にしてほしい。</p> <p>○お金の使い方の計画を立てることは、お金の無駄を防ぐので良いと思う。</p> <p>○これほど多くの取組を行うには、多くのお金が掛かると思うが、本当にできるのか。もっと取組を絞るべきではないか。</p> <p>(類似意見 15件)</p> | <p>皆さんの将来の負担が大きくなるように、市役所全体のお金の使い方、集め方の計画を立てて、仕事をしていきます。その際、預貯金をうまく使いながら、借金の金額もしっかりコントロールしていきます。</p>          |
| <p>○「お金の使い方、計画の立て方を工夫する」について、市の取組がどのように市民の役に立っているかをより分かりやすく伝えていくと良いと思う。</p>  | <p>毎年のお金の使い方は、この計画に基づいて「予算」で決めることとなります。予算の内容は、「予算の概要」でお知らせするほか、「広報さっぽろ」や「さっぽろのおサイフ」などで、分かりやすくお伝えしたいと思います。</p> |

## 財政運営の取組2 歳入・歳出の改革

| 意見の概要   | 市の考え方   |
|---|---|
| <p>○大切なことには力を入れるとともに、仕事の無駄を減らしたり、必要性がなくなってきたものを見直したりすることで、収入を増やし支出を減らす取組を、バランスよく進めると良い。</p> <p>○市役所などでできるだけ無駄を減らし、減らした分のお金を観光に使い、観光でもうけたお金を市民に使えば良いと思う。</p> <p>(類似意見 12件)</p> | <p>支出については、市役所の仕事の無駄を減らします。また、必要性や効果がなくなってきた仕事などを見直します。収入については、音楽ホールなどのサービスを利用する方にバランスよくお金を負担してもらいます。また、市民の皆さんに税金や保険料をしっかりと払ってもらえるようにします。</p> <p>このように、お金の使い方や集め方を工夫することによって、より大切な仕事に力を入れながら、皆さんの将来の負担が大きくなるように、市役所の仕事を進めていきます。</p> |
| <p>○「市役所の仕事の無駄」とは何か。そもそも「無駄」があるのか。</p>  | <p>市役所の仕事の中には、やり方を工夫することにより仕事の量を減らせるものや、時代の変化によって市役所でなくてもできるようになった仕事もあるのではないかと考えています。市役所の仕事のやり方を変えることにより、職員やお金の余力を生み出し、新しい仕事やより力を入れるべき仕事に力を入れたいと考えています。</p>   |
| <p>○円山動物園などの子どもが無料の施設で、20円くらいでもいいから、お金を負担させると良いと思う。</p> <p>○札幌の古い施設を新しいものに替え、施設使用料を少し安くすれば、多くの人を訪れると思う。</p> <p>○各種施設入場料について、3歳までは無料にしたり、兄弟がいる場合は割引したりすると良いと思う。</p>            | <p>いろいろな施設の料金については、施設を使う人と使わない人の公平感や、他の施設の料金とのバランスを考えて、値段を決めていきます。また、子どもたちが使うときの料金は、できるだけ負担を抑えて、施設をたくさん使ってほしいと考えており、円山動物園や青少年科学館など無料で使える施設があります。皆さんが考えてくれた意見も含めて、今後の料金を考えていきます。</p>   |

### 財政運営の取組3 財政基盤の強化

| 意見の概要  | 市の考え方  |
|--|--|
| <p>○収入と支出のバランスを考え、要らない土地などを売って観光や施設建設の費用に充てれば良いと思う。</p> <p>○市有地を貸し出して収入を得ることはできないか。</p> <p>○市が持っている土地を売ることは市にとっても市民にとっても良いことだと思う。</p> <p>(類似意見 3件)</p> | <p>市役所の持っている土地のうち、必要のなくなった土地は、売ったり、貸し出したりして、未来の札幌を作る取組を進めるための収入として活用します。</p>   |
| <p>○消費税が高くなるのは嫌だが、税金をしっかり払わなくてはならないと思った。</p> <p>(類似意見 1件)</p>  | <p>税金は、市民の皆さんにとって必要な仕事を行うために、大切なお金です。市民の皆さんに払ってもらった税金を大切に使用して、多くの人に満足してもらえるよう、市役所の仕事を進めていきます。</p>  |
| <p>○市役所だけが有利で市民が不利にならないよう、物価が上がらないような工夫をはいかがでしょうか。</p>   | <p>物価は、その時の社会の状況や国の政策などによって上がることがあります。物価が変わった時にも、市民の皆さんに払ってもらった税金を大切に使用して、多くの人々が安心して暮らすことができるよう、市役所の仕事を進めていきます。</p>  |
| <p>○税金を下げしてほしい。</p> <p>(類似意見 1件)</p>   | <p>消費税率の引き上げについては、今後、高齢者が増え、働く世代の方の割合が急スピードで減っていく中で、子育てや医療、介護、年金といった国民の誰もが安心して暮らすことができるために必要なお金を確保することを目的に行われました。</p> <p>札幌市として、税金の引き上げに納得していただけるよう、皆さんから集めた税金がどういったことに使われているのか、分かりやすくお示しできるよう努めていきます。</p> |

### 財政運営の取組4 財政規律の堅持

| 意見の概要   | 市の考え方  |
|---|--|
| <p>○子どもたちの将来の負担が大きくなるように、収入と支出のバランスを考えた財政運営をしてほしい。</p> <p>○たくさんの建物を建てるなどするのにお金が掛かるので、お金が少しでもたまるようにしていけたら良いと思う。</p> <p>○オリンピックの開催には、たくさんのお金が必要なので、お金の使い方や集め方を工夫する取組を進めてほしい。</p> <p>(類似意見 6件)</p> | <p>市役所では、市民の皆さんの意見を聞きながら、5年分のお金の使い方、集め方の計画を立て、毎年の収入と支出のバランスをとりながら、将来の負担が大きくなるように、うまく借金や預貯金を活用していきます。</p> |



**札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン 2015  
パブリックコメント・キッズコメント意見集**

平成 27 年（2015 年）12 月発行

編集・発行：札幌市市長政策室政策企画部政策調整課

〒060-8611 札幌市中央区北 1 条西 2 丁目

TEL (011)211-2206 FAX (011)218-5109

市政等資料番号

01-A02-15-1796

